

防水改修工事 （修繕）	○ とい	どの材種 ・ 配管用鋼管及び排水管継手 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管及び同質継手 ・ 表面処理鋼板 () ・ ステンレス鋼板 ○ 図示 とい受け金物及び足金物の材種、形状及び留付け間隔 ※ 改修仕様表3.8.2による 多雪地域の軒どいの留付け間隔の適用 ・ あり ・ なし 防露材のホルムアルデヒドの放散量 ※ F☆☆☆☆ 既存のといその他の撤去、降雨に対する養生方法 ※ 図示 鋼管製といの防露巻き (施工箇所及び工法: ※ 改修仕様表3.8.4による・ 図示) たてどい受金物の取付け ※ 図示 ルーフドレン 取付け ※ 水はけがよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填 品質・性能 ※ 建築材料・設備機材等品質性能評価による評価名簿記載の製品	3.8.2, 3]																				
	○ アルミニウム製空木	種類 ・ オープン形式 ・ 250形 ・ 300形 ・ 350形 ・ 板材折曲げ形 (本体幅: mm 板厚: ※ 2.0mm) ・ シール形式 板材折曲げ形 (本体幅: mm 板厚: ※ 2.0mm) 表面処理 種別 () 種 皮膜等の種類 ※ 改修仕様表5.2.2による 着色 (・ アンバー ・ ブロンズ ・ ブラック系 ・ ステンカラー) 既存空木等の撤去 ・ 行う (範囲: ・ 図示) ・ 行わない 下地補修の工法 ※ 図示 板材折曲げ形の空木の取付方法 ※ 図示 空木の固定金具の工法等 耐風圧性能 (建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法) ※ 適用する (一般共通事項により製造所の指定による) ・ 適用しない	3.9.2, 3]																				
4 外壁改修工事	共通	1. 施工数量調査 調査範囲 ・ 外壁改修範囲 ・ 図示の範囲 調査内容 ※ ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れの挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 ※ モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。 ※ コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。 ※ 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。 また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・ 図示 調査報告書の部数 ・ 2部																					
	2. 材料	可とう性エポキシ樹脂 [4.2.4] [4.3.5] [4.4.5] [4.5.2] 品質・性能及び試験方法 ※ JIS A 6024による パテ状エポキシ樹脂 品質・性能及び試験方法 ※ JIS A 6024による エポキシ樹脂モルタル 品質・性能及び試験方法 ※ JIS A 6024による ポリマーセメントモルタル 品質・性能 ※ 建築材料・設備機材等品質性能評価による評価名簿記載の製品 ポリマーセメントスラ 広がり速度 長さ変化率 引張接着性 曲げ性能 吸水性 耐久性 (cm/s) (収縮) (材齢28日) (材齢28日) (72時間) (劣化曲げ強さ) 3 以上 3%以下 0.49N/mm ² 以上 4.9N/mm ² 以上 1.5%以下 4.9N/mm ² 以上 保水係数 0.35~0.55 粘着係数 0.50~1.00 既製適合モルタル モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 性能 ※ 建築材料等品質性能表による																					
4-1	1. ひび割れ部改修工法	※ 樹脂注入工法 [4.1.4] [4.2.4~6] <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(ml/m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2 以上~1.0 以下</td> <td>※ 200~300</td> <td>・ 130</td> </tr> <tr> <td>・ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2 以上~0.3 未満</td> <td>・ 50~100</td> <td>・ 40</td> </tr> <tr> <td>・ 機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3 以上~0.5 未満</td> <td>・ 100~200</td> <td>・ 70</td> </tr> <tr> <td>・ 機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.5 以上~1.0 以下</td> <td>・ 150~250</td> <td>・ 130</td> </tr> </tbody> </table> エポキシ樹脂 ※ 低粘度形 (0.5mm未満) ※ 中粘度形又は高粘度形 (0.5mm以上) コア抜き検査 抜き回数 ※ 長さ500mmごと及びその端数につき1個 抜き部の補修方法 ※ 図示 ・ カットシール材充填工法 ・ シーリング材充填 (1.0mmを超え挙動するひび割れ) 充填材料 ※ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ※ 行う ・ 行わない ・ 可とう性エポキシ樹脂充填 (1.0mm未満の挙動するひび割れ及び1.0mm以上の挙動しないひび割れ) ・ シール工法 (ひび割れ0.2mm未満) 材料 ・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂	工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2 以上~1.0 以下	※ 200~300	・ 130	・ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2 以上~0.3 未満	・ 50~100	・ 40	・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3 以上~0.5 未満	・ 100~200	・ 70	・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5 以上~1.0 以下	・ 150~250	・ 130	
工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																				
※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2 以上~1.0 以下	※ 200~300	・ 130																				
・ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2 以上~0.3 未満	・ 50~100	・ 40																				
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3 以上~0.5 未満	・ 100~200	・ 70																				
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5 以上~1.0 以下	・ 150~250	・ 130																				
2. 欠損部改修工法	※ 充填工法 [4.1.4] [4.2.8] 充填材料 ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル																						
4-2	1. 既存モルタルの撤去	劣化モルタル層の撤去 ・ あり (撤去部分 ・ 全面 ・ 図示) ・ なし [4.4.2]																					
2. ひび割れ部改修工法	※ 樹脂注入工法 [4.1.4] [4.3.5~8] <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(ml/m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2 以上~1.0 以下</td> <td>※ 200~300</td> <td>・ 130</td> </tr> <tr> <td>・ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2 以上~0.3 未満</td> <td>・ 50~100</td> <td>・ 40</td> </tr> <tr> <td>・ 機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3 以上~0.5 未満</td> <td>・ 100~200</td> <td>・ 70</td> </tr> <tr> <td>・ 機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.5 以上~1.0 以下</td> <td>・ 150~250</td> <td>・ 130</td> </tr> </tbody> </table> エポキシ樹脂 ※ 低粘度形 (0.5mm未満) ※ 中粘度形又は高粘度形 (0.5mm以上) ※ 硬質形 (ひび割れ挙動小) ※ 軟質形 (ひび割れ挙動大) ・ カットシール材充填工法 ・ シーリング材充填 (1.0mmを超え挙動するひび割れ) 種類 ※ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ・ 行う ・ 行わない ・ 可とう性エポキシ樹脂充填 (1.0mm未満の挙動するひび割れ及び1.0mm以上の挙動しないひび割れ) ・ シール工法 (ひび割れ0.2mm未満) 材料 ・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂	工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2 以上~1.0 以下	※ 200~300	・ 130	・ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2 以上~0.3 未満	・ 50~100	・ 40	・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3 以上~0.5 未満	・ 100~200	・ 70	・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5 以上~1.0 以下	・ 150~250	・ 130		
工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																				
※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2 以上~1.0 以下	※ 200~300	・ 130																				
・ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2 以上~0.3 未満	・ 50~100	・ 40																				
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3 以上~0.5 未満	・ 100~200	・ 70																				
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5 以上~1.0 以下	・ 150~250	・ 130																				

3. 欠損部改修工法	・ 充填工法 [4.1.4] [4.3.5] [4.3.9, 10] 充填材料 ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル ・ モルタル塗替え工法 ・ モルタル ・ 現場調合材料 ・ 既調合材料 既製目地材 ・ 使用する (形状) 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処理 ※ 図示																																																																						
浮き部改修工法	工法 [4.1.4] [4.3.5] [4.3.11~16] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工法の種類</th> <th colspan="2">アンカーピン本数 (本/m)</th> <th colspan="2">注入口箇所数 (箇所/m)</th> <th rowspan="2">ピン固定用・注入口付ピンへの注入量 (ml/箇所)</th> <th rowspan="2">注入口への注入量 (ml/箇所)</th> </tr> <tr> <th>一般部</th> <th>指定部</th> <th>一般部</th> <th>指定部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※ 16</td> <td>※ 25</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>※ 25</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※ 13</td> <td>※ 20</td> <td>※ 12</td> <td>※ 20</td> <td>—</td> <td>※ 25</td> </tr> <tr> <td>・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※ 13</td> <td>※ 20</td> <td>※ 12</td> <td>※ 20</td> <td>—</td> <td>※ 50</td> </tr> <tr> <td>・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※ 9</td> <td>※ 16</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>※ 25</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※ 9</td> <td>※ 16</td> <td>※ 9</td> <td>※ 16</td> <td>※ 25</td> <td>※ 25</td> </tr> <tr> <td>・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※ 9</td> <td>※ 16</td> <td>※ 9</td> <td>※ 16</td> <td>※ 25</td> <td>※ 50</td> </tr> <tr> <td>・ 充填工法</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・ モルタル塗替え工法</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> (指定部とは見上げ面、底の鼻、まぐさ隅角部分等を指す) アンカーピン本数及び注入口箇所数の特例 ※ 浮き面積が1m ² 以下の場合及び狭幅部 (幅200mm以下で形状にはく離している幅の狭い箇所) では箇所数は該当する改修仕様の項(4.3.11~15)の(1)の指示に従う。 ※ 穿孔位置がタイル駒片にかかる場合は、穿孔位置を近隣のタイル目地部分に釣り合いを保ちながら移動する	工法の種類	アンカーピン本数 (本/m)		注入口箇所数 (箇所/m)		ピン固定用・注入口付ピンへの注入量 (ml/箇所)	注入口への注入量 (ml/箇所)	一般部	指定部	一般部	指定部	・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※ 16	※ 25	—	—	※ 25	—	・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※ 13	※ 20	※ 12	※ 20	—	※ 25	・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 13	※ 20	※ 12	※ 20	—	※ 50	・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※ 9	※ 16	—	—	※ 25	—	・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※ 9	※ 16	※ 9	※ 16	※ 25	※ 25	・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 9	※ 16	※ 9	※ 16	※ 25	※ 50	・ 充填工法	—	—	—	—	—	—	・ モルタル塗替え工法	—	—	—	—	—	—			
工法の種類	アンカーピン本数 (本/m)		注入口箇所数 (箇所/m)		ピン固定用・注入口付ピンへの注入量 (ml/箇所)	注入口への注入量 (ml/箇所)																																																																	
	一般部	指定部	一般部	指定部																																																																			
・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※ 16	※ 25	—	—	※ 25	—																																																																	
・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※ 13	※ 20	※ 12	※ 20	—	※ 25																																																																	
・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 13	※ 20	※ 12	※ 20	—	※ 50																																																																	
・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※ 9	※ 16	—	—	※ 25	—																																																																	
・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※ 9	※ 16	※ 9	※ 16	※ 25	※ 25																																																																	
・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 9	※ 16	※ 9	※ 16	※ 25	※ 50																																																																	
・ 充填工法	—	—	—	—	—	—																																																																	
・ モルタル塗替え工法	—	—	—	—	—	—																																																																	
4-3	1. 既存タイル張りの撤去	・ 外壁タイル張り全面 ・ 図示の範囲 [4.4.2] 撤去範囲 ※ 下地モルタルまで ・ 張付けモルタルまで ・ タイルのみ																																																																					
2. 体の形状寸法等	補修又は張替に使用するタイル [4.4.5] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">主な用途による区分 (施工箇所)</th> <th rowspan="2">形状寸法 (mm)</th> <th colspan="2">吸水率による区分</th> <th colspan="2">うわぐすり</th> <th colspan="2">役物</th> <th colspan="2">色</th> <th colspan="2">再生材</th> <th colspan="2">耐凍害性</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>I 類</th> <th>II 類</th> <th>施 用</th> <th>無 用</th> <th>有 無</th> <th>特 注</th> <th>適 用</th> <th>有 無</th> <th>有 無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>標準的な曲りの役物は一体成形とする</td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>試験張り ・ 行う ・ 行わない</td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>見本焼き ・ 行う ・ 行わない</td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 品質・性能 ※ 建築材料・設備機材等品質性能評価による評価名簿記載の製品	主な用途による区分 (施工箇所)	形状寸法 (mm)	吸水率による区分		うわぐすり		役物		色		再生材		耐凍害性		備考	I 類	II 類	施 用	無 用	有 無	特 注	適 用	有 無	有 無	標準的な曲りの役物は一体成形とする		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・		試験張り ・ 行う ・ 行わない		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・		見本焼き ・ 行う ・ 行わない		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・		
主な用途による区分 (施工箇所)	形状寸法 (mm)			吸水率による区分		うわぐすり		役物		色		再生材		耐凍害性			備考																																																						
		I 類	II 類	施 用	無 用	有 無	特 注	適 用	有 無	有 無																																																													
標準的な曲りの役物は一体成形とする		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・																																																										
試験張り ・ 行う ・ 行わない		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・																																																										
見本焼き ・ 行う ・ 行わない		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・																																																										
3. ひび割れ部改修工法	改修箇所 ※ 既存タイル張り面 [4.1.4] [4.4.5, 6] ・ 既存タイル撤去面 (・ コンクリート面 ・ モルタル面) 工法 ・ 樹脂注入工法 <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(ml/m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2 以上~1.0 以下</td> <td>※ 200~300</td> <td>・ 130</td> </tr> <tr> <td>・ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2 以上~0.3 未満</td> <td>・ 50~100</td> <td>・ 40</td> </tr> <tr> <td>・ 機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3 以上~0.5 未満</td> <td>・ 100~200</td> <td>・ 70</td> </tr> <tr> <td>・ 機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.5 以上~1.0 以下</td> <td>・ 150~250</td> <td>・ 130</td> </tr> </tbody> </table> エポキシ樹脂 ※ 低粘度形 (0.5mm未満) ※ 中粘度形又は高粘度形 (0.5mm以上) ※ 硬質形 (ひび割れ挙動小) ※ 軟質形 (ひび割れ挙動大) ・ カットシール材充填工法 ・ シーリング材充填 (1.0mmを超え挙動するひび割れ) 種類 ※ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ・ 行う ・ 行わない ・ 可とう性エポキシ樹脂充填 (1.0mm未満の挙動するひび割れ及び1.0mm以上の挙動しないひび割れ) ・ シール工法 (ひび割れ0.2mm未満) 材料 ・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂	工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2 以上~1.0 以下	※ 200~300	・ 130	・ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2 以上~0.3 未満	・ 50~100	・ 40	・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3 以上~0.5 未満	・ 100~200	・ 70	・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5 以上~1.0 以下	・ 150~250	・ 130																																																		
工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																																																																				
※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2 以上~1.0 以下	※ 200~300	・ 130																																																																				
・ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2 以上~0.3 未満	・ 50~100	・ 40																																																																				
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3 以上~0.5 未満	・ 100~200	・ 70																																																																				
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5 以上~1.0 以下	・ 150~250	・ 130																																																																				
4. 欠損部改修工法	・ タイル部分張替え工法 [4.1.4] [4.4.5, 7, 8] 張付け材料 ・ ポリマーセメントモルタル ・ 外装壁タイル接着剤 (JIS A 5557Iによる) (※ 一液反応硬化形成シリコン樹脂系 ・ 一液反応硬化形ウレタン樹脂系) 目地詰め ※ 行う ・ 行わない 1か所当たりの張替え面積が0.25m ² を超える場合 ※ 図示 ・ タイル張替え工法 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地位置 ※ 改修仕様表4.4.2による ・ 図示 コンクリート素地面の下地処理 ※ 目貫し工法 ・ セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り 下地モルタル塗りの接着剤試験 ・ 行う ・ 行わない タイル張りの工法 外装タイル ・ 密着張り ・ 改良接着張り ユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り ・ 既調合モルタル モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 品質・性能 ※ 建築材料・設備機材等品質性能評価による評価名簿記載の製品 ・ 既調合目地材 品質・性能 ※ 建築材料・設備機材等品質性能評価による評価名簿記載の製品 ・ 有機系接着剤による陶磁器質タイル張り 下地調整材塗りの接着剤試験 ・ 行う ・ 行わない シーリング材の種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ ポリウレタン系 伸縮調整目地その他の目地 ※ 変成シリコン系 タイルの種類 ・ 外装タイル ・ ユニットタイル 目地詰め ※ 行う ・ 行わない																																																																						

5. 浮き部改修工法	[4.1.4] [4.2.2] [4.4.9~15] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工法の種類</th> <th colspan="2">アンカーピン本数 (本/m)</th> <th colspan="2">注入口箇所数 (箇所/m)</th> <th rowspan="2">ピン固定用・注入口付ピンへの注入量 (ml/箇所)</th> <th rowspan="2">注入口への注入量 (ml/箇所)</th> </tr> <tr> <th>一般部</th> <th>指定部</th> <th>一般部</th> <th>指定部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※ 16</td> <td>※ 25</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>※ 25</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※ 13</td> <td>※ 20</td> <td>※ 12</td> <td>※ 20</td> <td>—</td> <td>※ 25</td> </tr> <tr> <td>・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※ 13</td> <td>※ 20</td> <td>※ 12</td> <td>※ 20</td> <td>—</td> <td>※ 50</td> </tr> <tr> <td>・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※ 9</td> <td>※ 16</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>※ 25</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※ 9</td> <td>※ 16</td> <td>※ 9</td> <td>※ 16</td> <td>※ 25</td> <td>※ 25</td> </tr> <tr> <td>・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※ 9</td> <td>※ 16</td> <td>※ 9</td> <td>※ 16</td> <td>※ 25</td> <td>※ 50</td> </tr> <tr> <td>・ 注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・ タイル部分張替工法</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> (指定部とは見上げ面、底の鼻、まぐさ隅角部分等を指す) アンカーピン本数及び注入口箇所数の特例 ※ 浮き面積が1m ² 以下の場合及び狭幅部 (幅200mm以下で形状にはく離している幅の狭い箇所) では箇所数は該当する改修仕様の項(4.3.11~15)の(1)の指示に従う。 ※ 穿孔位置がタイル駒片にかかる場合は、穿孔位置を近隣のタイル目地部分に釣り合いを保ちながら移動する	工法の種類	アンカーピン本数 (本/m)		注入口箇所数 (箇所/m)		ピン固定用・注入口付ピンへの注入量 (ml/箇所)	注入口への注入量 (ml/箇所)	一般部	指定部	一般部	指定部	・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※ 16	※ 25	—	—	※ 25	—	・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※ 13	※ 20	※ 12	※ 20	—	※ 25	・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 13	※ 20	※ 12	※ 20	—	※ 50	・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※ 9	※ 16	—	—	※ 25	—	・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※ 9	※ 16	※ 9	※ 16	※ 25	※ 25	・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 9	※ 16	※ 9	※ 16	※ 25	※ 50	・ 注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法	—	—	—	—	—	—	・ タイル部分張替工法	—	—	—	—	—	—	
工法の種類	アンカーピン本数 (本/m)		注入口箇所数 (箇所/m)		ピン固定用・注入口付ピンへの注入量 (ml/箇所)	注入口への注入量 (ml/箇所)																																																															
	一般部	指定部	一般部	指定部																																																																	
・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※ 16	※ 25	—	—	※ 25	—																																																															
・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※ 13	※ 20	※ 12	※ 20	—	※ 25																																																															
・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 13	※ 20	※ 12	※ 20	—	※ 50																																																															
・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※ 9	※ 16	—	—	※ 25	—																																																															
・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※ 9	※ 16	※ 9	※ 16	※ 25	※ 25																																																															
・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 9	※ 16	※ 9	※ 16	※ 25	※ 50																																																															
・ 注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法	—	—	—	—	—	—																																																															
・ タイル部分張替工法	—	—	—	—	—	—																																																															
6. 目地改修工法	既存塗膜の劣化部の除去、下地処理及び下地調整の工法 [4.5.4] <table border="1"> <thead> <tr> <th>工 法</th> <th>処 理 範 囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ サンダー工法</td> <td>※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示 (既存塗膜の除去範囲は処理面積の30%とする)</td> </tr> <tr> <td>○ 高圧水洗工法</td> <td>※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示 (既存塗膜の除去範囲は既存塗膜の劣化部とする 高圧水洗機の加圧力 ※ 試験施工による ・ 30MPa程度以上)</td> </tr> <tr> <td>・ 塗膜はく離工法</td> <td>※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示</td> </tr> <tr> <td>・ 水洗い工法</td> <td>※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示</td> </tr> </tbody> </table> 下地調整塗材 ※ 下地調整塗材 ・ ポリマーセメントモルタル 仕上げ塗材の種類 [4.1.5] [4.5.2] [表4.5.1]	工 法	処 理 範 囲	・ サンダー工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示 (既存塗膜の除去範囲は処理面積の30%とする)	○ 高圧水洗工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示 (既存塗膜の除去範囲は既存塗膜の劣化部とする 高圧水洗機の加圧力 ※ 試験施工による ・ 30MPa程度以上)	・ 塗膜はく離工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示	・ 水洗い工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示																																																										
工 法	処 理 範 囲																																																																				
・ サンダー工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示 (既存塗膜の除去範囲は処理面積の30%とする)																																																																				
○ 高圧水洗工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示 (既存塗膜の除去範囲は既存塗膜の劣化部とする 高圧水洗機の加圧力 ※ 試験施工による ・ 30MPa程度以上)																																																																				
・ 塗膜はく離工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示																																																																				
・ 水洗い工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示																																																																				
7. マスチック塗料塗り	種類 ・ A種 [4.6.2] [表4.6.1] ・ B種																																																																				
8. 外壁用塗膜防水材	仕上げの形状及び工法 [4.7.2, 3] [表4.7.1] ・ 凹凸状 ・ 凸凹処理 (吹付け) ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 (ローラー塗り) 模様材の種類 ※ 製造所の指定による 仕上げ塗材の種類 ※ 製造所の指定による 仕上げ塗材の耐水性 ※ 耐水性3種 下地塗膜層材 ・ 用いる ・ 用いない																																																																				
9. 一般事項	[5.1.3~5.7] <table border="1"> <thead> <tr> <th>建具の種類</th> <th>かぶせ工法</th> <th>撤去工法</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ アルミニウム製建具</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○ 建具表による</td> </tr> <tr> <td>○ 樹脂製建具</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○ 建具表による</td> </tr> <tr> <td>○ 鋼製建具</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○ 建具表による</td> </tr> <tr> <td>○ 鋼製軽量建具</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○ 建具表による</td> </tr> <tr> <td>○ ステンレス製建具</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○ 建具表による</td> </tr> </tbody> </table> 新規に建具を設ける場合 壁部分の開口の開け方 ※ 図示 新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※ 図示 防火戸 ※ 建具表による 見本の製作等 建具見本の製作 ・ 行う (建具符号:) ・ 行わない 特殊な建具の依頼 ・ 行う (建具符号:) ・ 行わない 防犯建物部品 ・ 適用する () 適用箇所 (・ 建具表による) ・ 適用しない	建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所	○ アルミニウム製建具	○	○	○ 建具表による	○ 樹脂製建具	○	○	○ 建具表による	○ 鋼製建具	○	○	○ 建具表による	○ 鋼製軽量建具	○	○	○ 建具表による	○ ステンレス製建具	○	○	○ 建具表による																																												
建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所																																																																		
○ アルミニウム製建具	○	○	○ 建具表による																																																																		
○ 樹脂製建具	○	○	○ 建具表による																																																																		
○ 鋼製建具	○	○	○ 建具表による																																																																		
○ 鋼製軽量建具	○	○	○ 建具表による																																																																		
○ ステンレス製建具	○	○	○ 建具表による																																																																		

5 建築改修工事のつづき	○ アルミニウム製建具 [5.2.2~5] 性能等級 [5.2.2~5] 耐風圧性、気密性及び水密性の等級 外部に面する建具 ・ A種 (建具符号: ※ 建具表による) ・ B種 (建具符号: ※ 建具表による) ・ C種 (建具符号: ※ 建具表による) 防音ドアセット、防音サッシ ・ 適用する 遮音性の等級 () ・ 適用しない (建具符号: ※ 建具表による) 断熱ドアセット、断熱サッシ ・ 適用する 断熱性の等級 () ・ 適用しない (建具符号: ※ 建具表による) 耐震ドアセット ・ 適用する 面内変形追随性の等級 () ・ 適用しない (建具符号: ※ 建具表による) 表面処理 外部に面する建具 ・ BB-1種 ・ BB-2種 ○ JIS H 8602 種類: B 皮膜等の種類 (※ 改修仕様表5.2.2による) 着色 (・ 標準色 ・ 特注色) ・ BC-1種 ・ BC-2種 皮膜等の種類 (※ 改修仕様表5.2.2による) 着色 (・ 標準色 ・ 特注色) 結露水の処理方法 ※ 排水式 ・ 水貯め式 水切り板、ぜん板 ※ 図示 品質・性能 ※ 建築材料・設備機材等品質性能評価による評価名簿記載の製品												
○ 網戸等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>材 種</th> <th>線 径</th> <th>網 目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 合成樹脂製</td> <td>※ 合成樹脂製</td> <td>※ 0.25mm以上</td> <td>※ 16~18メッシュ</td> </tr> <tr> <td>○ 防虫網</td> <td>※ ガラス繊維入り合成樹脂製 ※ ステンレス (SUS316) 製</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	材 種	線 径	網 目	○ 合成樹脂製	※ 合成樹脂製	※ 0.25mm以上	※ 16~18メッシュ	○ 防虫網	※ ガラス繊維入り合成樹脂製 ※ ステンレス (SUS316) 製		
種類	材 種	線 径	網 目										
○ 合成樹脂製	※ 合成樹脂製	※ 0.25mm以上	※ 16~18メッシュ										
○ 防虫網	※ ガラス繊維入り合成樹脂製 ※ ステンレス (SUS316) 製												
○ 樹脂製建具	性能等級 [5.3.2~5] 耐風圧性、気密性及び水密性の等級 外部に面する建具 ・ A種 (建具符号: ※ 建具表による) ・ B種 (建具符号: ※ 建具表による) ・ C種 (建具符号: ※ 建具表による) 防音ドアセット、防音サッシ ・ 適用する 遮音性の等級 (・ T-1 ・ T-2) (建具符号: ※ 建具表による) ・ 適用しない 断熱ドアセット、断熱サッシ ・ 適用する 断熱性の等級 (・ H-4 ・ H-5 ・ H-6 ・ H-7 ・ H-8) (建具符号: ※ 建具表による) ・ 適用しない 外部に面する建具の日射熱取得等級 () (建具符号: ※ 建具表による) ガラス ※ 複層ガラス ・ 単層ガラス ・ 三層ガラス 枠の見込み寸法 ※ 建具表による 表面色 ※ 標準色 ・ 特注色 水切り板、ぜん板 ※ 図示 品質・性能 ※ 建築材料・設備機材等品質性能評価による評価名簿記載の製品												
○ 鋼製建具	性能等級 [5.2.2] [5.4.2~6] 簡易気密型 (ドアセット) ・ 適用する (建具符号: ※ 建具表による) ・ 適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・ S-4種 (建具符号: ※ 建具表による) ・ S-5種 (建具符号: ※ 建具表による) ・ S-6種 (建具符号: ※ 建具表による) 防音ドアセット、防音サッシ ・ 適用する 遮音性の等級 () ・ 適用しない (建具符号: ※ 建具表による) 断熱ドアセット、断熱サッシ ・ 適用する 断熱性の等級 () ・ 適用しない (建具符号: ※ 建具表による) 耐震ドアセット ・ 適用する 面内変形追随性の等級 () ・ 適用しない (建具符号: ※ 建具表による) ステンレス鋼板 ※ SUS304, SUS430J1又はSUS443J1 [5.6.3] ステンレス製のくつりの仕上げ ※ HL 鋼板の厚さ ※ 改修仕様表5.4.2による 片開き、親子開き及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合 鋼板厚み ※ 図示 標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※ 建具表による 品質・性能 ※ 建築材料・設備機材等品質性能評価による評価名簿記載の製品												
○ 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2] [5.5.2~5] 簡易気密型 (ドアセット) ・ 適用する (建具符号: ※ 建具表による) ・ 適用しない 防音ドアセット、防音サッシ ・ 適用する 遮音性の等級 () ・ 適用しない (建具符号: ※ 建具表による) 断熱ドアセット、断熱サッシ ・ 適用する 断熱性の等級 () ・ 適用しない (建具符号: ※ 建具表による) 耐震ドアセット ・ 適用する 面内変形追随性の等級 () ・ 適用しない (建具符号: ※ 建具表による) ステンレス鋼板 ※ SUS304, SUS430J1又はSUS443J1 ステンレス製のくつりの仕上げ ※ HL 鋼板 ※ 垂釣めつき鋼板 ・ ビニル被膜鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 召合せ、縦小口包み板の材質 ※ 鋼板 鋼板の厚さ ※ 改修仕様表5.5.1による ・ 建具表による 片開き、親子開き及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合 ※ 図示 標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※ 建具表による 品質・性能 ※ 建築材料・設備機材等品質性能評価による評価名簿記載の製品												
7. ステンレス製建具	性能等級 [5.2.2] [5.4.2] [5.6.2~5] 耐風圧性、気密性及び水密性の等級 [5.2.2] [5.4.2] [5.6.2~5] 耐風圧性の等級 () (建具符号: ※ 建具表による) 気密性の等級 () (建具符号: ※ 建具表による) 水密性の等級 () (建具符号: ※ 建具表による) 防音ドアセット、防音サッシ ・ 適用する 遮音性の等級 () ・ 適用しない (建具符号: ※ 建具表による) 断熱ドアセット、断熱サッシ ・ 適用する 断熱性の等級 () ・ 適用しない (建具符号: ※ 建具表による) 耐震ドアセット ・ 適用する 面内変形追随性の等級 () ・ 適用しない (建具符号: ※ 建具表による) 鋼板 ※ SUS430J1L, SUS443J1, SUS304 表面仕上げ ※ HL仕上げ ・ 鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ 品質・性能 ※ 建築材料・設備機材等品質性能評価による評価名簿記載の製品												

建築改修工事(続き)	8. 木製建具	建具材の加工、組立時の含水率 ※種別・B種 建具材の加工、組立時の含水率 ※種別・B種 建具材の加工、組立時の含水率 ※種別・B種 建具材の加工、組立時の含水率 ※種別・B種 ※F☆☆☆☆は規制対象外 ・フラッシュ戸 接着の程度 水掛かり箇所(※1類) その他(※2類) 表面材の化粧の種類	[5.7.2~4]				
	合板の種類	規格等	表面材の厚さ(mm)	備考			
	・普通合板	板面の品質 樹種名() 広葉樹 ※1等 針葉樹	※2.5以上				
	・天然木化粧合板	樹種名()	※3.2以上				
	・特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 (・オーバーレイ・プリント・塗装) 表面性能 (・F・FW・W・SW)タイプ	※2.4以上				
	・MDF	表面の状態による区分() 曲げ強さによる区分() 接着剤による区分() 難燃性による区分()					
	召し合わせかまのいんろう付け	なし・あり かまち戸 かまち樹種() 見込み寸法 ※36mm 建具表による 張りの種別(・I型・II型) 上張り・鳥の子・新鳥の子又はビニル紙程度 縁仕上げ・塗り縁・生地縁(染地)・生地縁(ウレタンリヤー塗装) 見込み寸法 ※19.5mm 建具表による 戸ぶすま 見込み寸法 ※30mm 建具表による 紙張り障子 見込み寸法 ※30mm 建具表による 枠、くつずりの材料 ※建具表による					
	9. 建具金物	金物の種類及び見え掛り部の材質 ※改修仕様表5.8.1による 建具に使用する丁番 ※改修仕様表5.8.2~4による 木製建具に使用する戸車とレール ※改修仕様表5.8.5による 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置 建具表による 錠前類 シリンダーサイド ※外側シリンダー、内側サムターン 建具表による 実用性能項目 (JIS A 1541-1及びJIS A 1541-2による) 耐じん性能 ・グレード1 ○グレード2 デッドボルトの出寸法 ○グレード3 (17mm)以下 その他の性能項目はグレード3とする。また錠による施錠が可能なものはマスターキー、グランドマスターキー、コンストラクションキーなどのキーステムが構築できるものとする。 品質・性能 ※建築材料・設備機材等品質性能評価による評価名簿記載の製品 ・クローザー類 ディレドアクション(遅延機能)機能 建具表による あり なし 品質・性能 ※建築材料・設備機材等品質性能評価による評価名簿記載の製品 キーステムの種類、構成 ・錠製作時に監督員より指示する マスターキー ・製作する ・製作しない 錠の引き渡し ※錠1に対し対応する錠3本を1組とし、室名札を付け、直接引き渡す ・錠1に対し対応する錠3本を1組とし、室名札を付け、錠籠に収納して引き渡す	[5.8.1, 2]				
	10. 自動ドア開閉機構	自動ドア ・SSLD-1 ※改修仕様表5.9.1による ・SSLD-2 ・DSL-1 ・DSL-2 ・車椅子使用者用便所出入口 ・図示	性能 ※改修仕様表5.10.1による 品質・性能 ※建築材料・設備機材等品質性能評価による評価名簿記載の製品	[5.9.2, 3]			
	11. 自閉式上り引戸装置	性能 ※改修仕様表5.10.1による 品質・性能 ※建築材料・設備機材等品質性能評価による評価名簿記載の製品	[5.10.3]				
	12. 重量シャッター	シャッターの種類 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・屋内用防塵シャッター	耐風圧強度 () N/m ² 耐風圧強度 () N/m ²	[5.11.2, 3]			
	13. 軽量シャッター	開閉形式 ※手動式・上部電動式(手動併用) 耐風圧強度 () N/m ² 電動式シャッターの障害物感知装置の設置場所 ※図示 スラットの材質 ・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板) めっき付着量 (※Z06又はZ06) ・JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板) めっき付着量 (※AZ90) スラットの形状 ・インターロック形状 ・オーバーラッピング形 品質・性能 ※建築材料・設備機材等品質性能評価による評価名簿記載の製品	[5.12.2~4]				
	14. オーバーヘッドドア	セクション材料による区分 ・ステールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	耐風圧区分 ・125 ・100 ・75 ・50	開閉方式による区分 ※ バランス式 ・チェーン式 ・電動式	収納形式による区分 ・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーナカル形	ガイドレールの材質 ※ 溶融亜鉛めっき鋼板 (めっき付着量※Z27) ・ステンレス鋼板	[5.13.2, 3]

15. ガラス	・フロート板ガラス 厚さ(ミリ) ※図示 ・磨き板ガラス 厚さ(ミリ) ※図示 ・すりガラス 厚さ(ミリ) ※図示 ・型板ガラス 厚さ(ミリ) ※図示 ・網種 ・梨地 ・かすみ ・その他 () ・網入板ガラス、網入板ガラス 種類 板の表面の状態 網種 厚さ(ミリ) ・網入板ガラス ・網入磨き板ガラス ・かく網 ・ひし網 ※図示 ・網入板ガラス ・網入磨き板ガラス ・網入型板ガラス	[3.7][5.14.2~4]
16. ガラスブロック	ガラスの種類 ・フロート板ガラス ・磨き板ガラス ・熱線吸収フロート板ガラス ※図示 ・熱線吸収網入磨き板ガラス ※6.8 ・熱線吸収網入型板ガラス	性能による種類 ・1種 (5mm日射取得率0.8以下) ・2種 (5mm日射取得率0.7以下)
17. ガラス用フィルム	ガラスの種類及び厚さの組合せ、複層ガラスの全体厚さ ※建具表に図示 断熱性による区分 (・T1・T2・T3・T4・T5・T6) 日射取得率及び日射遮蔽率による区分 (・G (日射熱取得率0.5以上) ・S (日射熱取得率0.49以下)) 乾燥気体の種類 (○空気 ・アルゴン ・クリプトン ・ネオン) ・熱線反射ガラス 板ガラスによる種類 厚さ(ミリ) 日射遮蔽率による区分 耐久性による区分 ・フロート板ガラス ・磨き板ガラス ・熱線吸収フロート板ガラス ※図示 ・熱線吸収網入磨き板ガラス ・平面強化ガラス ・倍強度ガラス 反射被覆面 ・内面 ・外面 映像調整 ・行わない ・行う ・倍強度ガラス 名称 材料板ガラスの種類 厚さ(ミリ) 備考 フロート倍強度ガラス 熱線反射倍強度ガラス 熱線反射ガラス	[3.7][5.14.5]
18. ガラス用フィルム	表面形状 呼び寸法 厚さ(mm) 色調 クリア 乳白 平面 曲面 目地幅(mm) 伸縮調整目地(mm) 防火性能 ・正方形 ・長方形	[3.7][5.14.5]

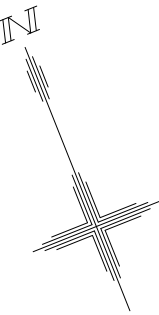
6. 内装改修工事	9. 改修範囲等	既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合天井、壁及び床の改修範囲 ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う 図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合天井の改修範囲 ※ 壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う 図示 天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※ 既存のまま 図示	[6.1.3]
10. 既存床の撤去及び下地補修	10. 既存壁の撤去及び下地補修	ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ(接着剤とも) ・下地モルタルとも(・図示の範囲・除去範囲全て) 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目置工法 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※ 改修仕様表4.3.10によるモルタル塗り モルタル ・現場調合材料 ・既調合材料 既製目地材 ・使用する(形状) 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処理 ※図示	[6.2.2]
11. 木下地等	5. 木下地等	木材の品質 ・改修仕様表6.5.2による ・信州木材認証製品又は同等品 ・市販品 木材の含水率 下地材 ※A種・B種 造作材 ※A種・B種	[6.5.1]
12. 5-2. 製材	5-2. 製材	「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材 施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 形状 含水率 間伐材等の適用 ※2級以上 ※2級以上 ※2級以上	[6.5.2]
13. 5-3. 造作用集材	5-3. 造作用集材	「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材 施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 形状 含水率 間伐材等の適用 ・上小節 ・小節 ・上小節 ・小節 ・上小節 ・小節 ※A種・B種 ※A種・B種 ※A種・B種	[6.5.2]
14. 5-4. 造作用単板積層材	5-4. 造作用単板積層材	「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 形状 含水率 間伐材等の適用 ※1級 ※1級 ※1級 ※10%以下 ※10%以下 ※10%以下	[6.5.2]
15. 5-5. 直交集材	5-5. 直交集材	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 「集材材の日本農林規格」による造作用集材 施工箇所 樹種 寸法(mm) 見付け材面の等級 間伐材等の適用 ※1等・2等 ※1等・2等 ※1等・2等	[6.5.2]
16. 5-6. 合板等	5-6. 合板等	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 「集材材の日本農林規格」による造作用集材 施工箇所 樹種 寸法(mm) 見付け材面の等級 間伐材等の適用 ※1等・2等 ※1等・2等 ※1等・2等	[6.5.2]
17. 5-7. 接合具等	5-7. 接合具等	造作材の化粧面の釘打ち ※隠し釘打ち・つぶし頭釘打ち・釘頭表し 諸金物の形状、寸法 ※仕様表6.5.3~5による 図示 諸金物の材質 ※仕様表8.20.1のF種程度 図示 接着剤 接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。 ホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆	[6.5.3, 4]
18. 5-8. 防蟻・防蟻	5-8. 防蟻・防蟻	防蟻、防蟻処理が不要な樹種による製材及び集材 適用部位() ・薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理 適用部位 保存処理性能区分 ・K2・K3・K4 ・K2・K3・K4 ・K2・K3・K4	[6.5.5]
19. 5-8. 木材材種	5-8. 木材材種	「集材材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集材 施工箇所 化粧薄板の樹種 芯材の樹種 寸法(mm) 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の等級 含水率 間伐材等の適用 ※15%以下 ※15%以下 ※15%以下	[6.5.2]
20. 5-8. 軽量鉄骨天井	5-8. 軽量鉄骨天井	鉄筋コンクリート造等の内部間仕切壁及び床 間仕切壁に用いる木材 ※杉・松 図示 床に用いる木材 ※杉・松 図示 土間スラブの場合 ※保存処理木材・ひのき 図示 意、出入口その他 吊元材、水張りの下枠及び保線 ※ひのき 図示 その他 ※杉・松 図示 壁甲板及び上りがかりに用いる木材 ※ひのき 図示 壁及び天井下地 ※杉・松 図示	[6.5.6]
21. 5-8. 軽量鉄骨天井	5-8. 軽量鉄骨天井	野縁等の種類 ※ 屋外(※25形・19形) ※ 屋内(※19形・25形) 屋外の軒天井、ビロティ天井等 屋外での施工 野縁受、フリポルト及びインサートの間隔及び周辺部の端からの距離 ※図示 野縁の間隔 ※図示 ダクト等の開口によりフリポルトの間隔が900mmを超える場合 補強方法 ※図示 天井のふとろが1.5m以上3.0m以下の場合 補強方法 ※改修仕様表6.4(8)(7)~(4)による 図示 天井のふとろが3.0mを超える場合 補強方法 ※図示 天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 図示 補強方法 ※図示 屋外の軒天井及びビロティ天井等における耐震性を考慮した補強 補強方法 ※図示	[6.5.7]
22. 5-8. 軽量鉄骨天井	5-8. 軽量鉄骨天井	スタッド、ランナーの種類 ※ 改修仕様表6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 図示 スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※ 図示 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※ 仕様表6.7.4(5)(7)~(4)による 図示	[6.5.8]

9 環境配慮改修工事	1. 石綿含有建材の除却工事	石綿粉じん濃度測定 ※ 10章 解体工事「10-6石綿含有建材の除去等」による除去工法による処理 ※ 10章 解体工事「10-6石綿含有建材の除去等」による建材除去後の仕上げ工事 ※ 図示	[9.1.1~5]
	2. 外断熱改修工事	断熱材 JIS A 9 5 2 1 種 類 ・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 ・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキンなし) ・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 ・ フェノールフォーム断熱材 厚さ(mm) ・ 保温板(2種b) ・ 25 ・ 保温板(3種b) ・ 25 ・ 接地板 外装材 種 類 防 火 性 能 備 考	[9.2.2~4]
	3. 断熱・防露改修工事	ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ウレタン樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆ 断熱材 JIS A 9 5 2 1 種 類 ・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 ・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキンなし) ・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 ・ フェノールフォーム断熱材 厚さ(mm) ・ 保温板(2種b) ・ 25 ・ 保温板(3種b) ・ 25 ・ 接地板 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ※ A種I ・ A種IH 厚さ(mm) ・ 25 ・ 30 施工箇所 ※ 図示 品質・性能 ※ 建築材料・設備機材等品質性能評価による評価名簿記載の製品 断熱材後張り工法 ※ 製造所の指定による	[9.3.2~4]
	4. 屋上緑化改修工事	植栽基盤及び材料 屋上緑化軽量システム ※ 適用する ・ 適用しない 芝及び地被類の樹種並びに播種等 ※ 図示 見切り材、舗装材、水接管、マルチング材 ※ 図示 品質・性能 ※ 建築材料・設備機材等品質性能評価による評価名簿記載の製品 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※ 適用する (1)一般共通事項により製造所の指定による ※ 適用しない かん水装置 ・ 設置する(種類:) ・ 設置しない 既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない 新植芝及び地被類の枯補償 期間 ※ 引渡しの日から1年	[9.4.1~4]
7. 透水性アスファルト舗装改修工事	既存舗装の撤去及び再利用 ※ 図示	[9.5.2~9]	
	路床 層の適用、材料、層厚 種 別 材 料 厚さ(mm) ・ 盛土 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 図示 ・ 凍上抑制層 ※ 再生クラッシュラン ・ クラッシュラン ・ 切込み砂利 ・ 砂 (川砂 ・ 海砂 ・ 山砂) ・ フィルター層 ・ 砂 ・ 川砂 ・ 海砂 ・ 山砂 ※ 100 使用する砂は、粒度は改修標仕表9.5.1により、シルト・有機物等の混入しない綿密に選したものとす。 路床安定処理 ・ 添加材料による安定処理 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰(・特号・1号) ・ 消石灰(・特号・1号) 添加量 () kg (目録C8R・5以上) 試験の適用 砂の粒度試験 ・ 行う ・ 行わない 路床土の支持力比(CBR)試験 ・ 行う ・ 行わない 砂置換法による土の密度試験 ・ 行う ・ 行わない 現場CBR試験 ・ 行う ・ 行わない 路盤 路盤の厚さ ・ 図示 路盤材料 ・ 砕石クラッシュラン ・ 粒度調整砕石 ※ 再生材クラッシュラン ・ 粒度調整再生材 ・ クラッシュラン鉄鋼スラグ ・ 粒度調整鉄鋼スラグ ・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ ※ 図示 品質 ※ 積土表9.7.4による ・ 図示 試験の適用 突固めによる土の締固め試験 ※ 行う 路盤の厚さ ※ 500mm毎1箇所 砂置換法による土の密度試験 ※ 行う (1000m以下3か所、1000mを超える場合1000mごと1か所追加する) 建設発生土の処理 ※ 構外搬出適切処理 ・ 構内の達成に利用 ・ 構内の指定場所へたい積 ※ 構内の指定範囲に敷きならし 舗装 舗装の構成 ・ 図示 試験 切り取り試験 ※ 行う (2000㎡以下3層、2000㎡を超える場合は2000㎡ごとに1か所追加する) 透水性アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない 舗装の平坦性 ※ 著しい不陸がないもの		

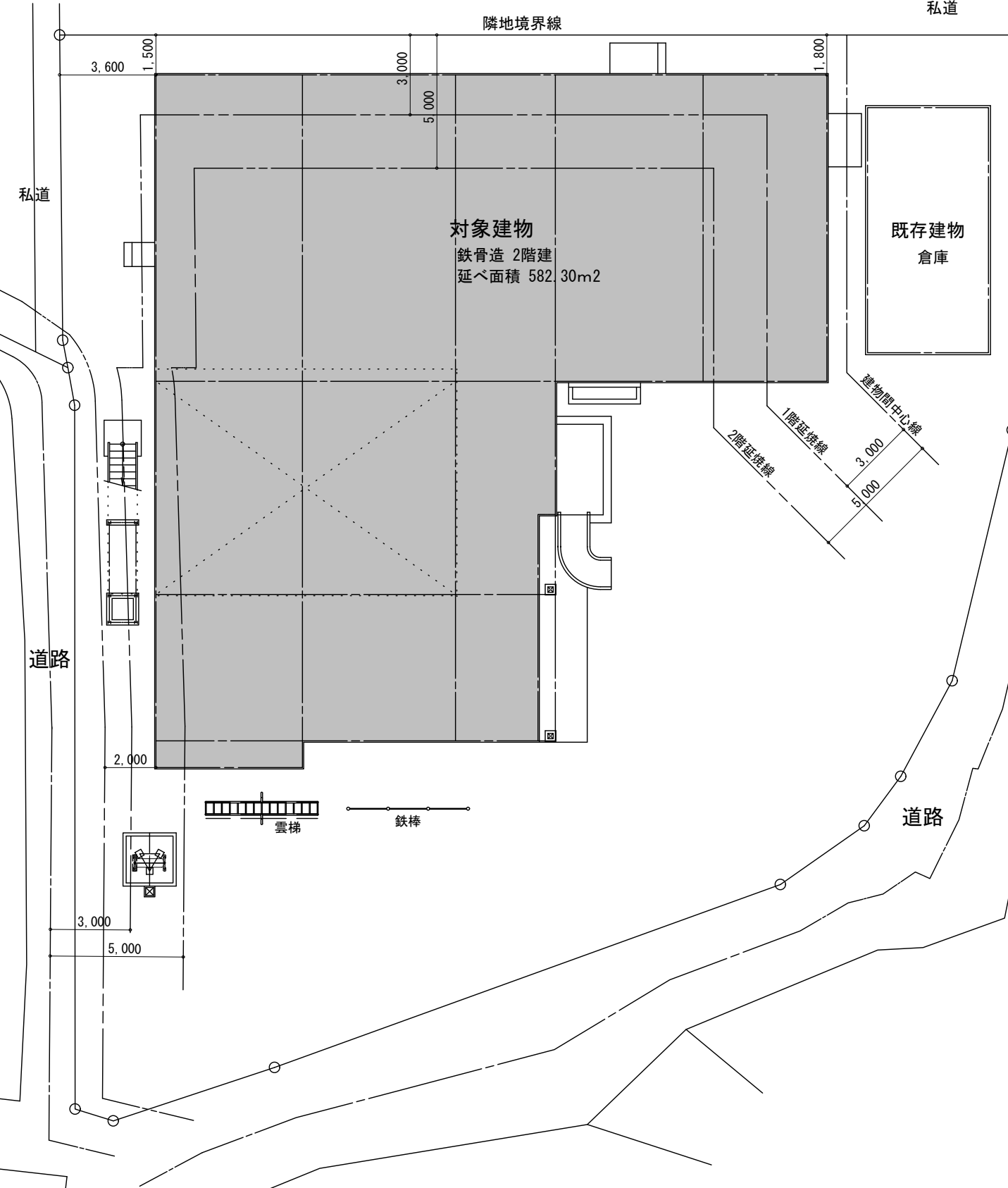
10 解体工事	1. 事前措置	機械設備及び電気設備の切替・遮断等 (3.2.1) 請負者が同工事の許可業者でない場合は、監督職員と協議の上、同工事の許可を取得している業者に委託する。 油類タンク 解体に先立ち、燃料配管、燃料槽、燃料小出槽等に残油がないことを確認する。必要に応じて残油を抜き取り、燃料を土壌に流失させないように注意する。燃料槽、燃料小出槽は、洗浄のうえ中和処理を行う。 空調機器等の冷媒 ・ 冷媒を屋外機にポンプダウンした後撤去を行う機器は下記による。 図 面 番 号 記 号 ○冷媒を回収した後撤去を行う機器は下記による。 図 面 番 号 記 号 示 図 壁掛けルームエアコン 浄化槽、排水槽等 解体に先立ち、汚水及び汚物は、回収、洗浄、消毒等の措置を行い、異臭の発生並びに周囲及び地中への汚染を防止する。	(3.2.1)
	2. 杭の解体	・ 行う ・ 行わない (3.9.2) 杭の解体工法 引抜き工法 ・ 破砕による解体 掘木の伐根及び移転 (3.10.1) ○行う(場所:) ○図示 () ・ 行わない 地下埋設物及び埋設配管の解体 (3.11.1) ・ 行う(場所:) ○図示 () ・ 行わない 電柱の撤去 ・ 行う () ○図示 () ・ 行わない 外灯の撤去 ・ 行う () ○図示 () ・ 行わない	(3.9.2)
	3. 樹木の処理	・ 行う ・ 行わない (3.10.1) 樹木の伐根及び移転 ○行う(場所:) ○図示 () ・ 行わない 地下埋設物及び埋設配管の解体 (3.11.1) ・ 行う(場所:) ○図示 () ・ 行わない 電柱の撤去 ・ 行う () ○図示 () ・ 行わない 外灯の撤去 ・ 行う () ○図示 () ・ 行わない	(3.10.1)
	4. 地下埋設物・埋設配管等の処理	地下埋設物及び埋設配管の解体 (3.11.1) ・ 行う(場所:) ○図示 () ・ 行わない 電柱の撤去 ・ 行う () ○図示 () ・ 行わない 外灯の撤去 ・ 行う () ○図示 () ・ 行わない	(3.11.1)
11 建設廃棄物の処理	1. 一般事項	本工事は「建設副産物情報交換システム」を活用する。 総合施工計画作成時、工事完了時及び登録情報に変更が生じた場合、速やかに当該システムにデータ入力を行う。また、同システムにより工事着手時に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を工事完了時に同計画書の実施報告書(書式は同一)を作成し、監督職員に提出するものとする。	(4.4.1)
	2. 再資源化等	建設廃棄物の種類 ※ コンクリート ※ 監督員の承諾する施設 ・ 現場説明書による ※ コンクリート及び鉄からなる建設資材(PC板、コンクリート平板、 ※ 監督員の承諾する施設 ・ 現場説明書による コンクリート二次製品) ※ 木材 ※ 監督員の承諾する施設 ・ 現場説明書による ※ 木材(削減) ※ 監督員の承諾する施設 ・ 現場説明書による ※ アスファルトコンクリート ※ 監督員の承諾する施設 ・ 現場説明書による ※ 金属類 ※ 監督員の承諾する施設 ・ 現場説明書による ・ 小形二次電池 ※ 監督員の承諾する施設 ・ 現場説明書による ・ 蛍光灯ランプ、HIDランプ ※ 監督員の承諾する施設 ・ 現場説明書による ・ 硬質塩化ビニル管、継手 ※ 監督員の承諾する施設 ・ 現場説明書による ・ ガラス ※ 監督員の承諾する施設 ・ 現場説明書による ・ 廃石膏ボード ※ 監督員の承諾する施設 ・ 現場説明書による ・ 建設汚泥 ※ 監督員の承諾する施設 ・ 現場説明書による	(4.4.1)
	3. 現場利用する再資源化された建設廃棄物	名 称 仕 様 数 量 備 考	(4.4.1)
	4. 産業廃棄物区域認定制度の活用	種 類 所 在 地 ・ 現場説明書による ・ 現場説明書による	(4.4.2)
12 最終処分する建設廃棄物	最終処分施設 ※ 監督員の承諾する施設 ・ 現場説明書による	名 称 最終処分場の種類 数 量 備 考 ・ 石綿含有せっこうボード ※ 管理型 ・ アスベスト含有成形板 ※ 安定型	(4.4.3)
	最終処分施設 ※ 監督員の承諾する施設 ・ 現場説明書による 「特定廃石膏ボード」とは、以下の石膏ボード製品が廃棄物となったもの。	名 称 仕 様 数 量 備 考 ・ 特定廃石膏ボード ・ CCA処理木材	(4.5.1)
	① 水素入り石膏ボード 商品名 : タイガーボード 工場名 : 小名浜野野石膏製いわき工場 裏面表示マークは「吉野石膏OY」 製造期間 : 昭和48年3月~平成9年4月 JIS許可番号 : 277057、277058 ロット番号 : 0378000000000~0497000000000		
	② カドミウム混入石膏ボード 商品名 : アドラせっこうボード 工場名 : 日東石膏ボード㈱八戸工場 裏面表示マークは「日東石膏ボード株式会社」 製造期間 : 平成4年10月~平成9年4月 JIS許可番号 : 265023、265024 ロット番号 : A41410~A49430		

10-5 特別管理産業廃棄物等の処理等	1. 施工調査	分別調査を行う特別管理産業廃棄物の種類 採取する部位又は箇所等 採取する数量 備 考 PCB含有シーリング分析調査 (5.4.4) ・ 第一次判定 現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び分析の要否を判定する。 ・ 第二次判定 専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う。 PCBを含む機器の微量PCBの分析調査 絶縁油のPCB含有量の分析基準 ○特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の検定方法(平成4年7月3日厚生省告示第192号) ○絶縁油中のポリ塩化ビフェニルの分析手法規定(電気技術規定JEC101-1991) 焼却炉のダイオキシン類汚染物質の調査基準 ○廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類暴露防止対策要綱(平成13年4月25日付基発第401号)	(5.1.2)
	2. 特別管理産業廃棄物の処理	特別管理産業廃棄物の種類 仕 様 数 量 備 考 ・ 廃石膏 ・ 廃油 ・ 廃酸 ・ 廃アルカリ ・ ダイオキシン類汚染物 処理施設 ※ 監督員の承諾する施設 ・ 現場説明書による	(5.4.1)
	3. PCBを含む機器類	種類、位置 ・ 現場説明書による ・ 図示 機器類は適切な容器に納め、工事完了後、調査と共に監督職員に引き渡す。	(5.4.1)
	4. PCB含有シーリング材	撤去方法 ・ 標準工法要領書(日本シーリング工業協会/日本シーリング材工業会) 撤去範囲 ※ 図示 シーリング材は適切な容器に納め、工事完了後、調査と共に監督職員に引き渡す。	(5.4.1)
10-6 石綿含有建材の除去等	1. 石綿含有分析調査	※ 石綿含有建材の事前調査 (1.4.1) 工事着手に先立ち、目視及び貫通する設計図書等によりアスベストを含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、監督職員に報告する。 調査範囲 ・ 図示 貸与資料 () 分析による石綿含有建材の調査 分析対象 ・ アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トremoライト 分析方法 ・ JIS A 1481-2 (建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部 試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法) ・ JIS A 1481-3 (建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第3部 アスベスト含有率のX線回折定量分析方法) 材 料 名 定性分析 定量分析 ・ 箇所数() ・ 箇所数() ・ 箇所数() ・ 箇所数() ・ 箇所数() ・ 箇所数() ・ 箇所数() ・ 箇所数() サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 ※ 図示 測定時期・場所及び測定点 (9.1.1) (6.1.3)	(1.4.1)
	2. アスベスト粉じん濃度測定	測定名称 測定時期 測定場所 測定点 (各施工箇所ごと) 備 考 ・ 測定 1 処理作業前 処理作業室内 各 点 - ・ 測定 2 処理作業前 施工区画周辺又は敷地境界 計 点 - ・ 測定 3 処理作業中 処理作業室内 各 点 - ・ 測定 4 処理作業中 セキュリティゾーン入口 各 点 空気の流れを確認 ・ 測定 5 処理作業中 集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合) 各 点 装置の性能確認 ・ 測定 6 施工区画周辺又は敷地境界 計 点 - ・ 測定 7 処理作業後 (シート養生中) 処理作業室内 各 点 - ・ 測定 8 施工区画周辺又は敷地境界 計 点 - ・ 測定 9 処理作業後シート撤去後1週間以降 処理作業室内 各 点 - ・ 測定 10 調査対象室外の付近 計 点 - 測定位置 ※ 図示 アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法 - 第1部:光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による位相差・分散顕微鏡法による。 測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。 アスベスト粉じん濃度測定方法	(9.1.1) (6.1.3)
	3. 計数アスベスト	測定4 測定5 ・ 測定 ・ 測定 計数アスベスト (f: 繊維本数) 測定4 測定5 ・ 測定 ・ 測定	
	4. 測定	計数アスベスト (f: 繊維本数) 測定4 測定5 ・ 測定 ・ 測定	

10-7 特殊な建設副産物の処理	1. 施工調査	分別調査を行う特別管理産業廃棄物の種類 採取する部位又は箇所等 採取する数量 備 考 ・ 図示 ・ () 箇所 ・ 図示 ・ () 箇所	(7.1.3)
	2. 回収及び処分	回収及び処分を行う特殊な建設副産物の種類 含有機器名称 回収又は処分業者名 ・ フロン ※ 監督員の承諾する業者 ・ ハロン ※ 監督員の承諾する業者 ・ イオン化感知器 ※ 監督員の承諾する業者 ・ 六フッ化硫黄(SF ₆)ガス ※ 監督員の承諾する業者 ・ PFO5ガス ※ 監督員の承諾する業者 ・ ※ 監督員の承諾する業者 ・ ※ 監督員の承諾する業者 ・ ※ 監督員の承諾する業者	(7.3.1)
	3. 工事現場の環境改善について	工事現場のイメージアップ ・ 仮囲い周辺の美化 ・ 地域住民への情報提供 ・ 完成予想図の設置 ・ 情報掲示板の設置 ・ パンフレットの作成 地域住民とのコミュニケーション ・ 現場見学会の開催 住民に対する災害防止関係 ・ 現場出入口周辺への誘導員の配備	
	4. 不具合の確認	工事しゅん工後10ヶ月、20ヶ月(新築に限る)に不具合の確認を行い、その結果を書面の上田市長あてに報告する。 (施設管理者からの聞き取り調査を含め、調査には必ず監督員の立会いを要する。)	
11 その他	1. 産業廃棄物の取扱い	(1) 廃棄物の処理に当たっては、請負者が自ら処理(分別、保管、収集、運搬及び処分の一連の行為)するときは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(以下「廃棄物処理法」とい)に基づき、適正に行うこと。 (2) 廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、廃棄物処理法に基づく処理を業として許可を取得している者に委託すること。また、施工前に産業廃棄物処理委託契約書の写し、産業廃棄物処理業の許可証の写し、許可運搬車両一覧並びに処分地の案内図等をまとめた「廃棄物処理計画書」を監督職員に提出すること。 (3) しゅん工した時は、廃棄物ごとに処理数量を集計し、積込み状況の写真、処分状況の写真等の写しを添付した「廃棄物等処理報告書」を監督職員に提出すること。	
	2. 環境対策関係	(1) 現場で使用する機械は、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型建設機械とすること。 (2) 夜間、早朝等の騒音を避けること。ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。なお、運搬ルートの選定に当たっては影響の少ない最短ルートを選定すること。 (3) 汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等、環境の回復に努めること。 (4) 熱帯材合板型枠は、極力使用しないこと。	
	3. 安全対策関係	(1) 工事現場においては、労働災害、公衆災害防止に努めるとともに、全作業員を対象に定期的に安全教育、研修及び訓練を行うこと。 (2) 安全教育、研修及び訓練については、工事期間中に月一回程度実施し、工事日誌へ記録するほか、実施結果、実施状況の写真、安全教育に使用した資料等も整理すること。 (3) 原則として代理人(主任)以外の第三者により、月1回以上本社による安全パトロールを行い、工事日誌へ記載するほか、点検内容を別書面に記録し、実施状況の写真を撮影すること。 (4) 下請業者にはKY(危険予知)、TBM(作業内容の打合せ)活動等を実施させ、その記録を整備するとともに、随時、実施状況の写真を撮影すること。 (5) 下請業者を含め、作業員に対し現場内にて即ち新規入場者教育、安全教育・訓練等を実施し、関連書類及び使用した資料等を整理するとともに、随時、実施状況の写真を撮影すること。 (6) 上記の(2)~(5)の活動については、記録・書類及び写真を整備したものを現場に備え、監督員及び工事検査の際に提示できるようにすること。	
	4. 工事検査	施工途中において工事検査担当職員または、発注機関の長が指定する職員による括弧検査を実施することがあるので、検査に協力すること。 ① 業者等 ② 施工等 ③ 完成図等 ④ 提出物	

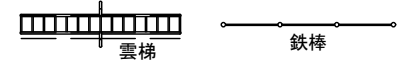


既存 樹木 (ナツ) 伐採根処分
幹径φ250、樹高H=5.0m、枝張φ4.000



対象建物
鉄骨造 2階建
延べ面積 582.30m²

既存建物
倉庫



配置図

■建物概要

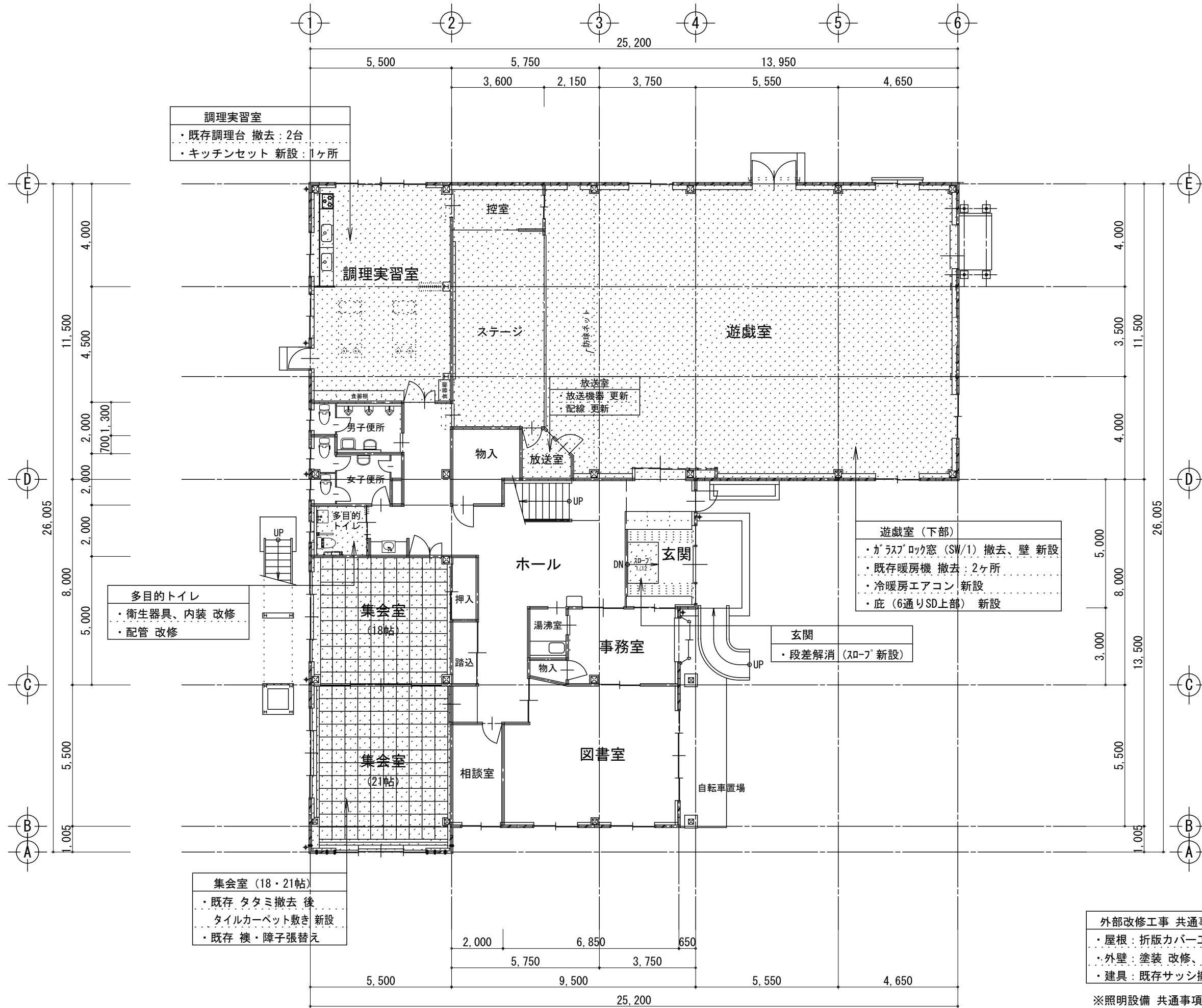
- 施設名称： 秋和児童センター
- 所在地： 上田市秋和 914
- 建設年： 昭和62年（築38年）
- 構造階数： 鉄骨造 2階建て
- 延べ面積： 582.30㎡（1F：492.30㎡、2F：90.00㎡）
- 用途地域： 第一種住居専用地域

■工事概要

- 01、屋根：玄関トップライト撤去・全面折板カバー工法・パラペット板金改修
- 02、外壁：全面塗装改修・ALC版目地シール打替え・遊戯室ガラスブロック窓改修
- 03、建具：全既存サッシ撤去、複層ガラスサッシ新設
- 04、照明設備：全照明LED化
- 05、空調設備：各居室空調方式変更
遊戯室 エアコン新設・換気扇更新・天井扇新設
- 06、集会室：既存タタミ撤去、タイルカーペット新設、襖紙・障子紙貼替え
- 07、多目的トイレ：衛生器具、内装、配管改修
- 08、調理実習室：既存調理台撤去、キッチン新設、床改修
- 09、放送室：放送機器更新、配線改修
- 10、2F湯沸室：配管改修

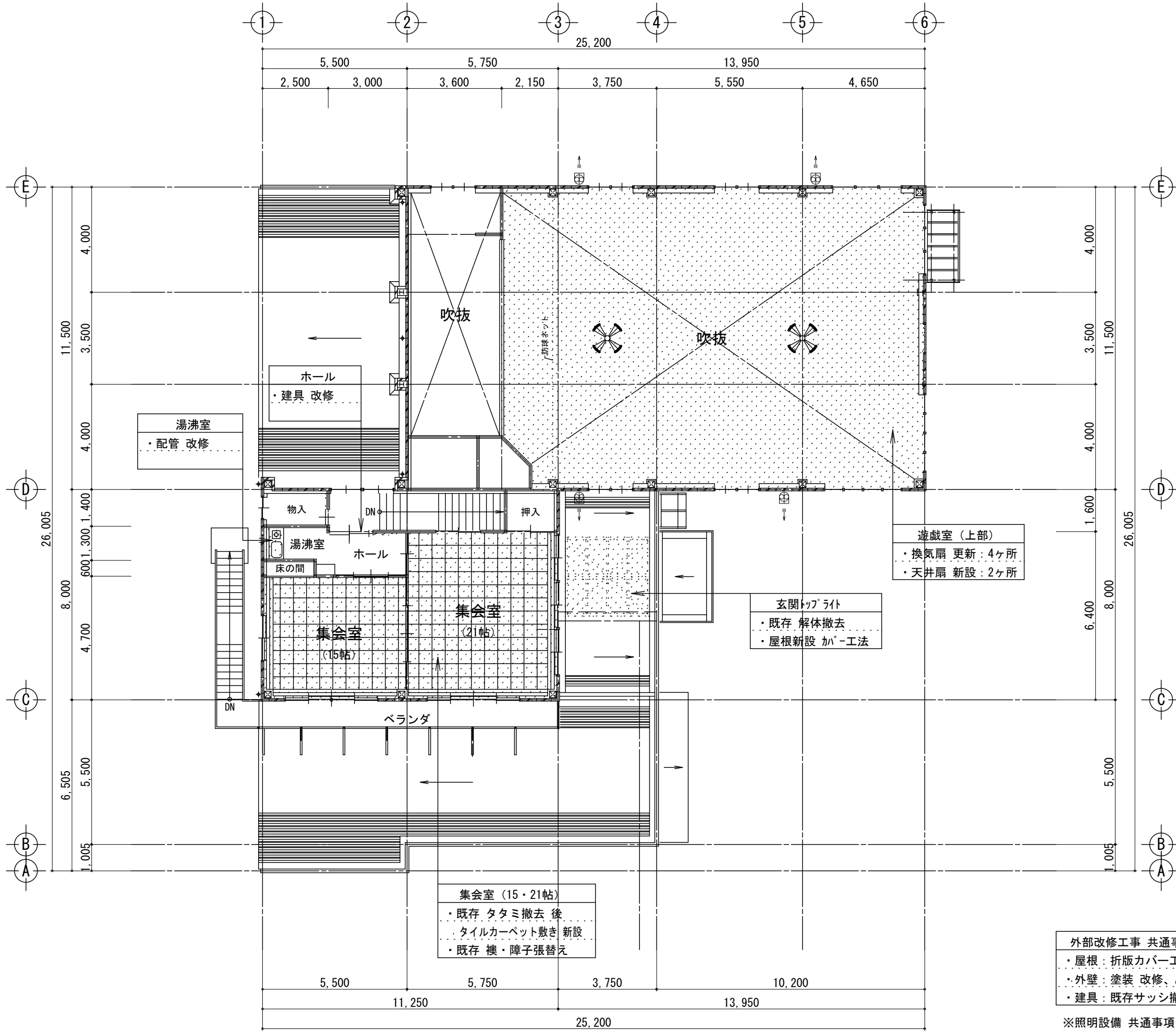


附近見取図



- 外部改修工事 共通事項**
- ・屋根: 折版カバー工法、パラペット板金 改修
 - ・外壁: 塗装 改修、ALC版目地シーリング打替え
 - ・建具: 既存サッシ撤去、複層ガラス建具 新設

- ※照明設備 共通事項**
- ・既存照明器具 撤去、LED照明器具 新設



湯沸室
・配管 改修

ホール
・建具 改修

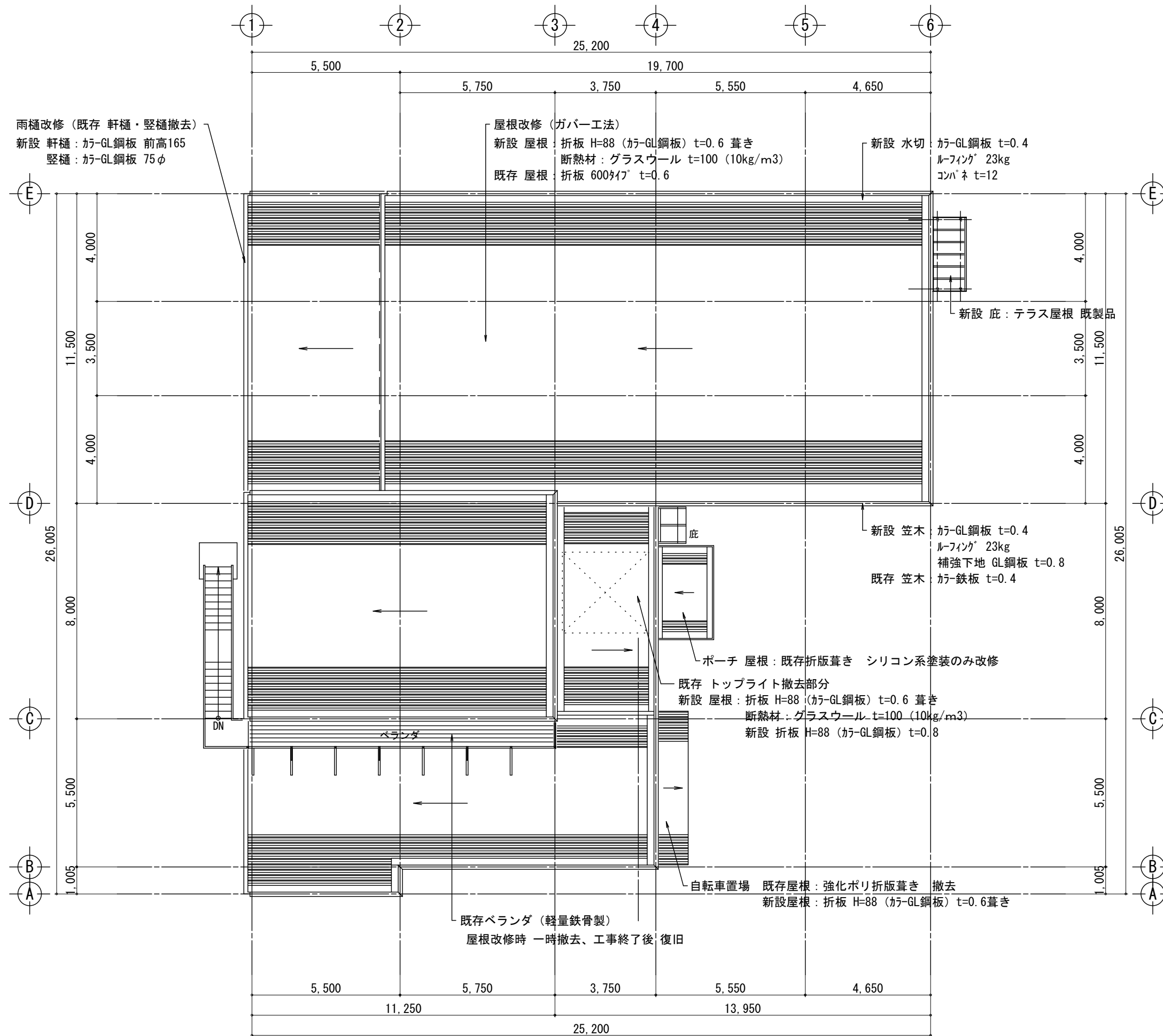
遊戯室 (上部)
・換気扇 更新 : 4ヶ所
・天井扇 新設 : 2ヶ所

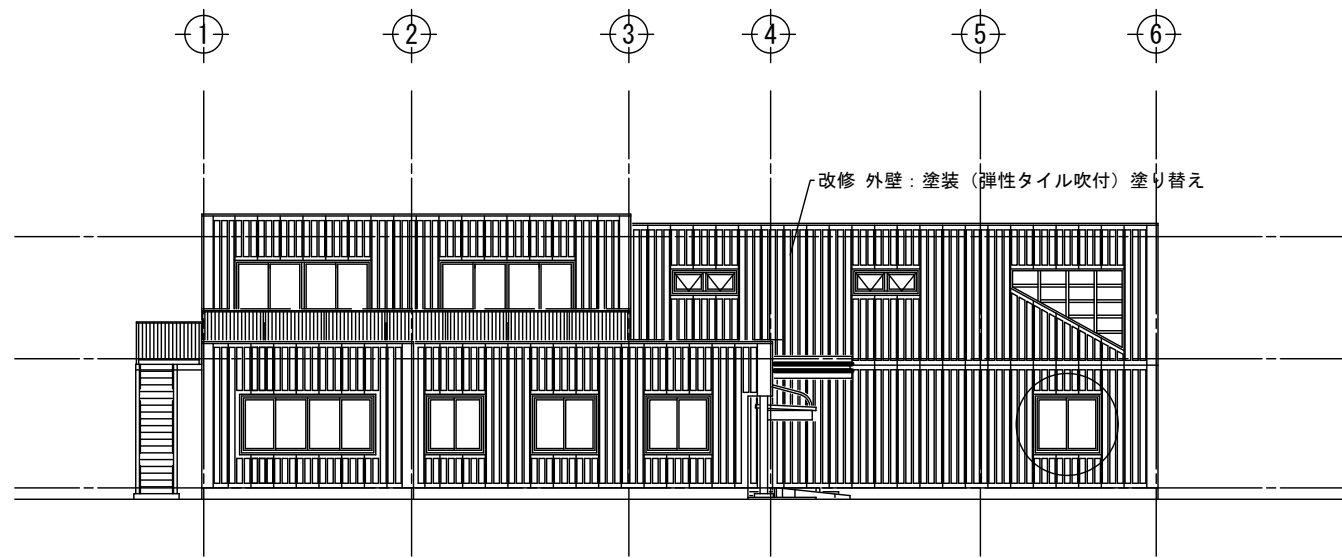
玄関トプライト
・既存 解体撤去
・屋根新設 ガ-工法

集会室 (15・21帖)
・既存 タタミ撤去 後
・タイルカーペット敷き 新設
・既存 襖・障子張替え

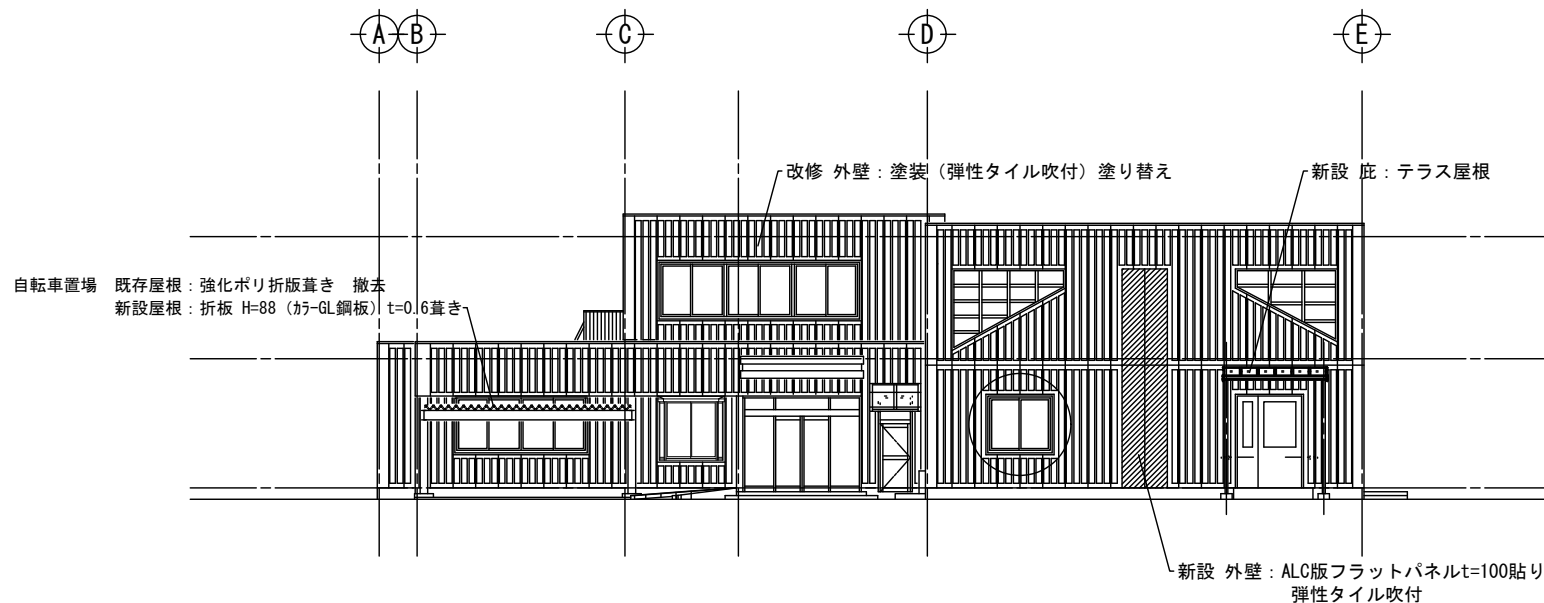
外部改修工事 共通事項
 ・屋根 : 折版カバー工法、パラペット板金 改修
 ・外壁 : 塗装 改修、ALC版目地シーリング打替え
 ・建具 : 既存サッシ撤去、複層ガラス建具 新設

※照明設備 共通事項
 ・既存照明器具 撤去、LED照明器具 新設



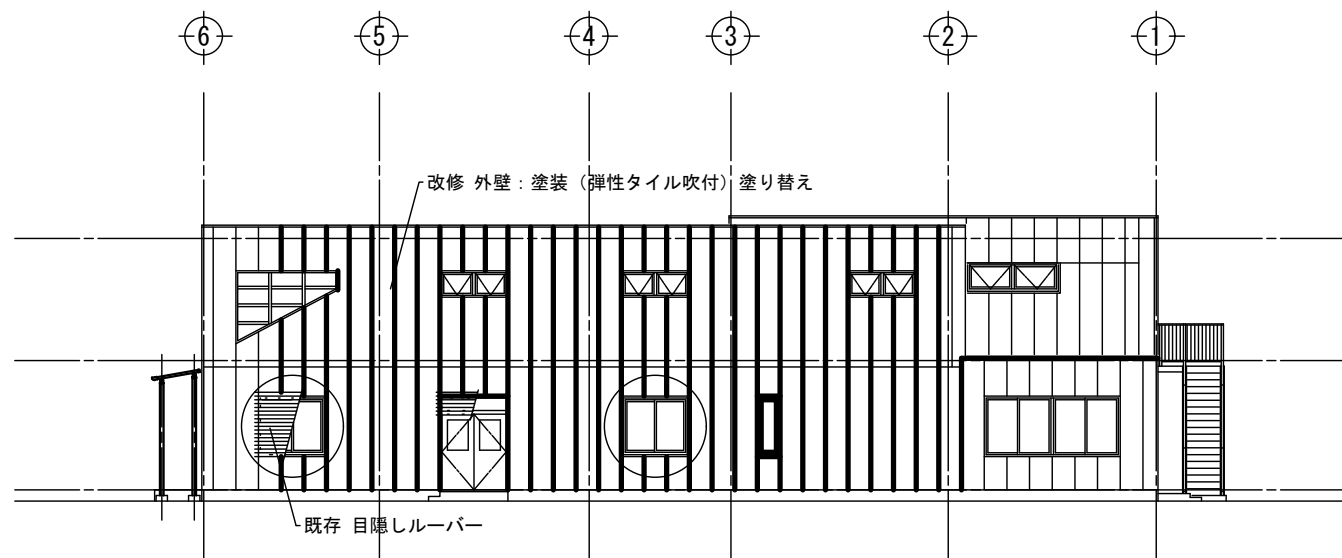


改修 南 立面図

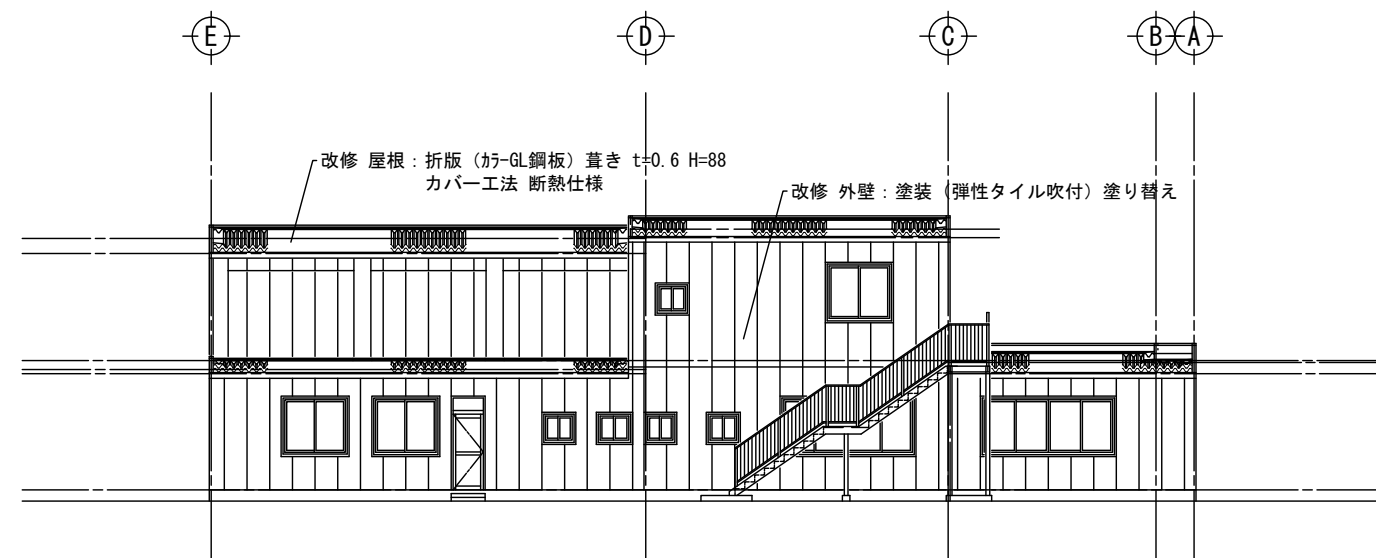


改修 東 立面図

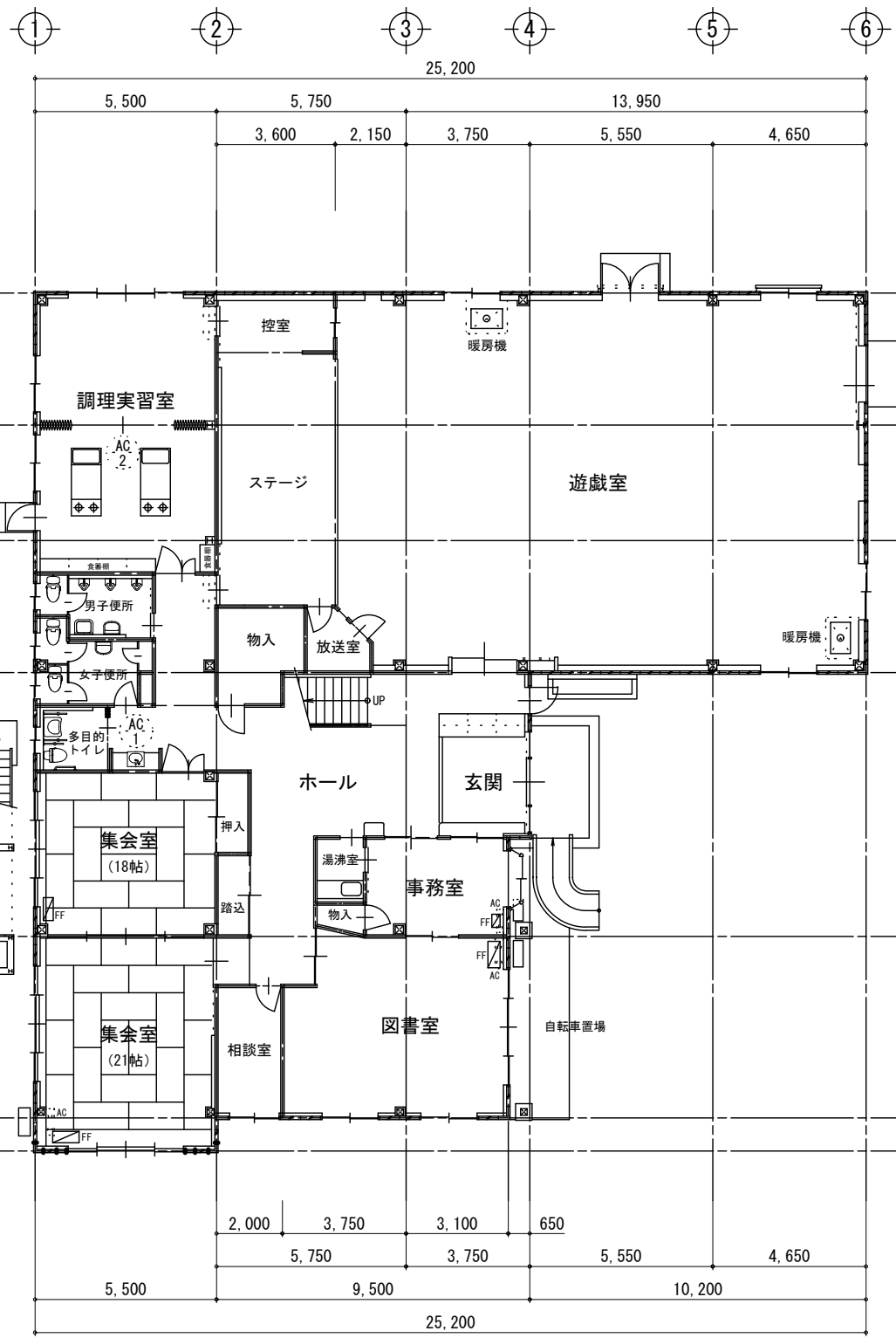
外部改修工事 共通事項
・屋根：折版カバー工法、パラペット板金 改修
・外壁：塗装 改修、ALC版目地シーリング打替え
・建具：既存サッシ撤去、複層ガラス建具 新設



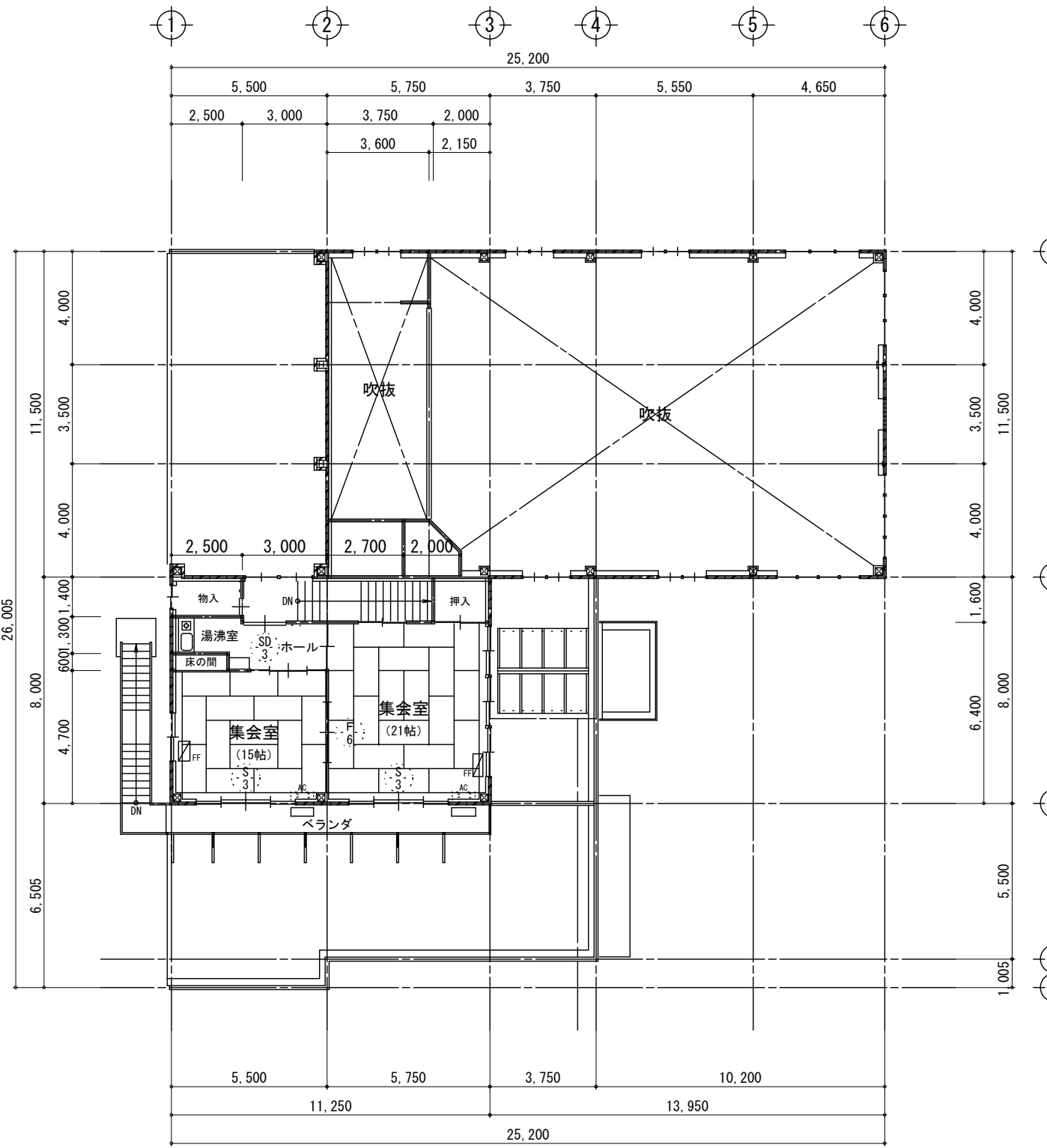
改修 北 立面図



改修 西 立面図

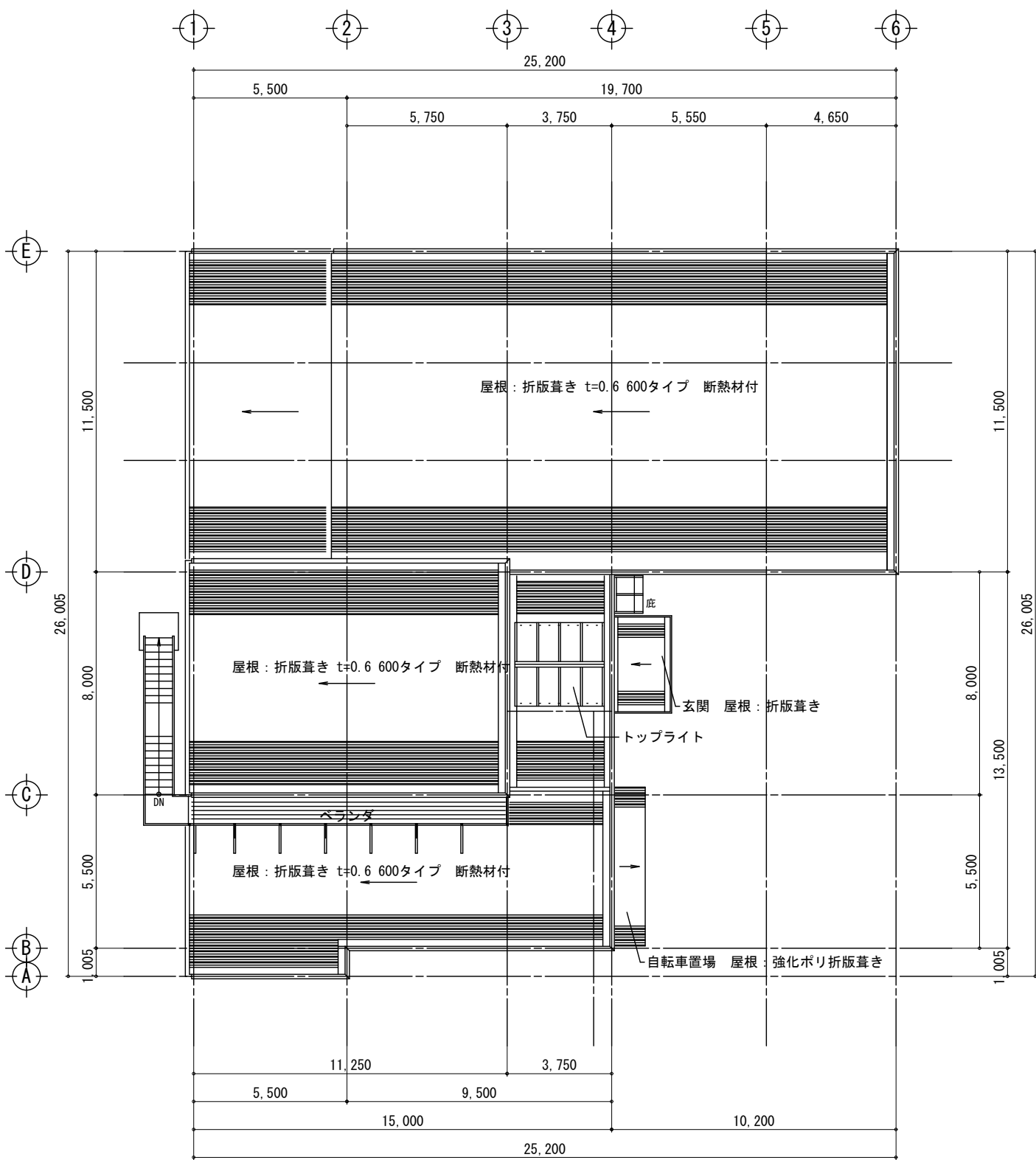


1階 平面図 1階床面積：492.30㎡

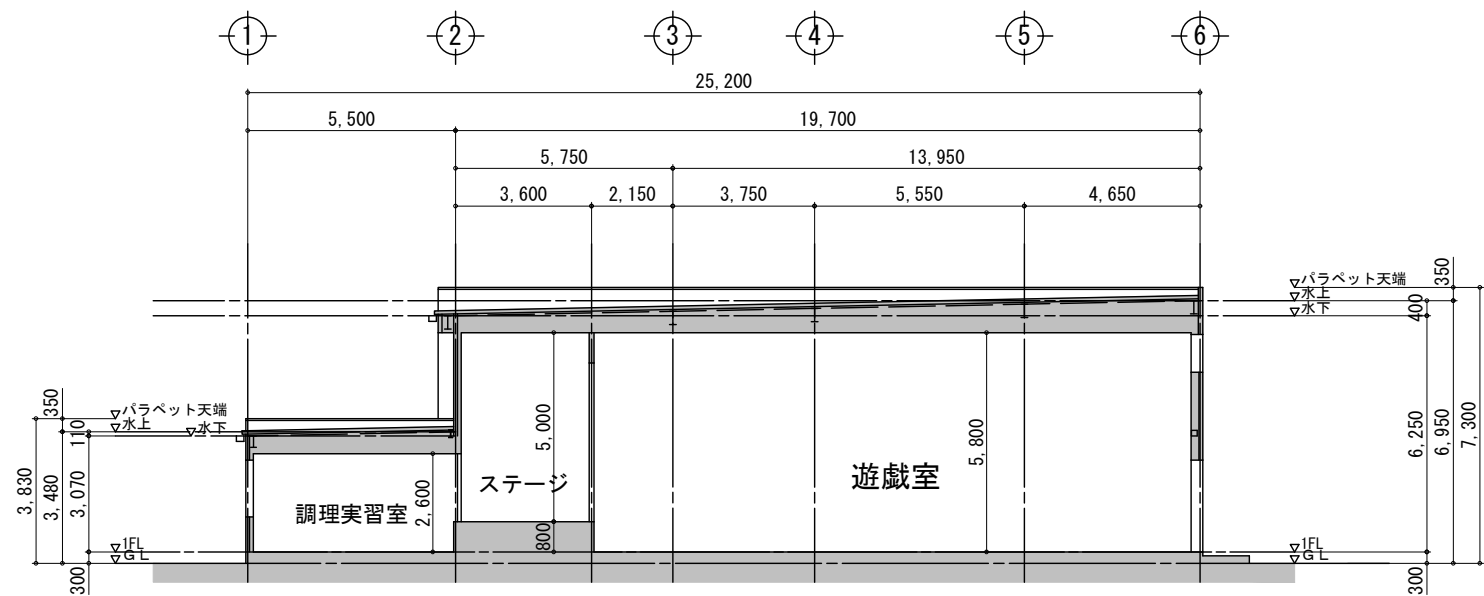


2階 平面図 2階床面積：90.00㎡

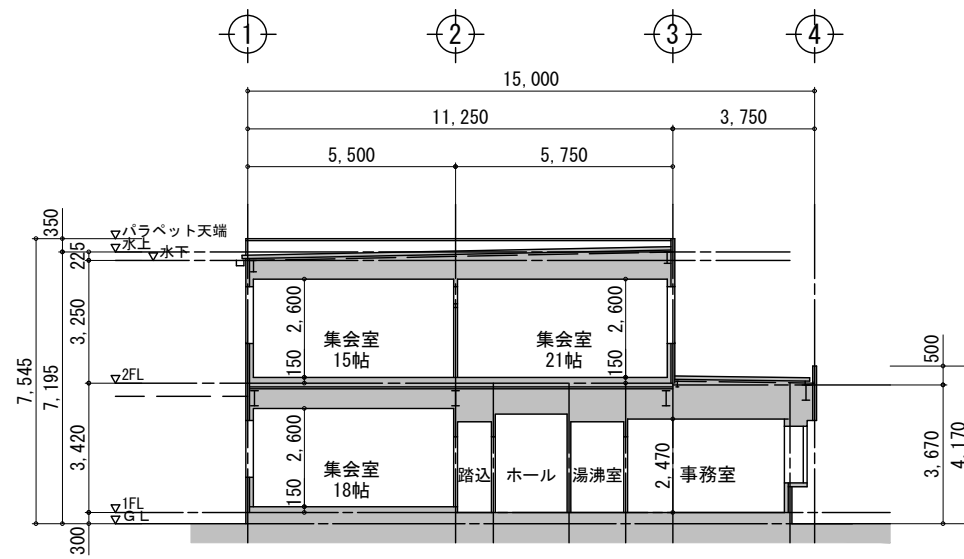
室名	物品名	個数	室名	物品名	個数	
1F 集会室	スタイロ量 t=60 (21帖・18帖)	39帖	2F 集会室	スタイロ量 t=60 (21帖・15帖)	36帖	
	多目的トイレ	AC/1:7コーテ'イオド'ア 1,850×2,000		1ヶ所	S/3:4本引違い障子戸 ランマ付 3,500×1,850 ランマ:3,500×450	2ヶ所
	調理実習室	調理台 900×2,200×860H		2台	F/6:4本引違い襖戸 4,250×1,850	1ヶ所
	AC/2:7コーテ'イオド'ア 5,000×2,580	1ヶ所				



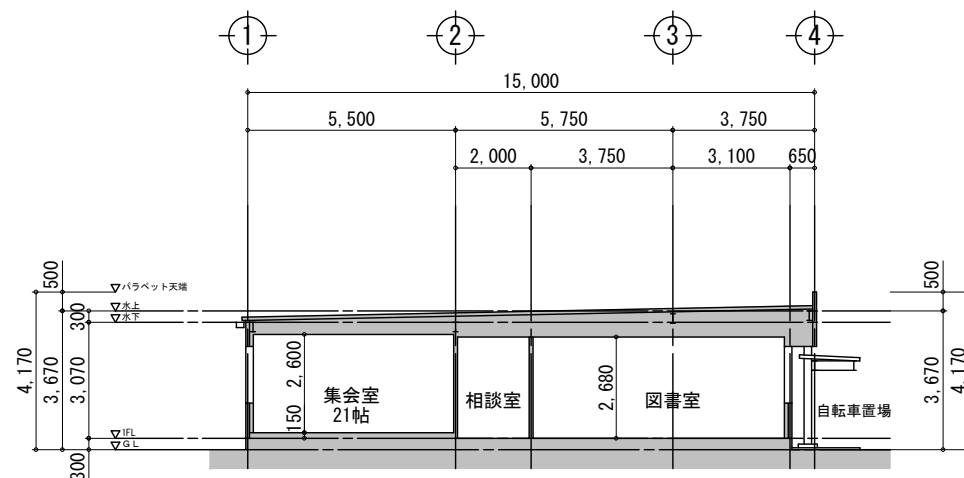
屋根伏図



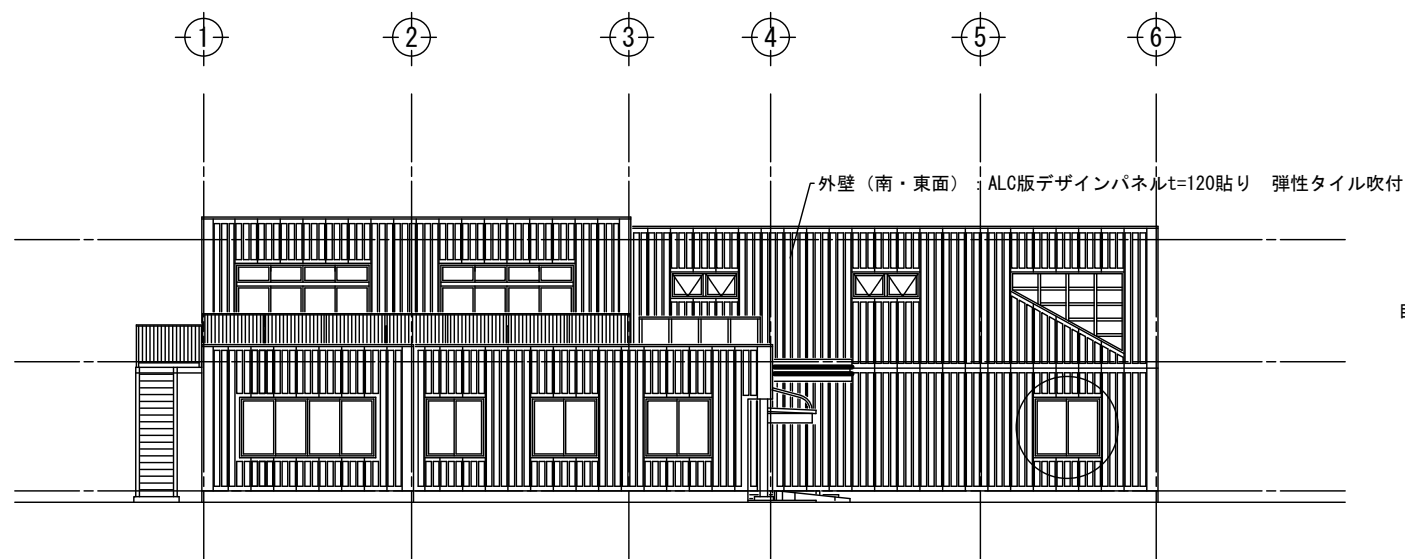
E通り断面図



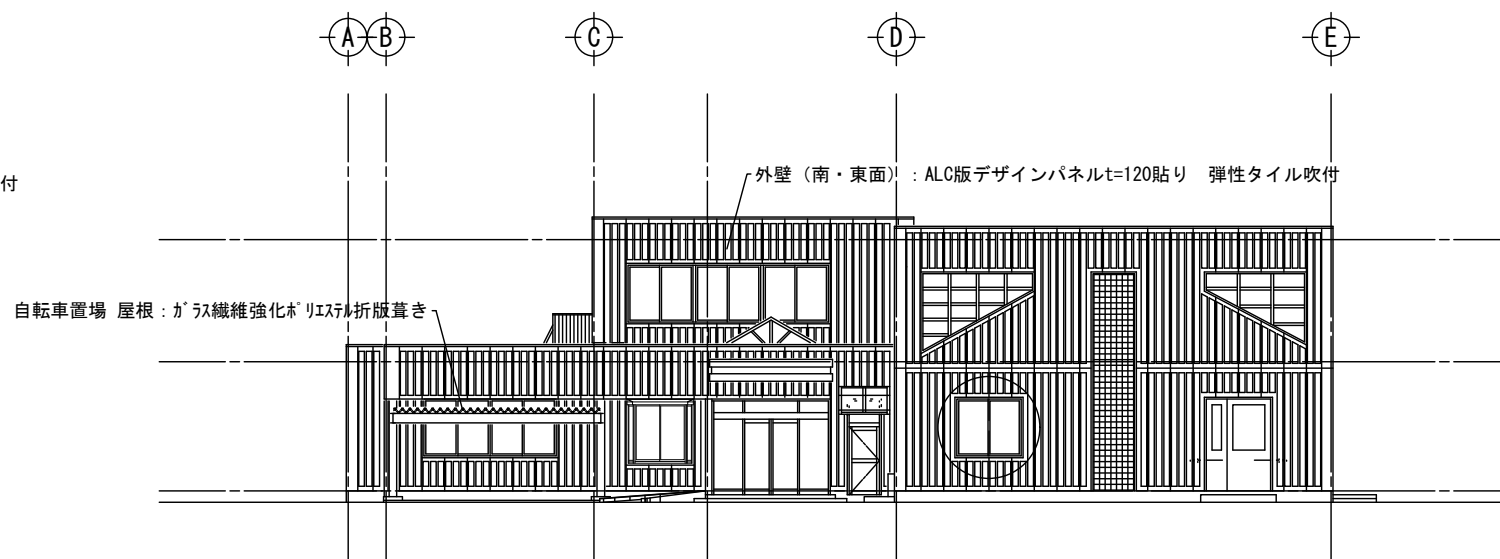
C通り断面図



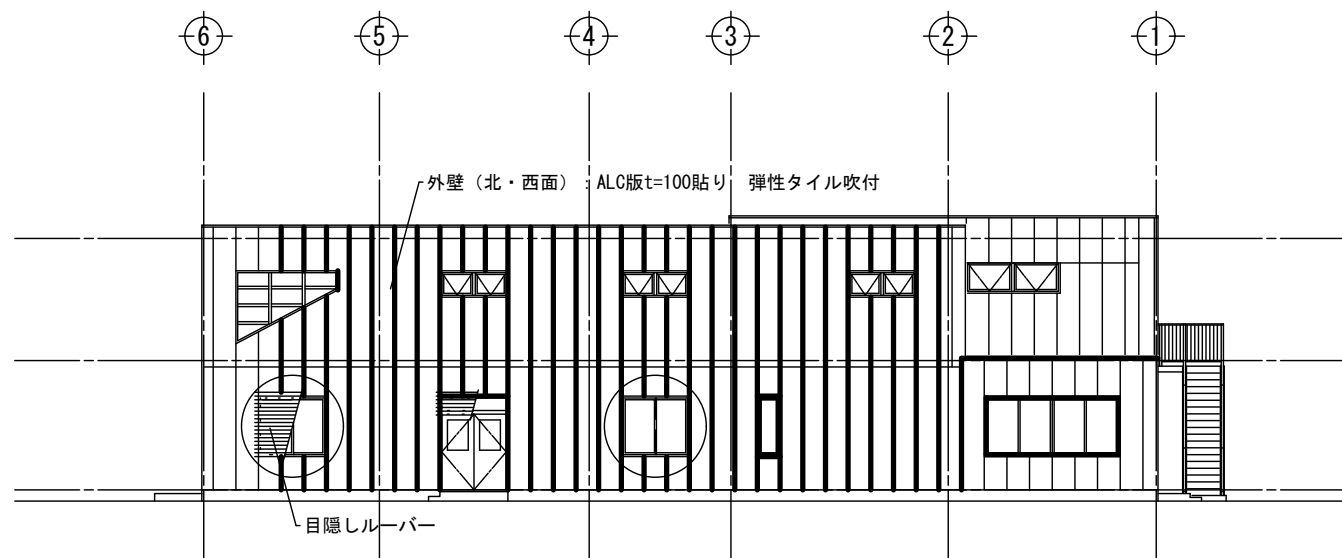
B通り断面図



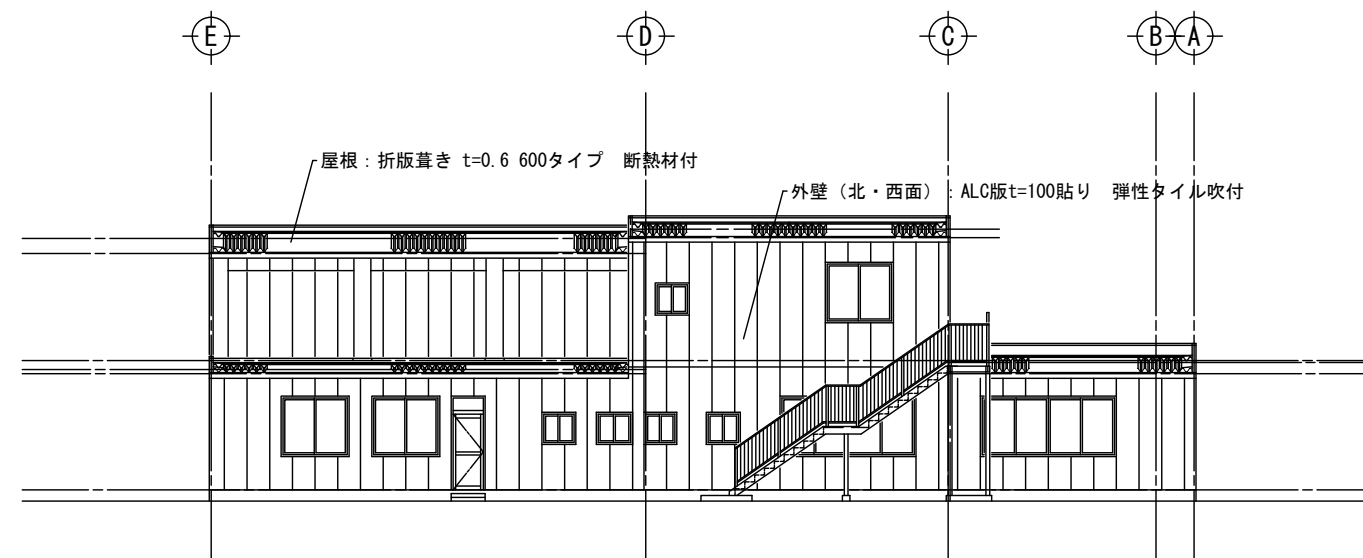
既存 南 立面図



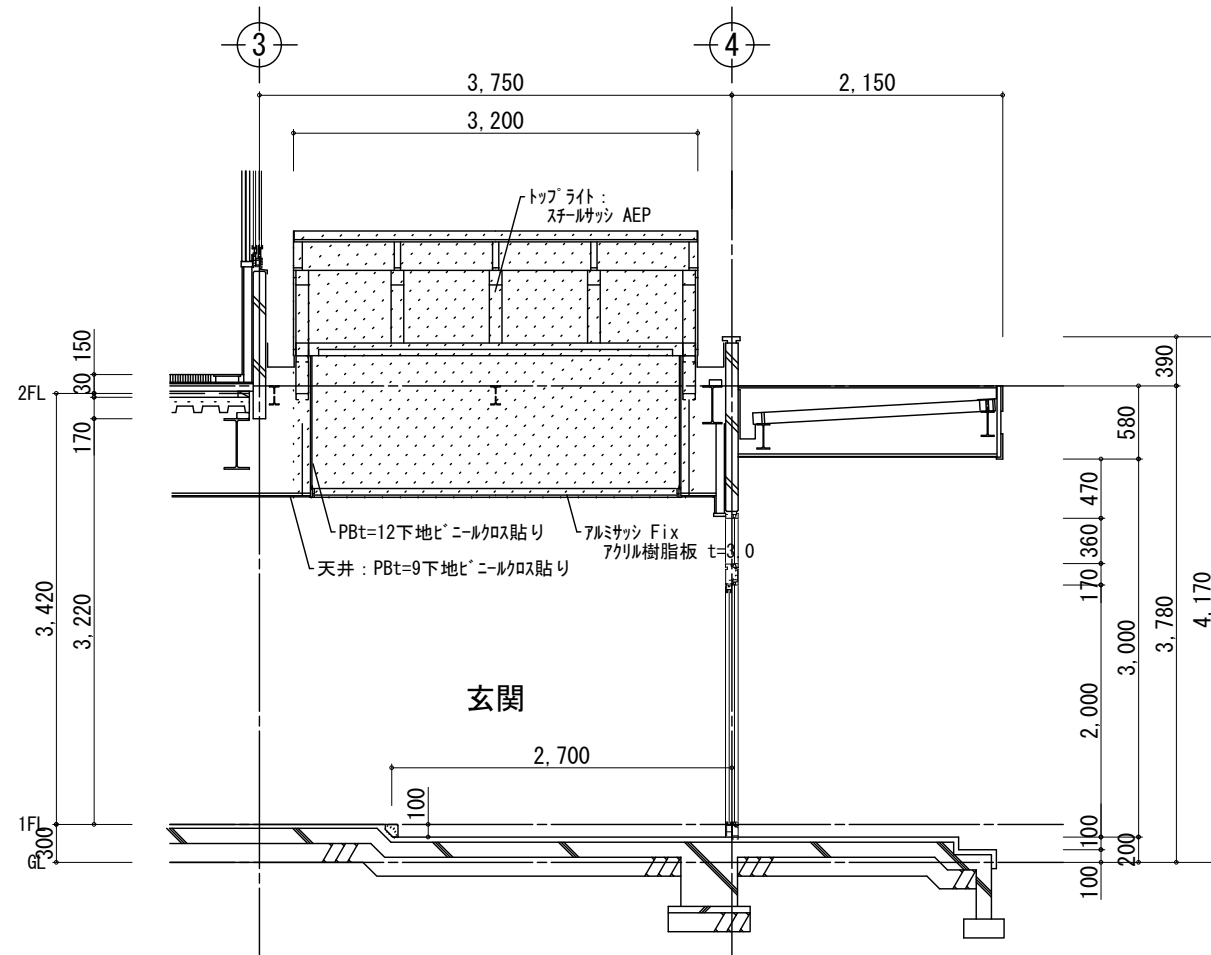
既存 東 立面図



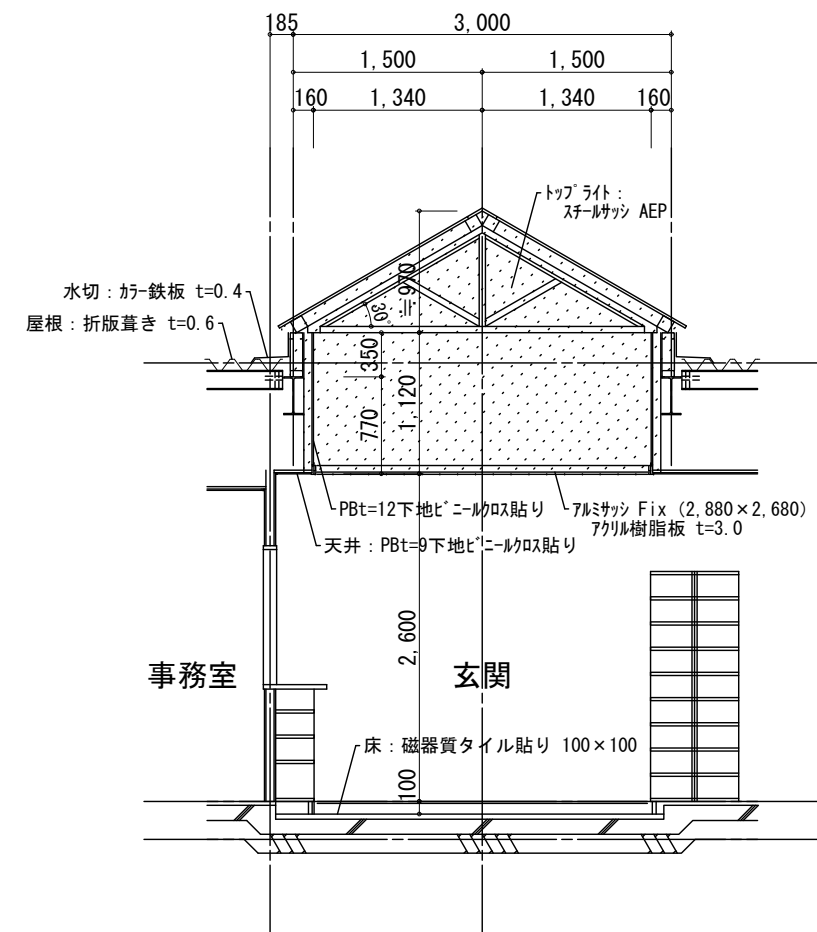
既存 北 立面図



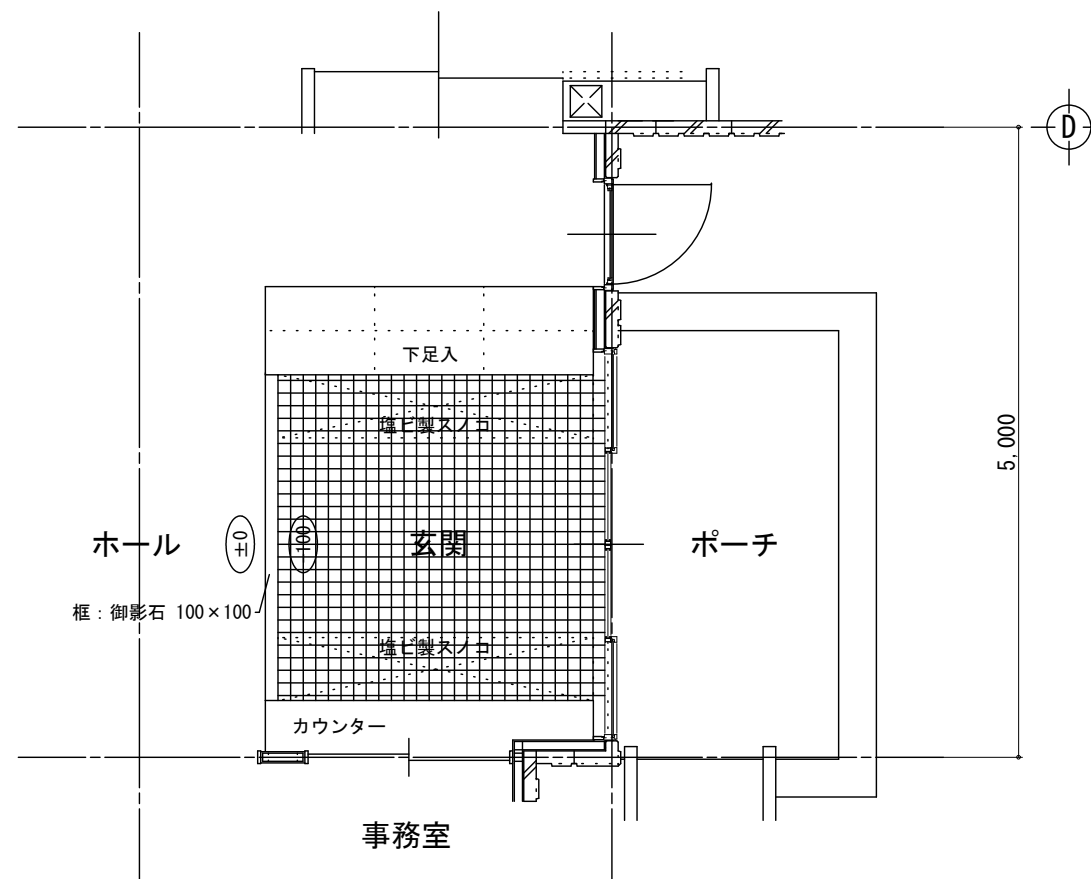
既存 西 立面図



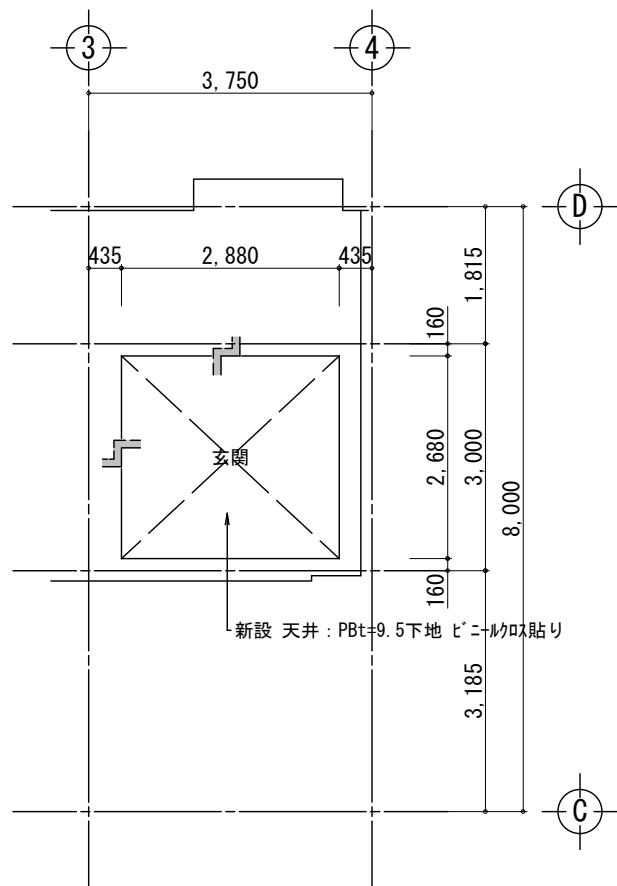
既存 断面図 S=1/30



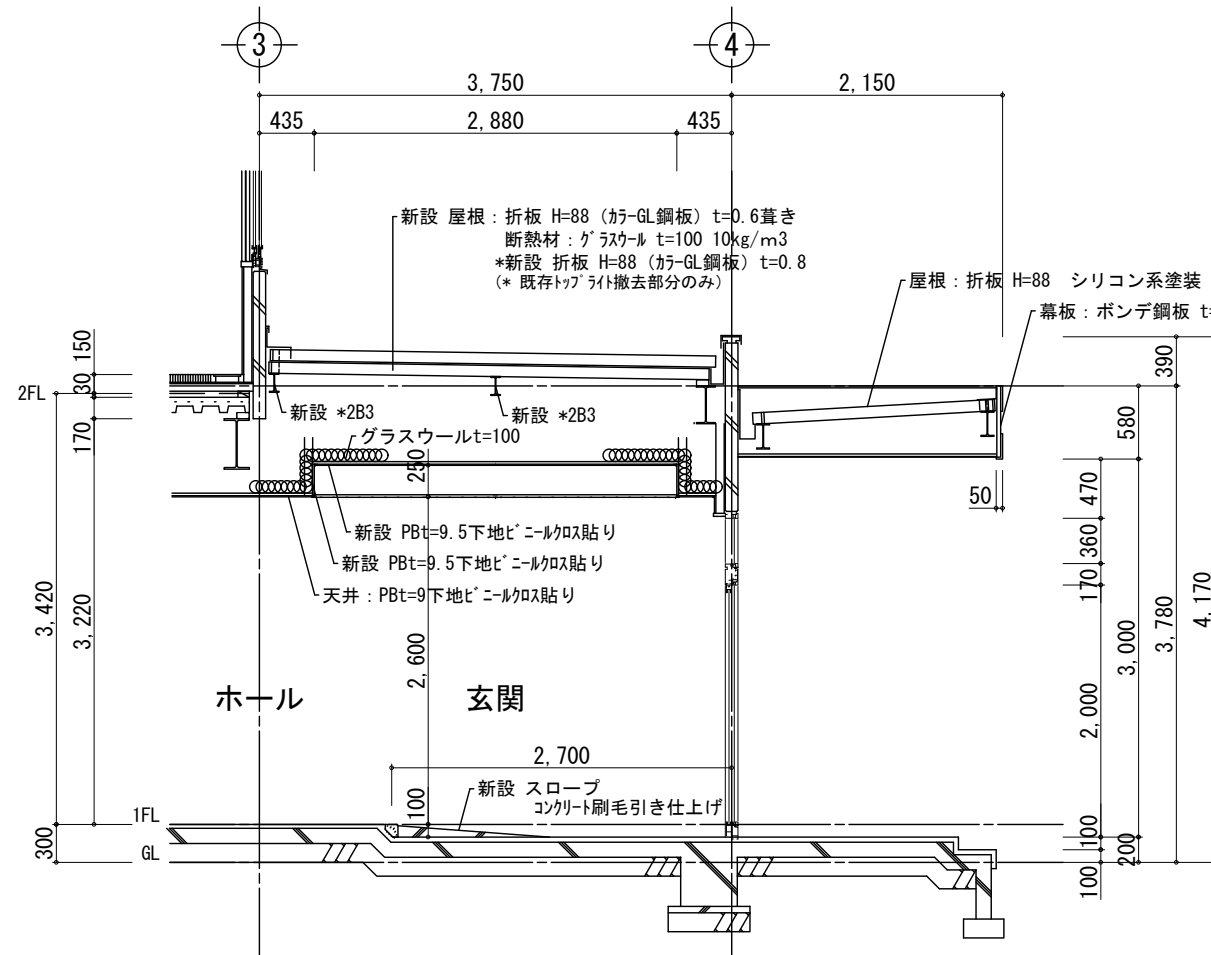
既存 断面図 S=1/30



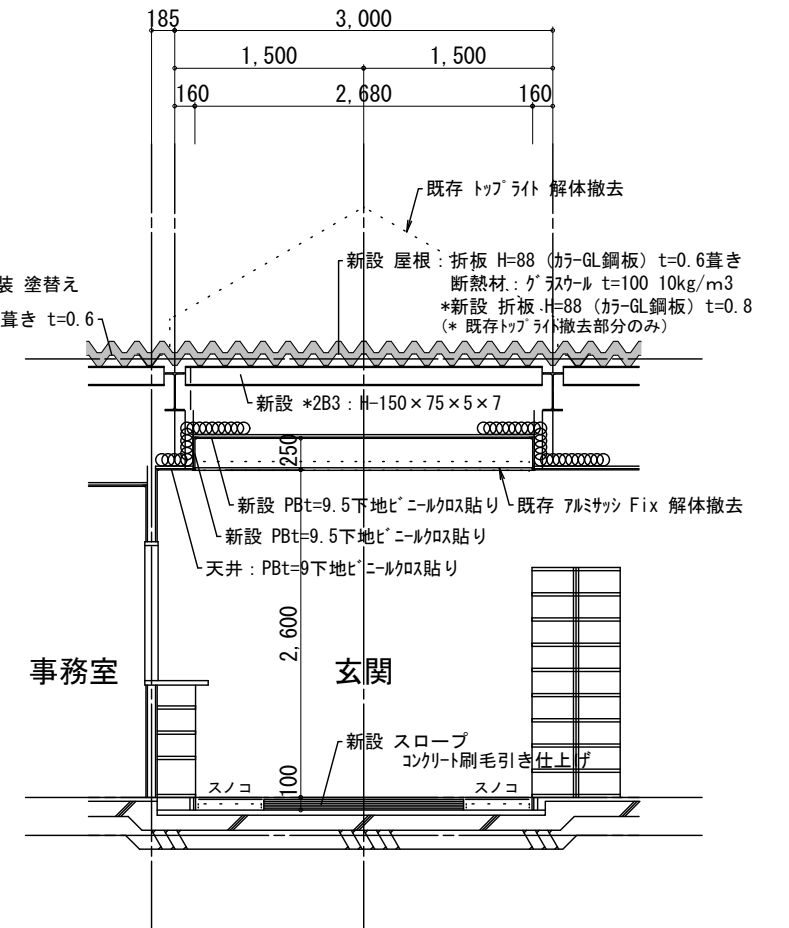
既存 平面図 S=1/30



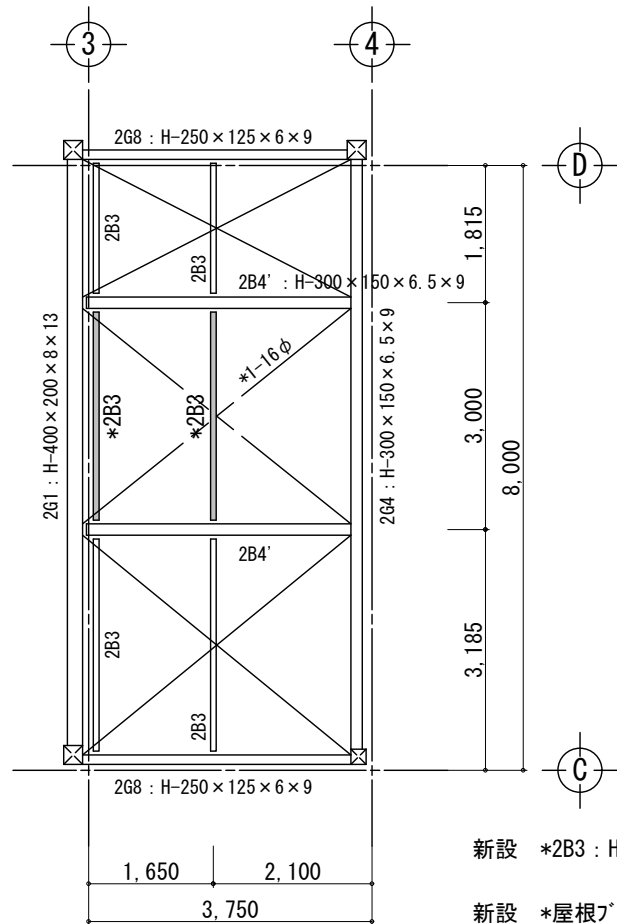
[改修 天井伏図] S=1/50



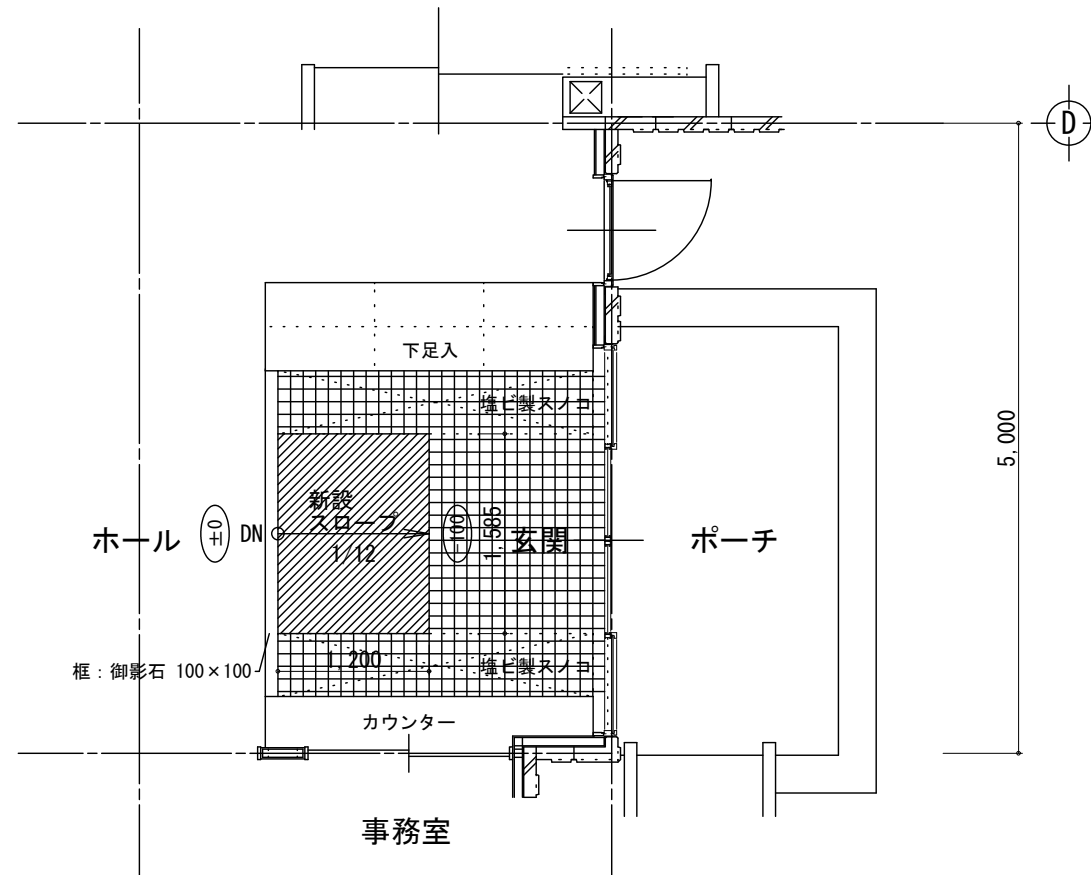
既存 断面図 S=1/30



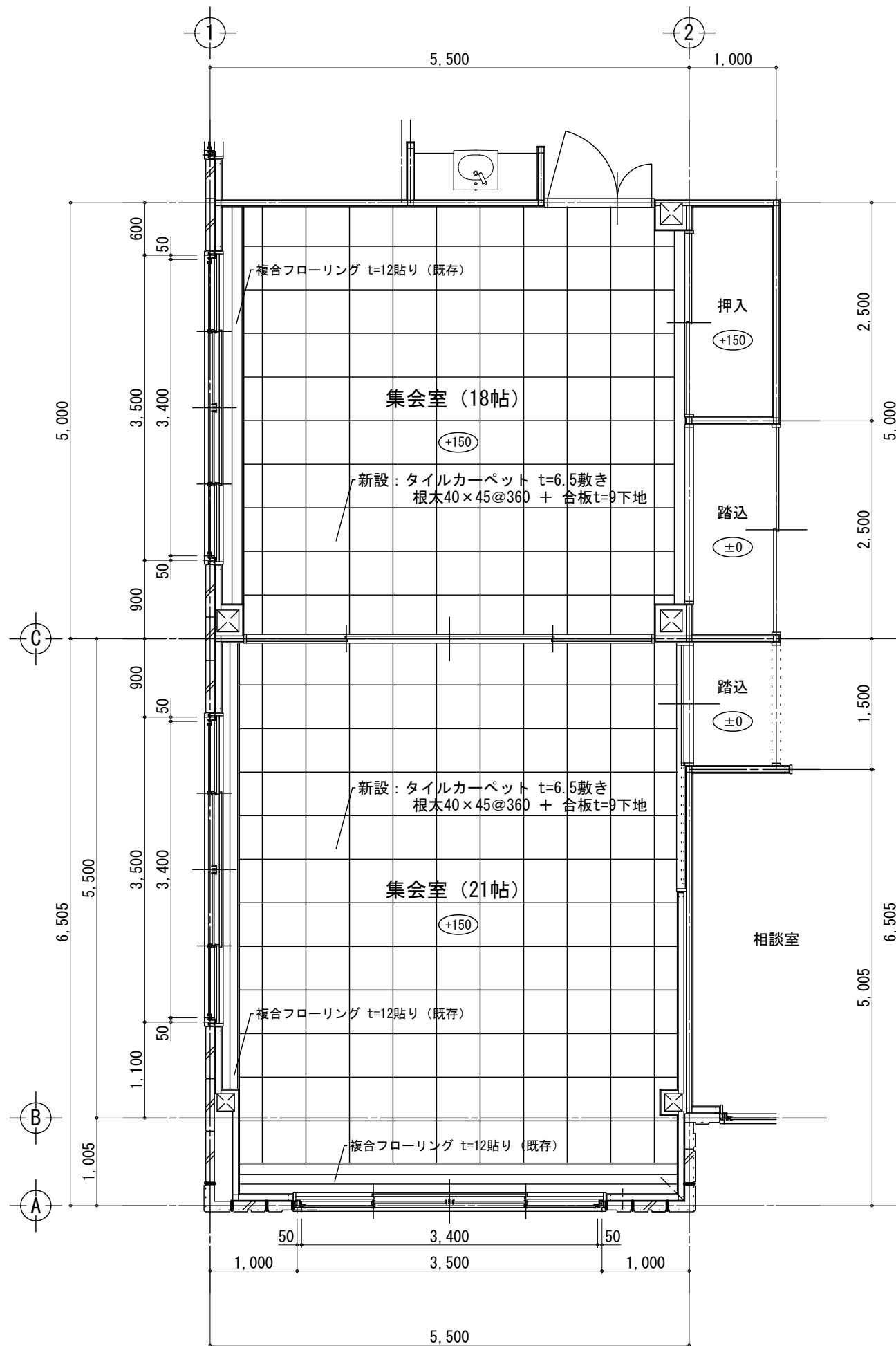
既存 断面図 S=1/30



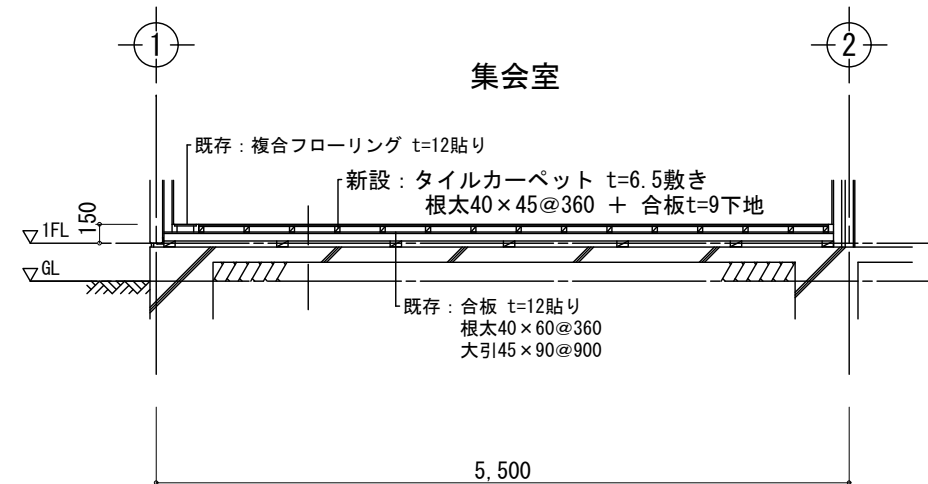
[改修 梁伏図] S=1/50

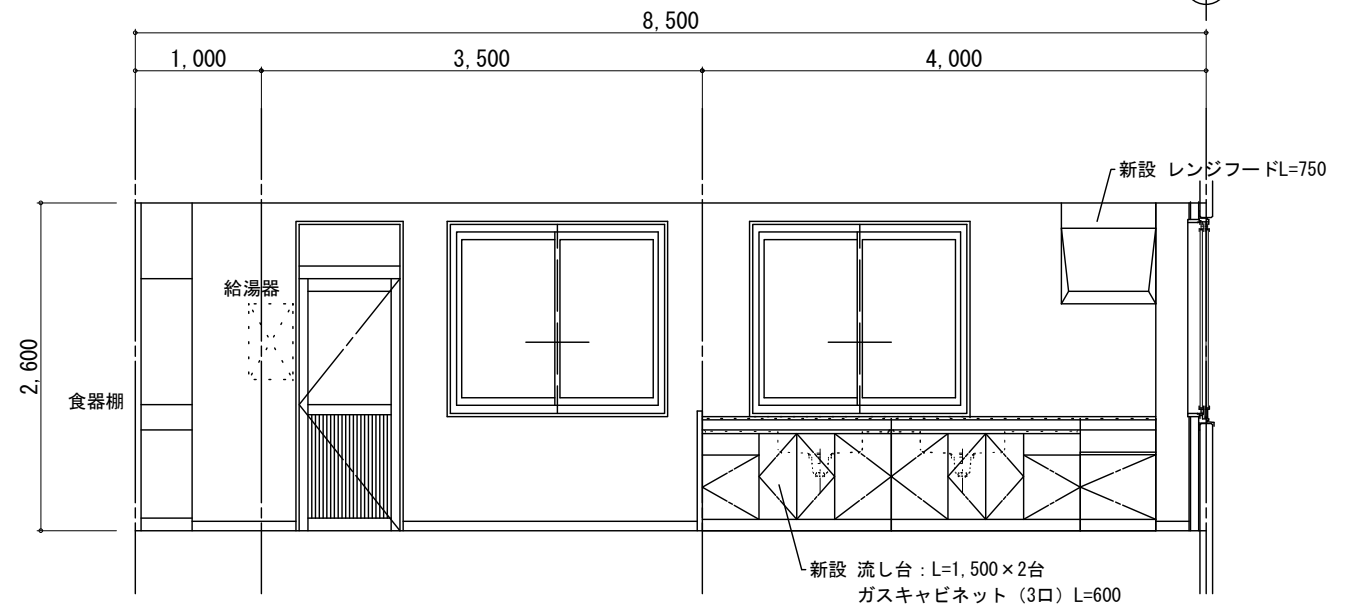
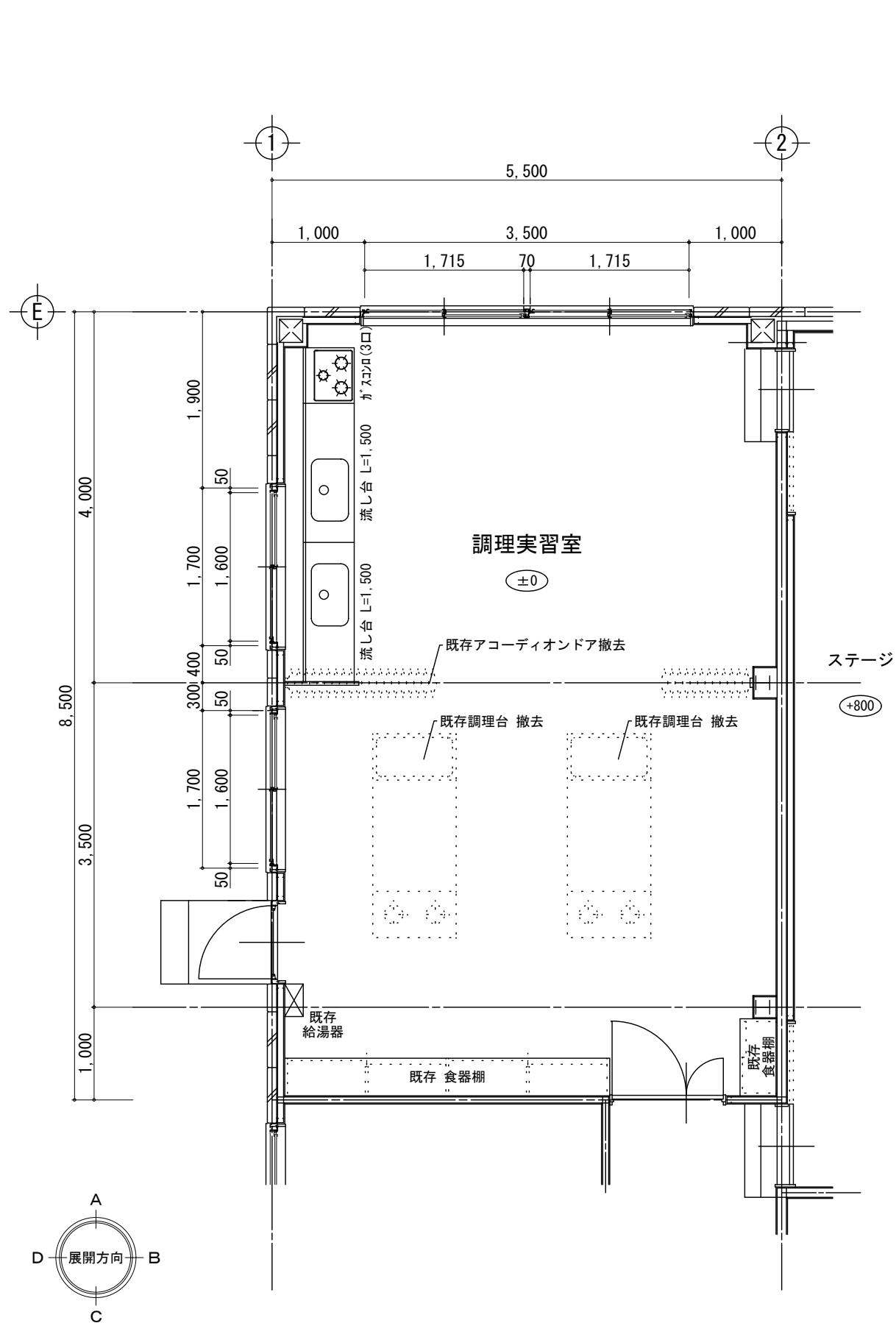


改修 平面図 S=1/30

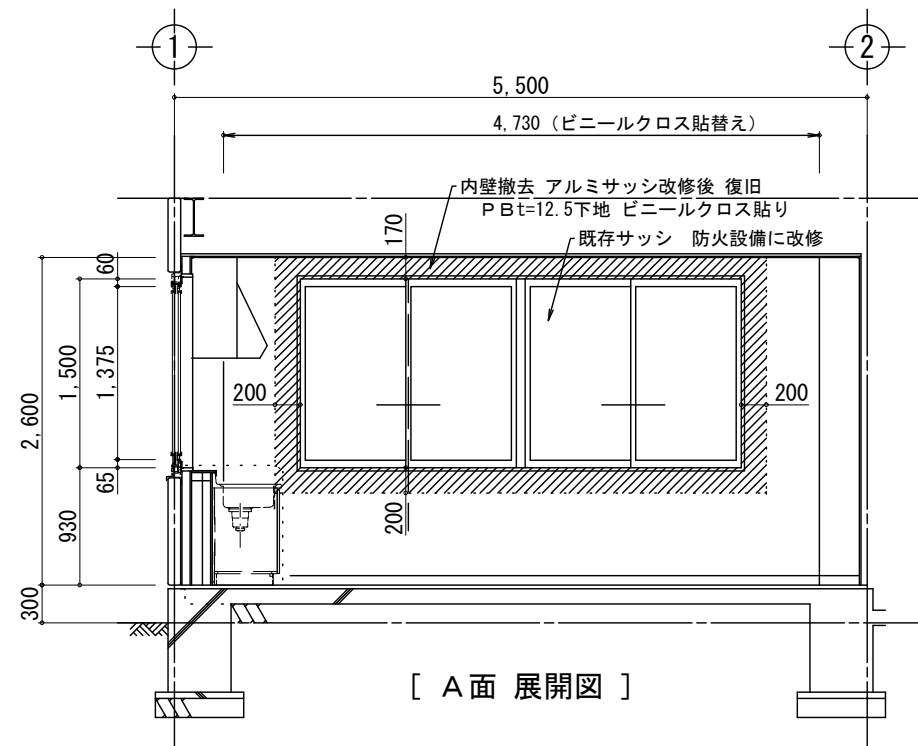


- 既存 床仕上げ
- 木組床下地 + 合板t=12下地
- スタイロ畳t=60敷込 一部 複合フローリングt=12貼り
- 改修 床仕上げ
- 撤去: スタイロ畳t=60敷込
- 新設: 転ばし根太 + 合板t=9下地 タイルカーペットt=6.5敷き





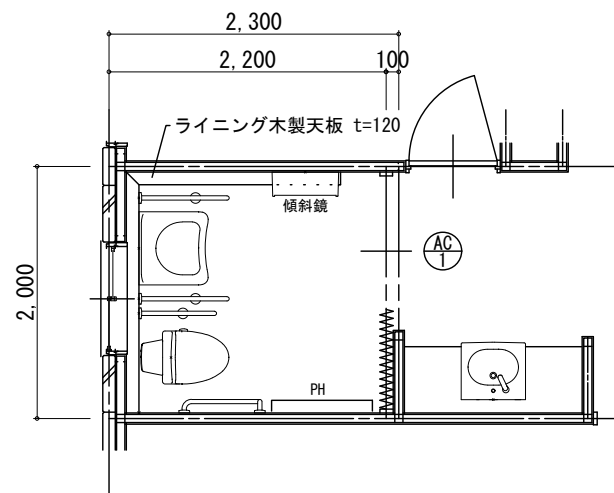
[D面 展開図]



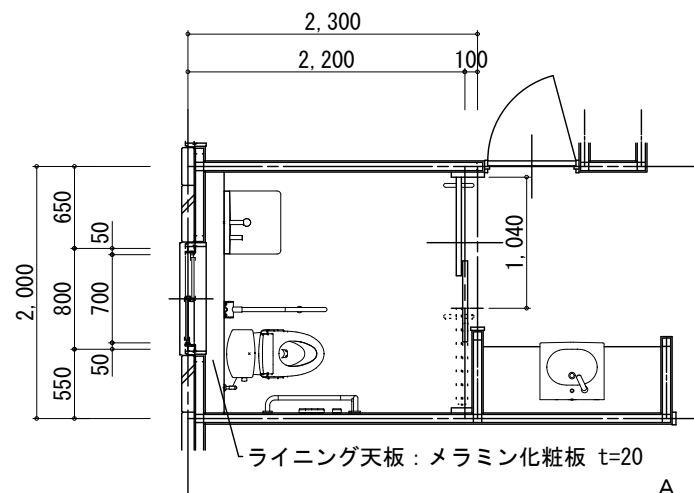
[A面 展開図]

改修工事

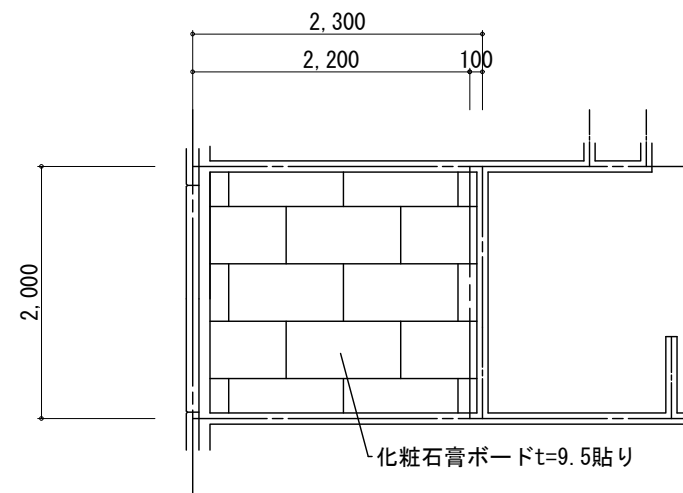
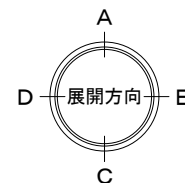
- 1、既存調理台 (2台) の撤去
- 2、アコーディオンドア (5,050×2,580 引分け) の撤去
- 3、床仕上げ材 (長尺塩ビシート) 貼り替え
- 4、調理台 (流し台・ガスキャビネット) の新設
- 5、既存サッシ (E通り) を防火設備更新に伴う内壁の改修



既存 平面図



改修 平面図



改修 天井伏図

既存 仕上表 <small>※「石綿含有みなし」を示す。</small>		
部位	仕上材	石綿の有無
床	ビニル床シートt=2.0 + 接着剤	有(Lv3)
巾木	塩ビ製 H=75	有(Lv3)※
壁	ラワン合板t=12下地 ビニルクロス貼り	無
天井	化粧石膏ボードt=9.0貼り 455×910	無
廻縁	塩ビ製	

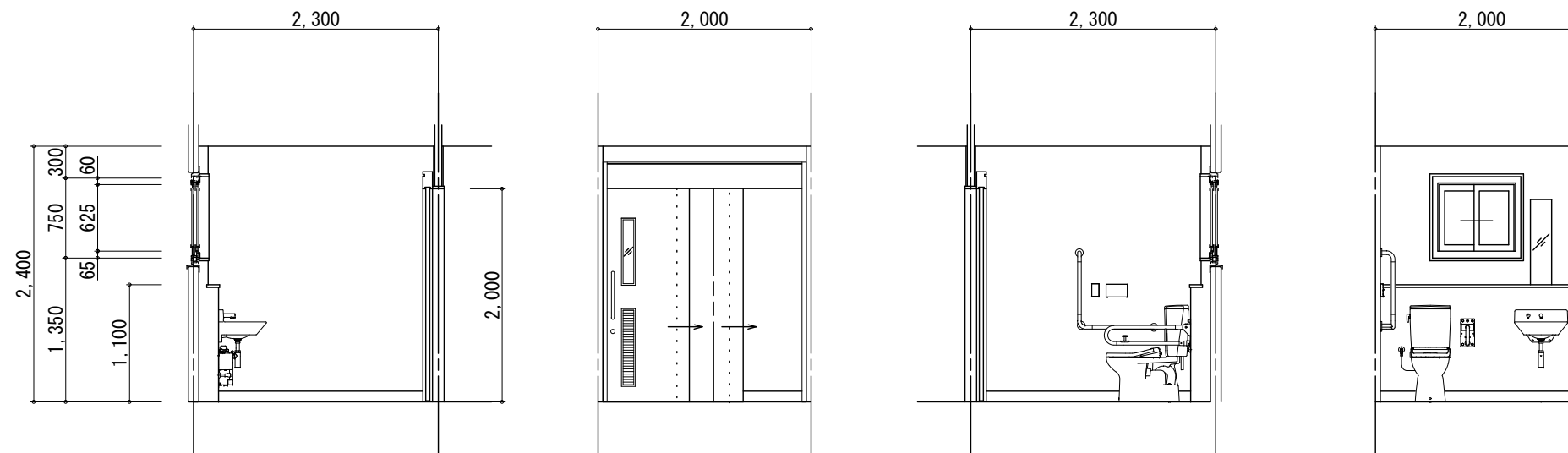
改修 仕上表		
部位	仕上材	
床	長尺塩ビシート t=2.0 貼り	
巾木	塩ビ製 H=75	
壁	ラワン合板t=12下地 ビニルクロス貼り	
天井	化粧石膏ボードt=9.5貼り	
廻縁	塩ビ製	

改修工事

- 1、内装（床・壁・天井）の改修
- 2、軽量片引きハンガードア（LHD/1）の新設
- 3、衛生器具の改修（設備工事）

解体撤去工事

- 1、内装材の解体撤去（床・壁・天井）
- 2、ライニング（女子便所側）の解体撤去
- 3、AC/1 アコーディオンドアの解体撤去
- 4、衛生器具の撤去

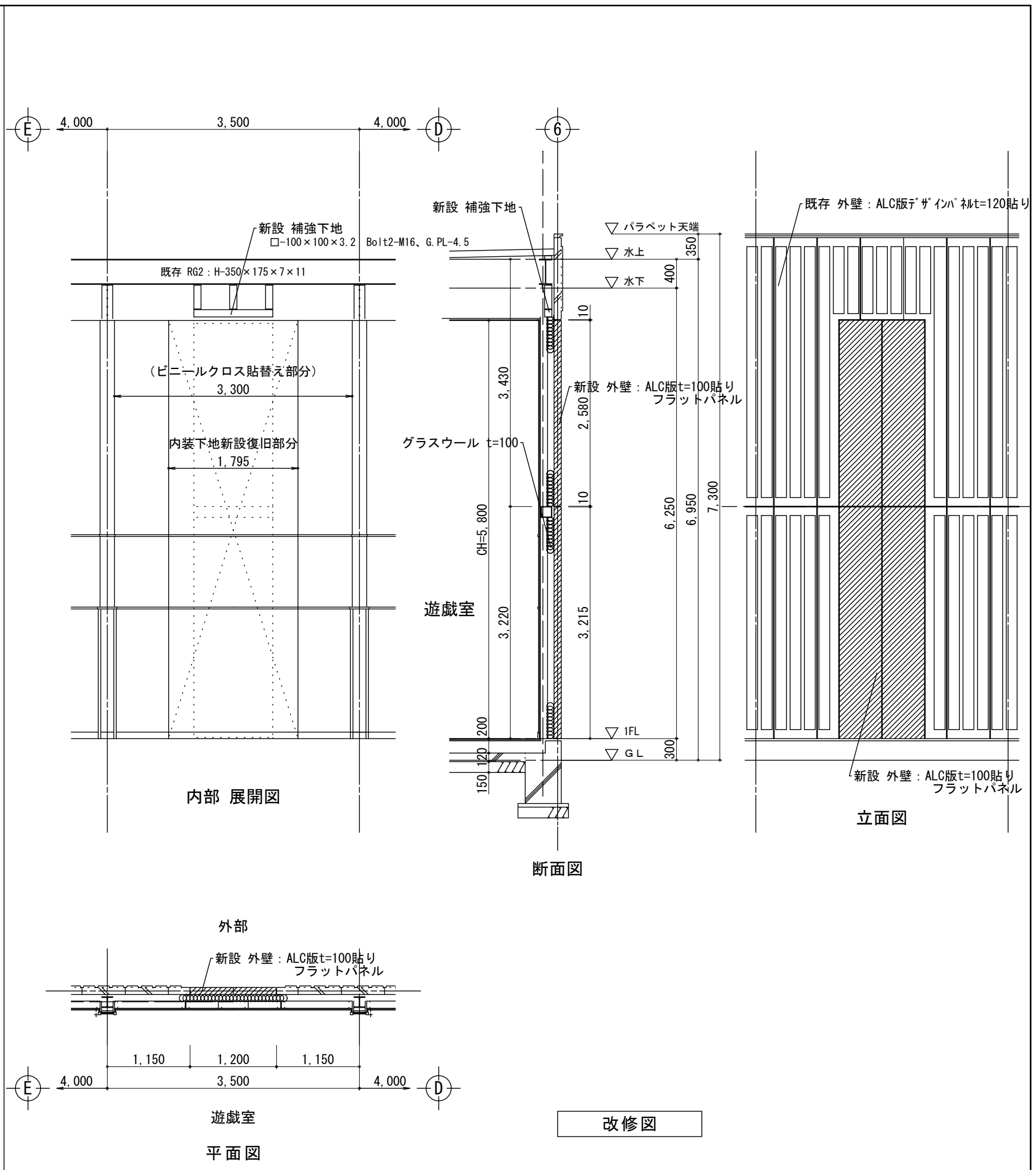
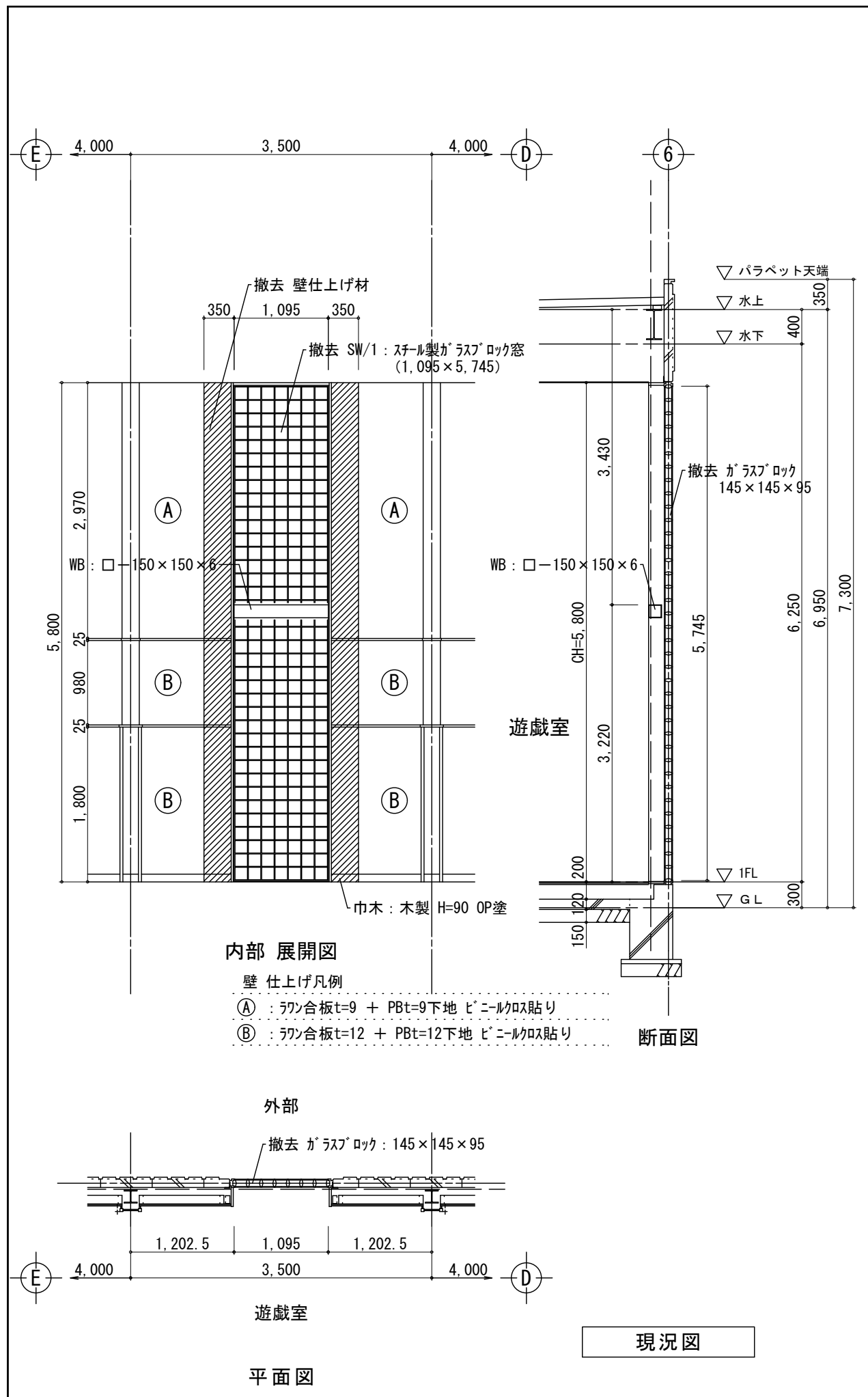


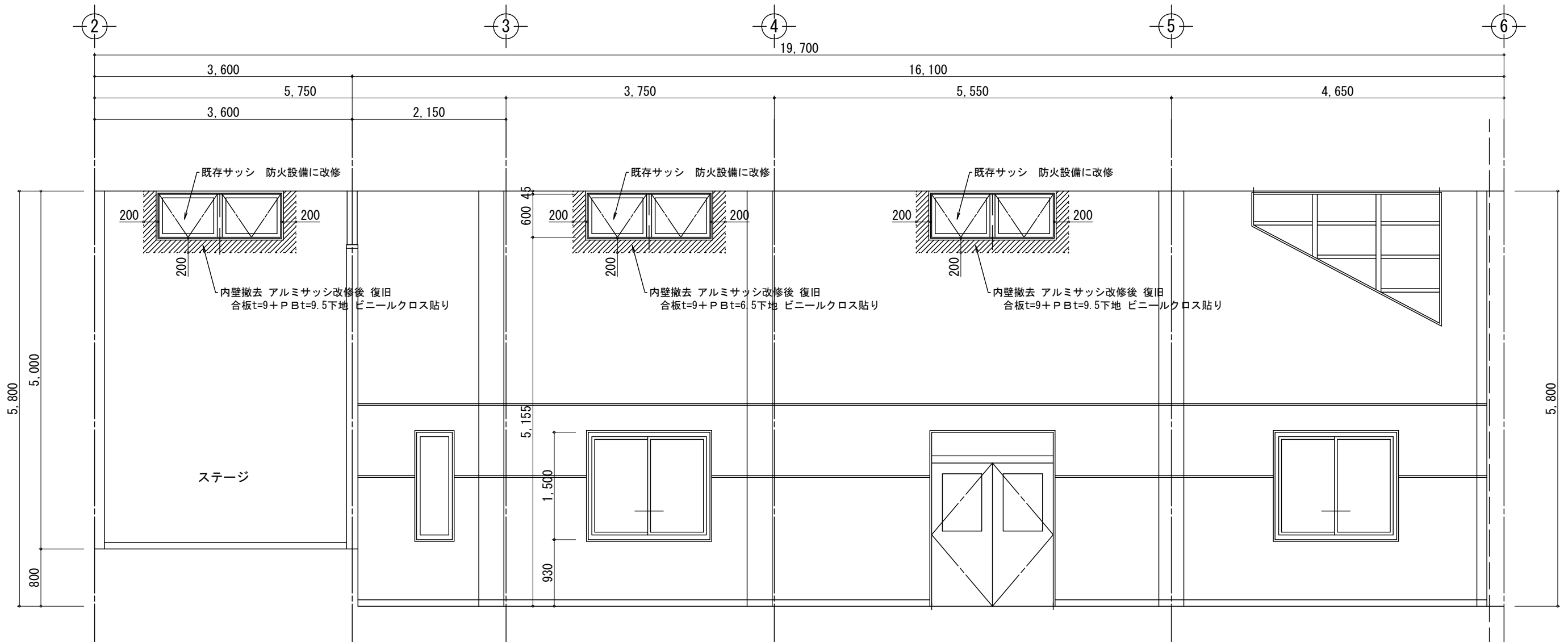
[A面]

[B面]

[C面]

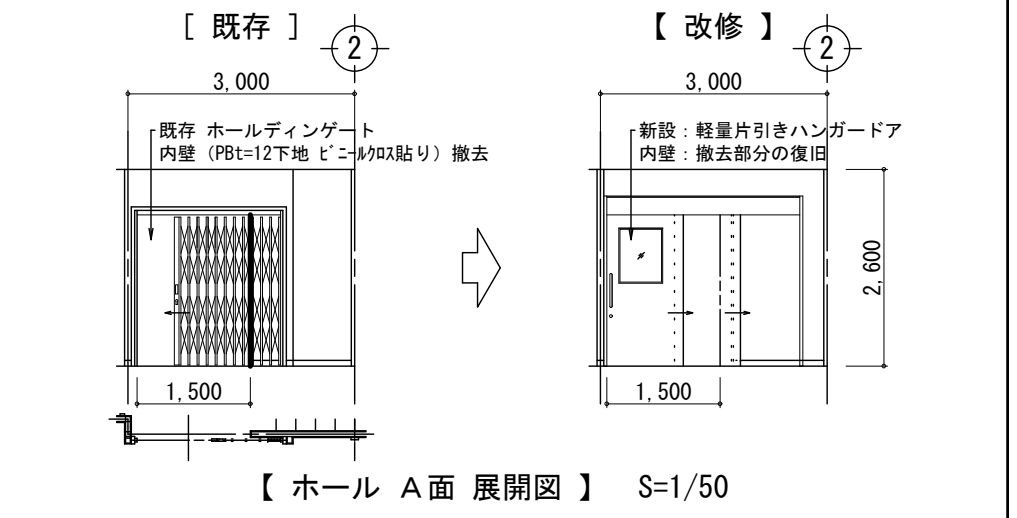
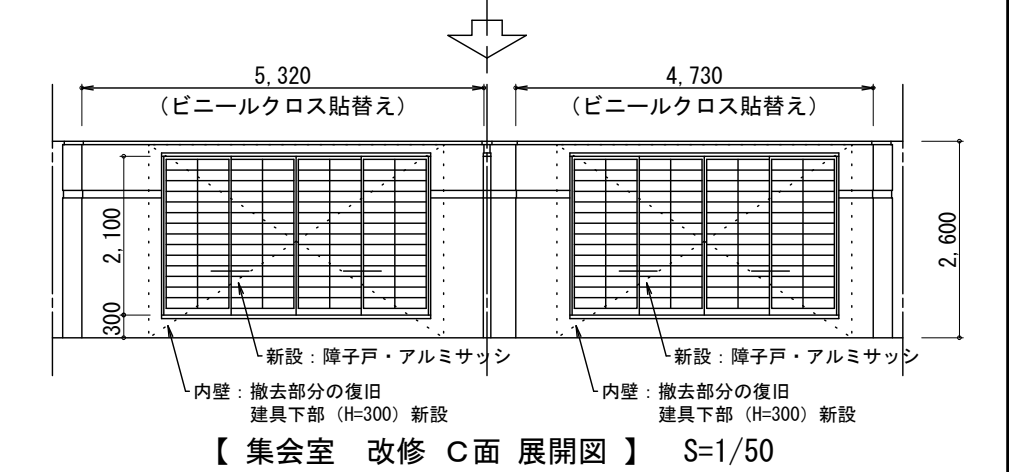
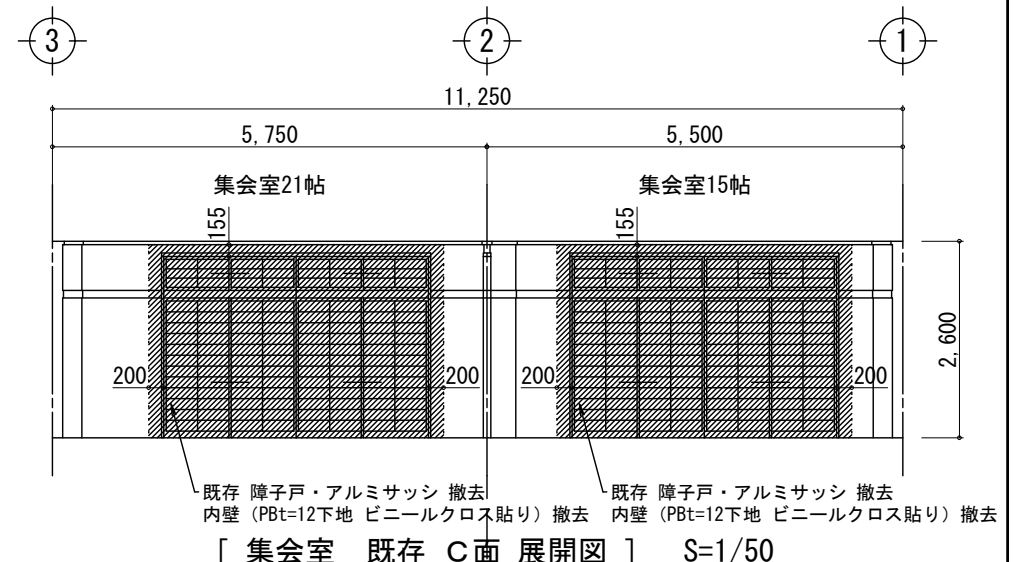
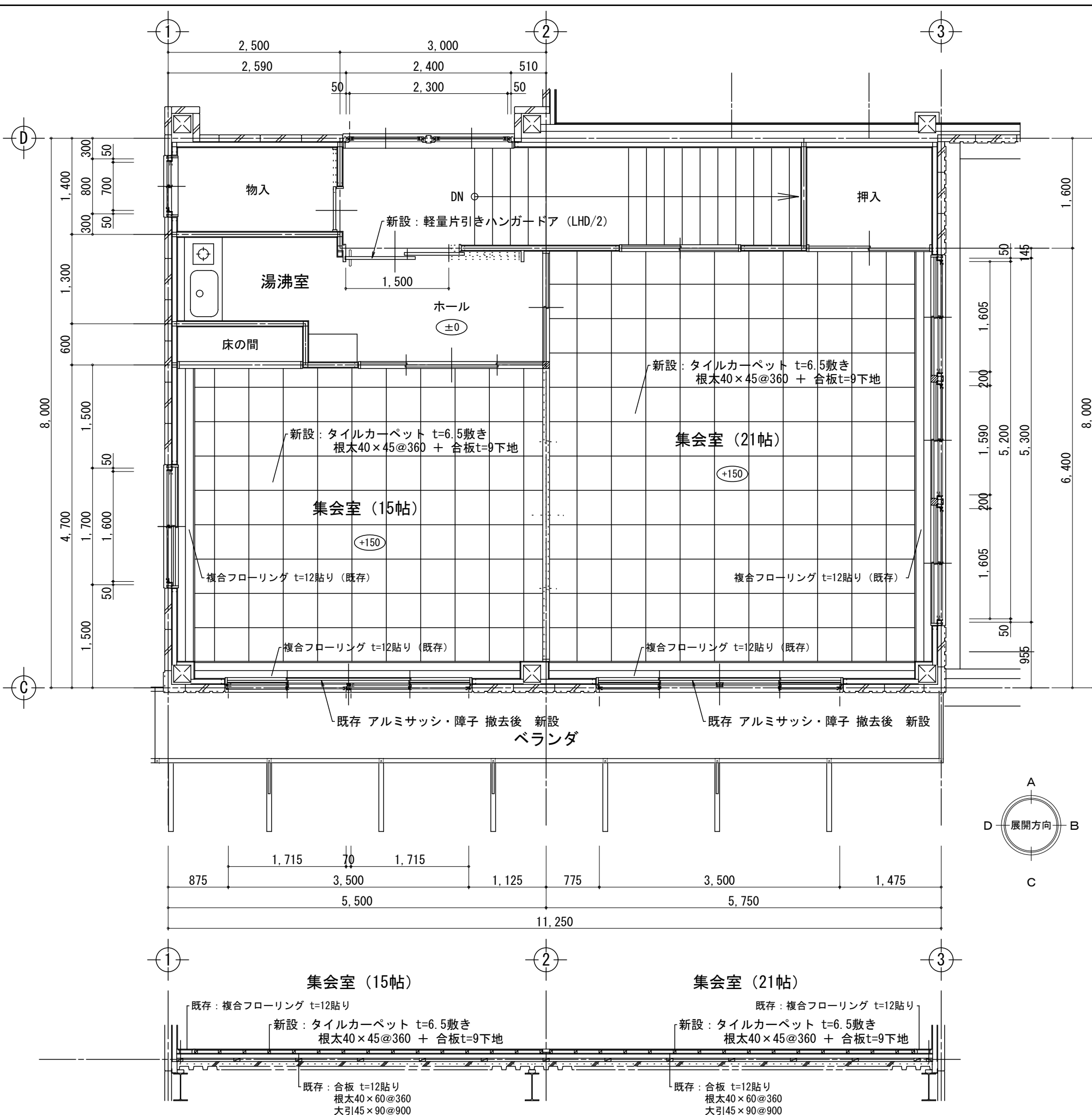
[D面]





[遊戯室 A面 展開図]

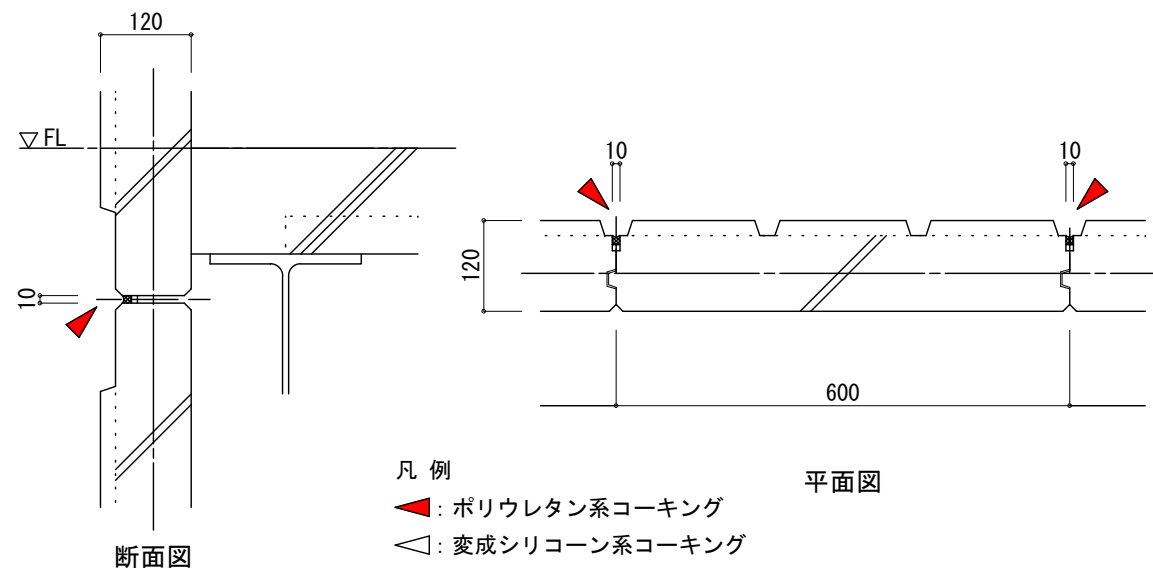
既存 仕上表	
部位	仕上材
床	鋼製床下地 合板t=15+フローリングt=15貼り
巾木	木製 H=90 OP塗
壁	腰壁：合板t=12+PBt=12下地 化粧合板t=3貼り 上部：合板t=9+PBt=9下地 ビニールクロス貼り
天井	化粧石膏ボードt=9.0貼り 910×910
廻縁	木製 OP塗



集会室	
既存	床仕上げ
	木組床下地 + 合板t=12下地
	スタイロ量t=60敷込 一部 複合フローリングt=12貼り
改修	
撤去	床仕上げ
	撤去: スタイロ量t=60敷込
	新設: 転ばし根太 + 合板t=9下地 タイルカーペットt=6.5敷き
ホール	
撤去	ホールディングゲート
新設	軽量片引きハンガードア (LHD-2)

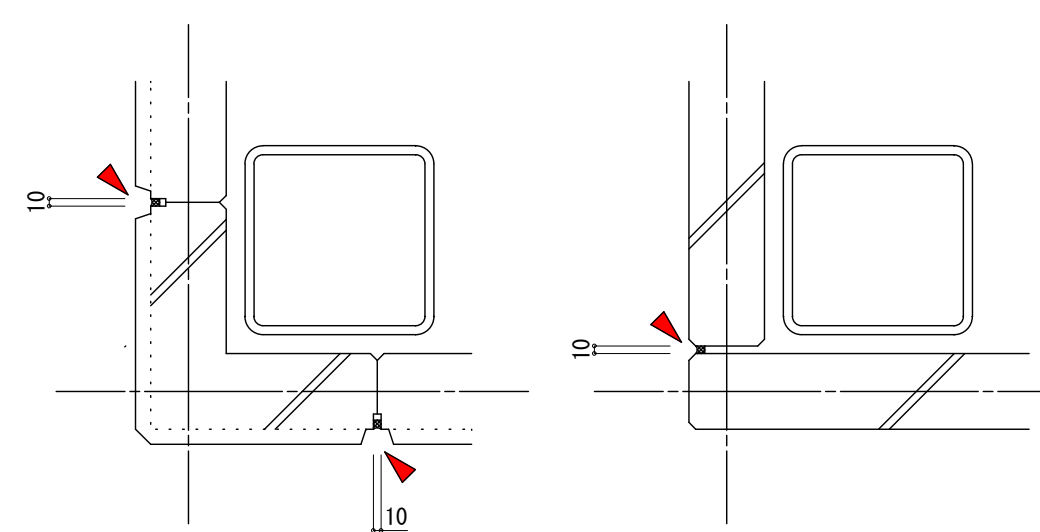
A L C版 一般部 (コーキング改修)

S=1/5

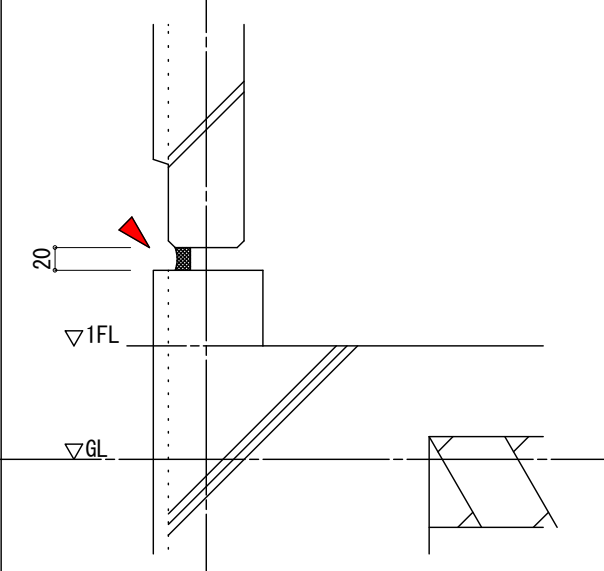


A L C版 出隅部 (コーキング改修)

S=1/5

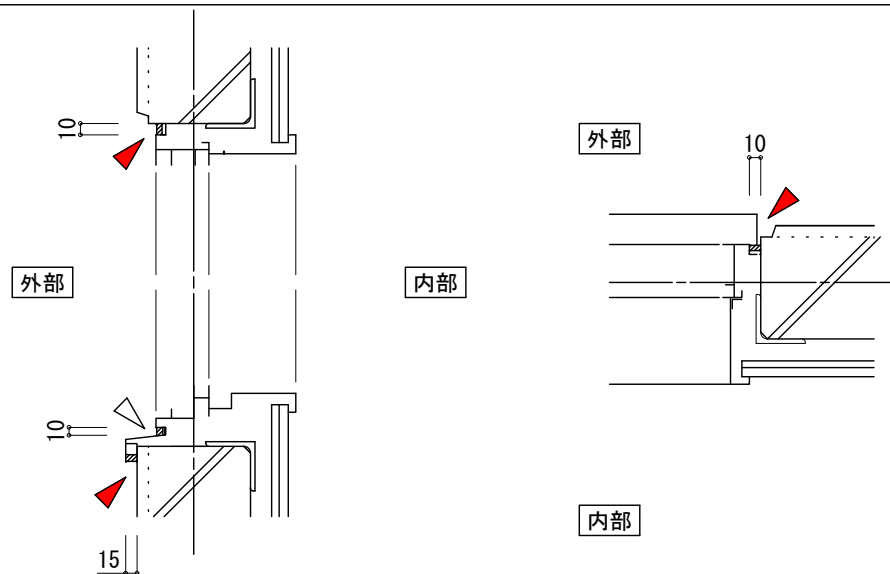


A L C版 基礎部 (コーキング改修)



既存 アルミサッシ廻り (コーキング改修)

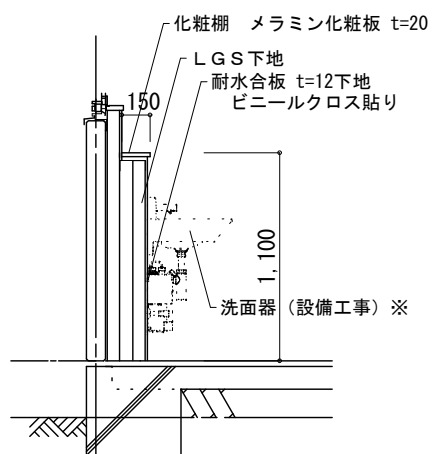
S=1/5



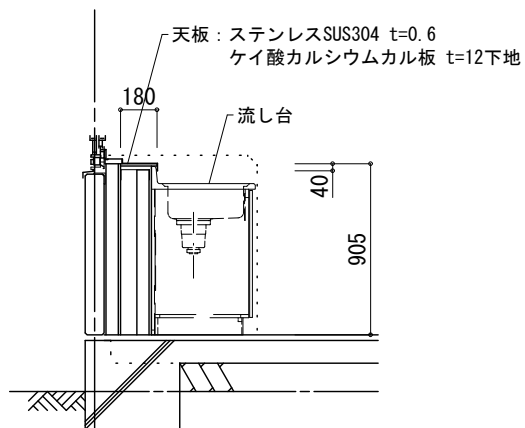
ライニング詳細図

S=1/20

多目的トイレ

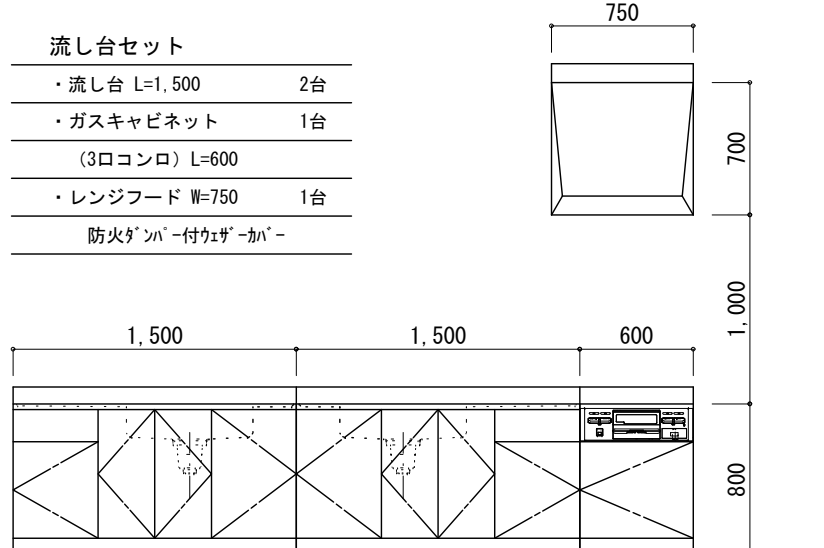


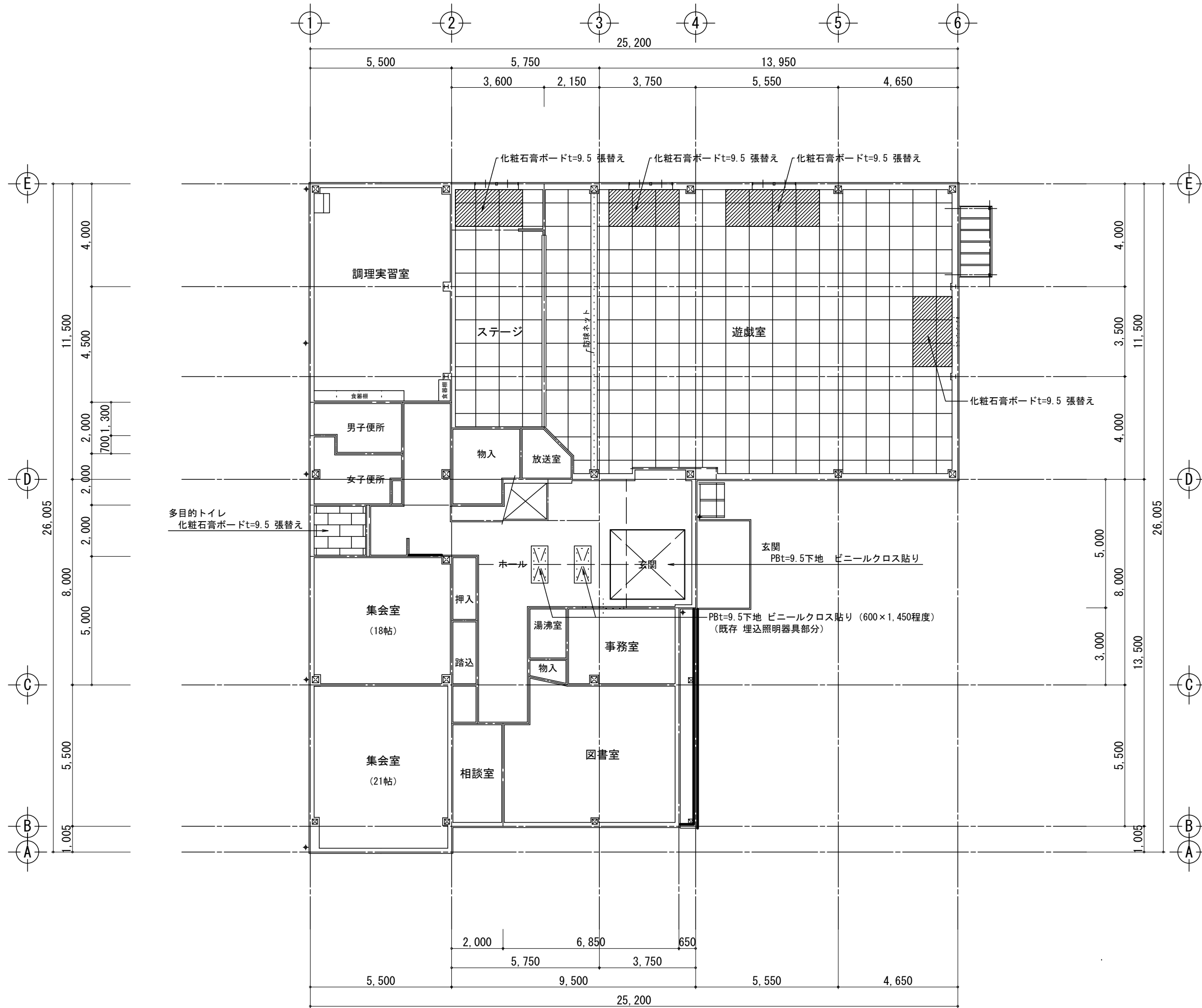
調理実習室



調理実習室 流し台詳細図

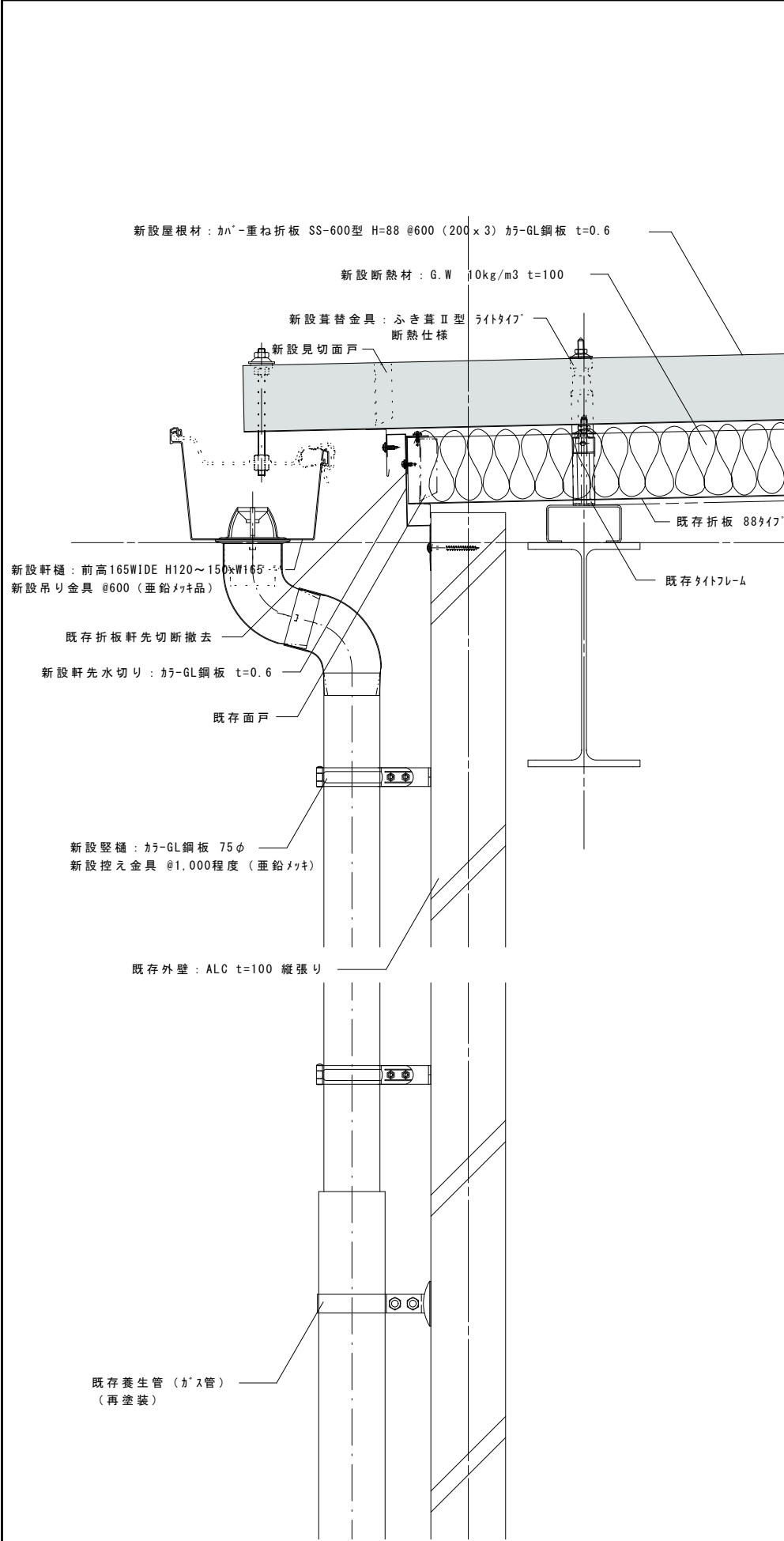
S=1/20





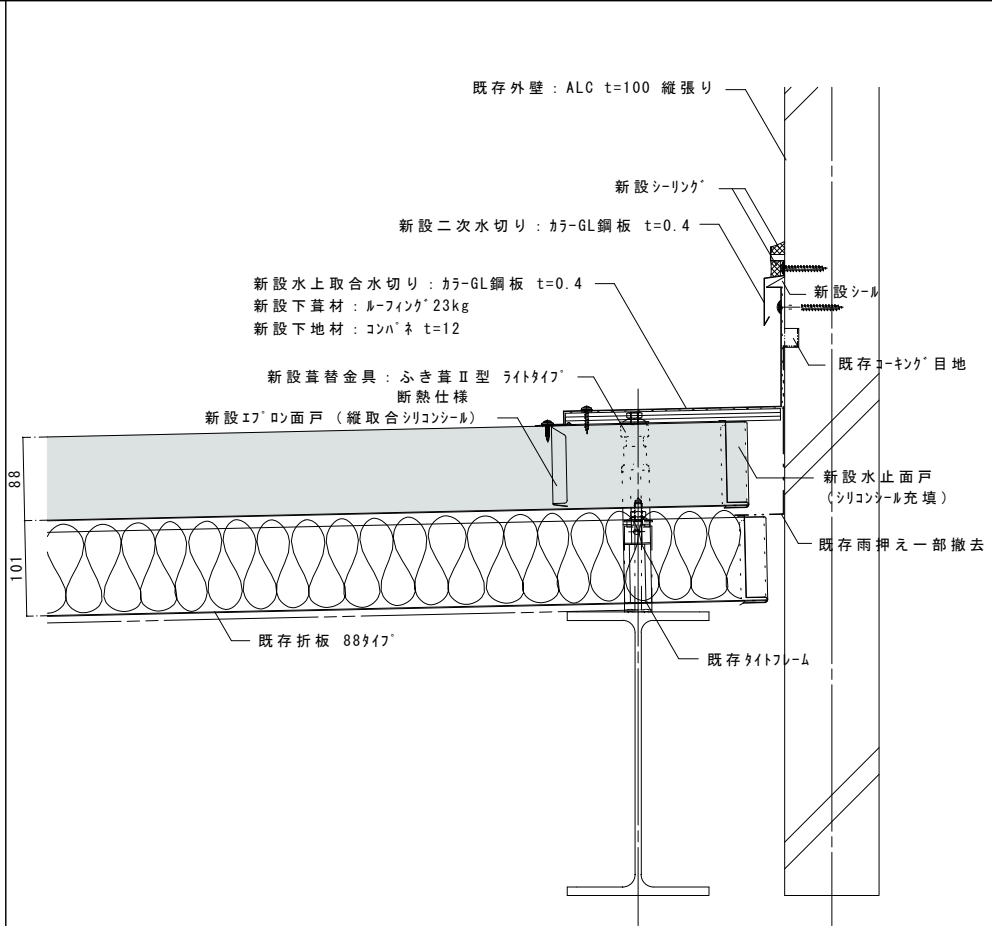
改修後 軒先取合い納め断面詳細図 S=1/4

S=1/4



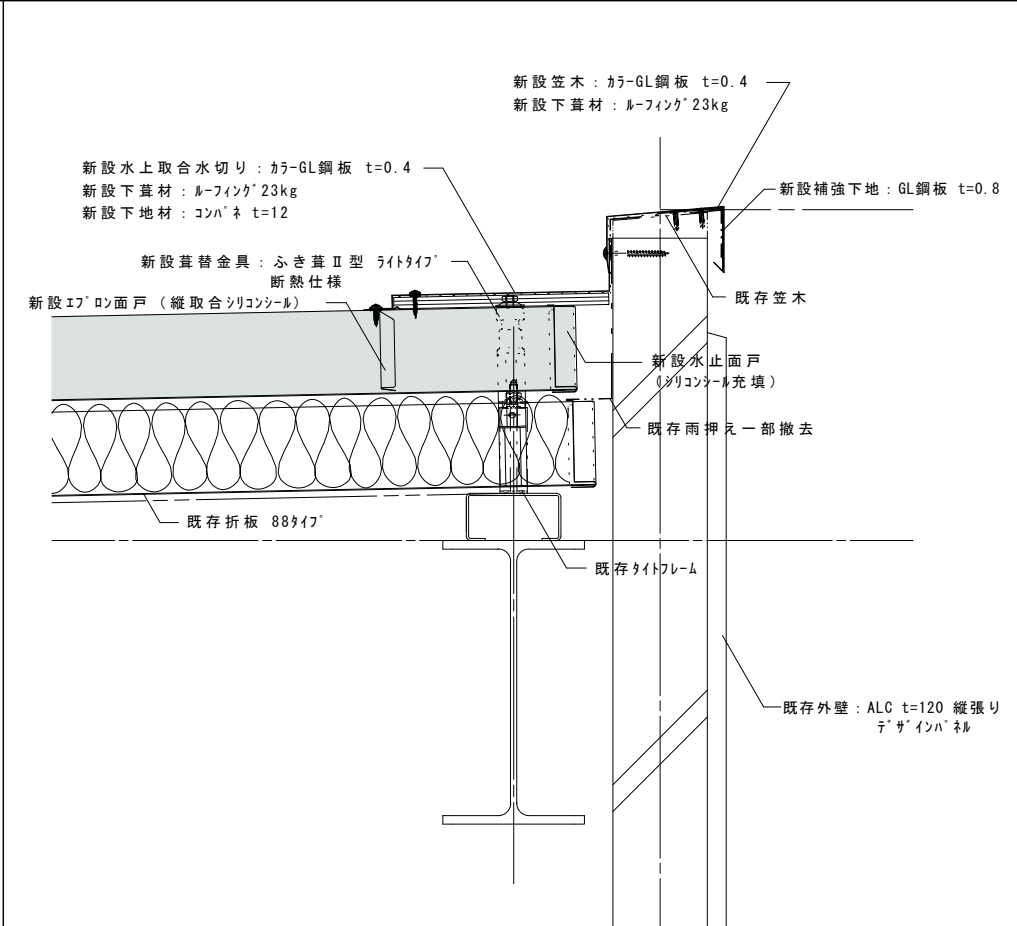
改修後 水上外壁取合い納め断面詳細図 S=1/4

S=1/4



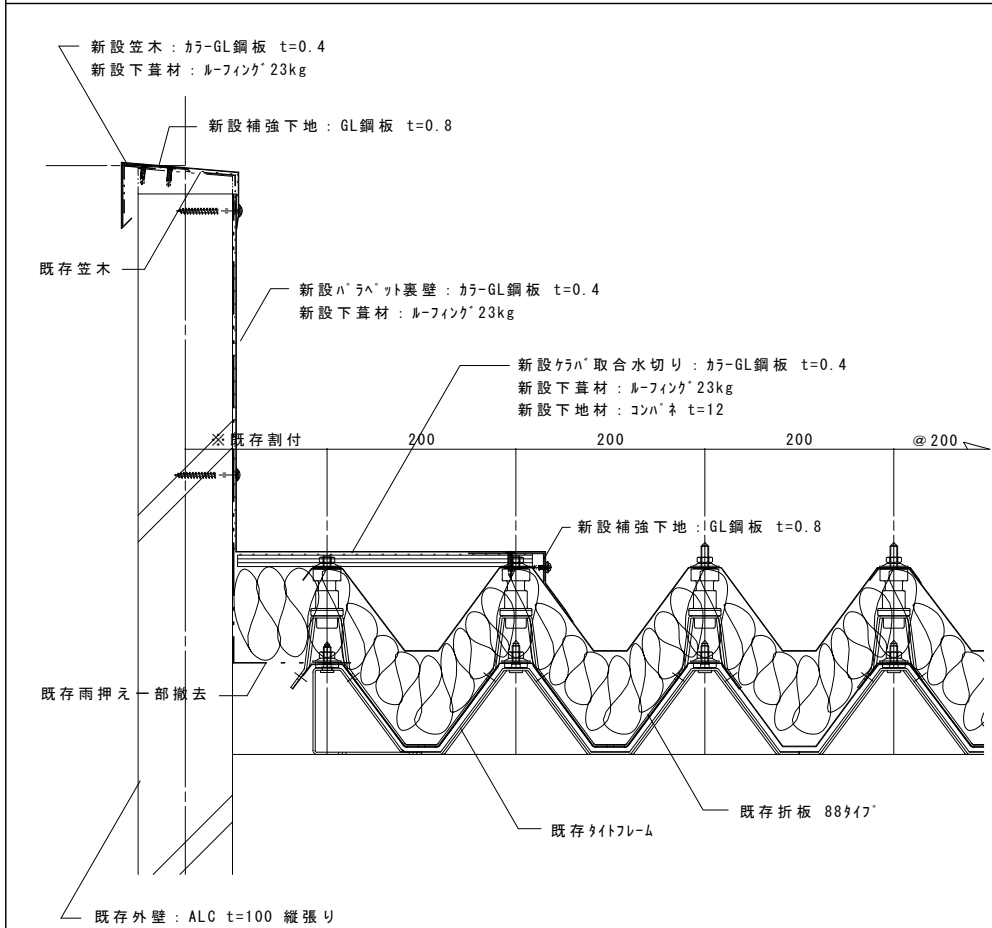
改修後 水上パラペット取合い納め断面詳細図 S=1/4

S=1/4



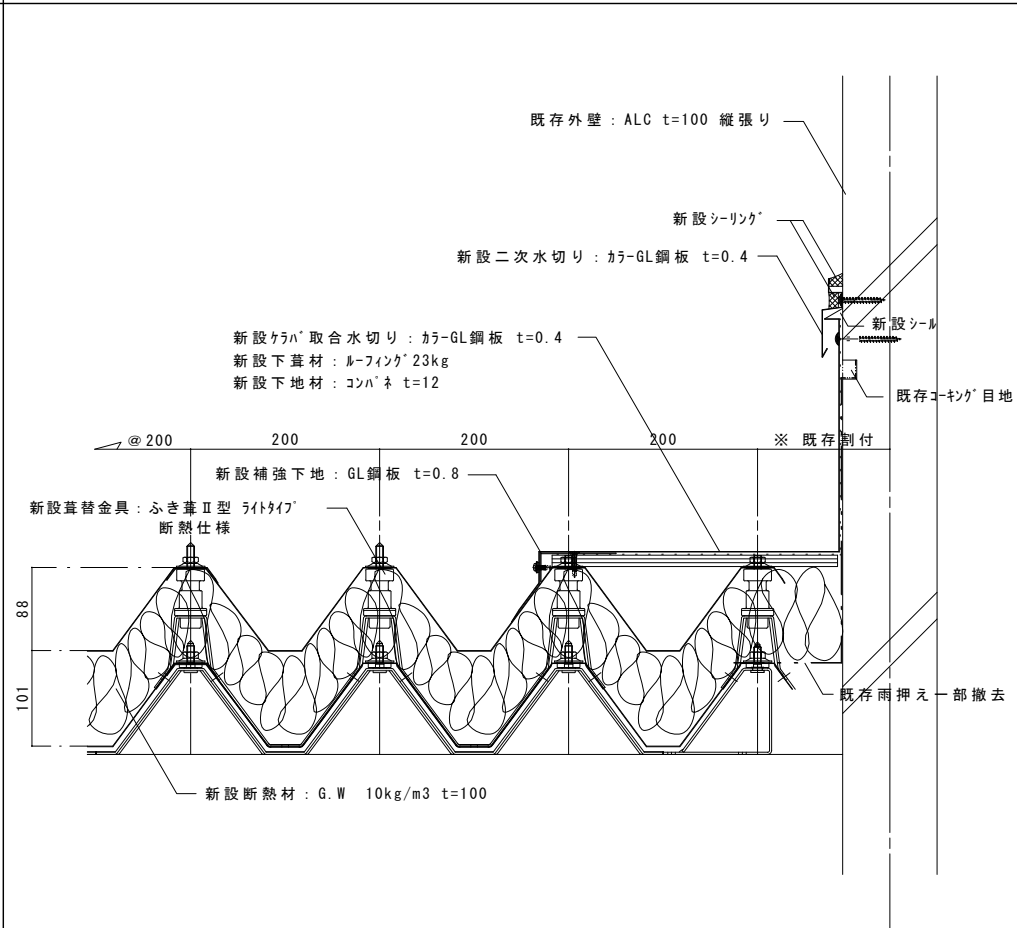
改修後 ケラバパラペット取合い納め断面詳細図 S=1/4

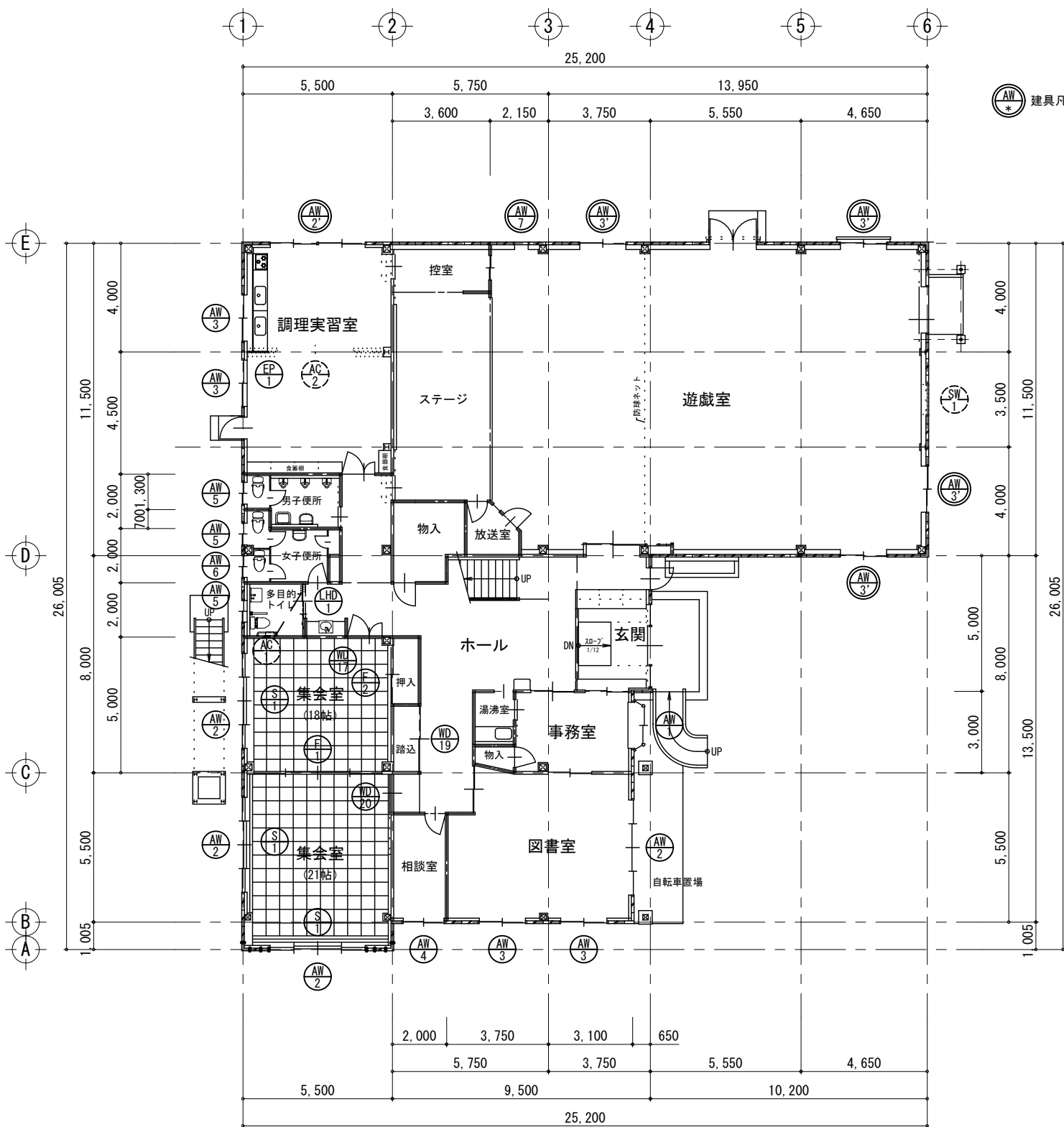
S=1/4



改修後 ケラバ外壁取合い納め断面詳細図 S=1/4

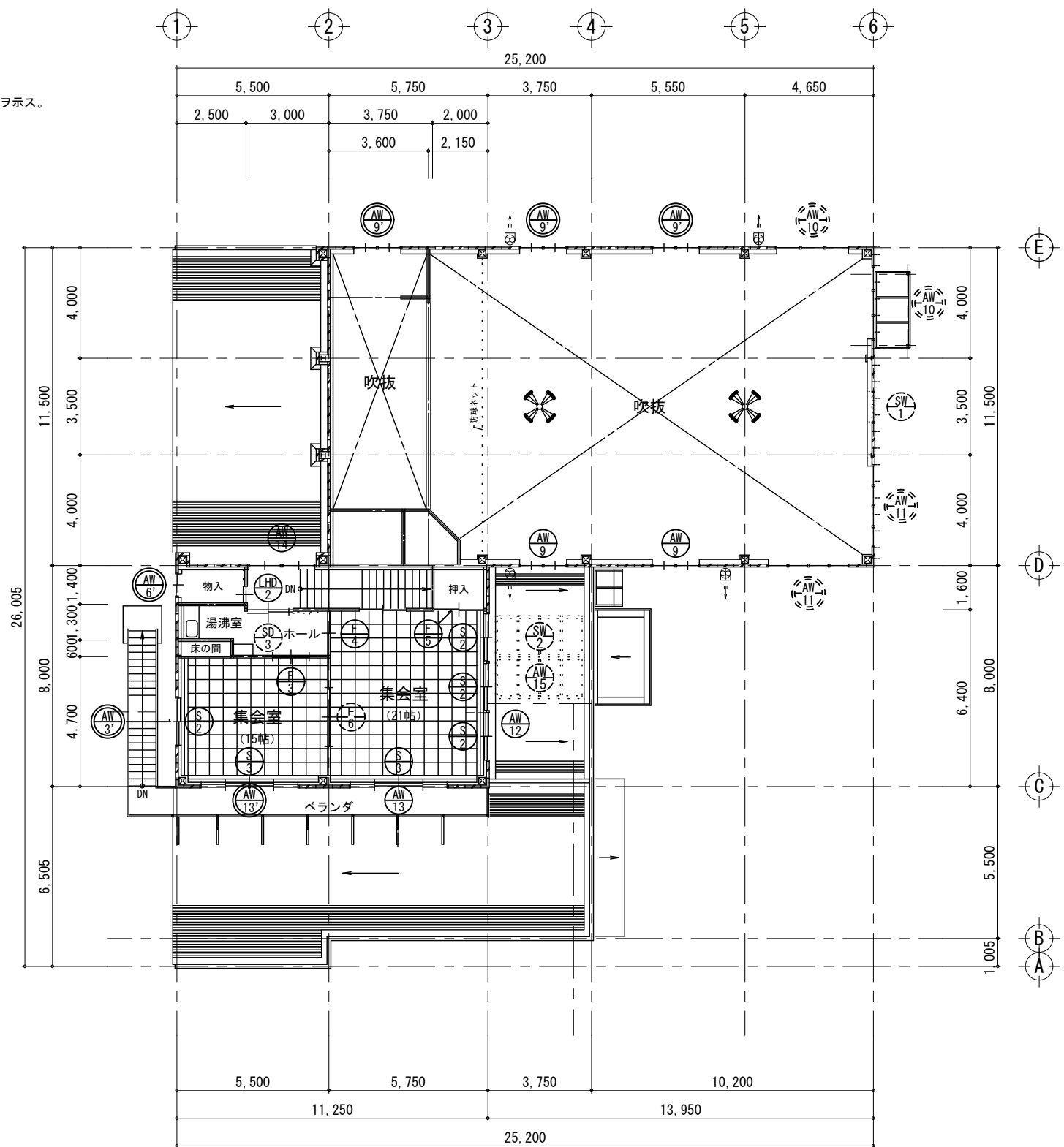
S=1/4





建具凡例：防火設備ヲ示ス。

1階 平面図 1階床面積：492.30㎡

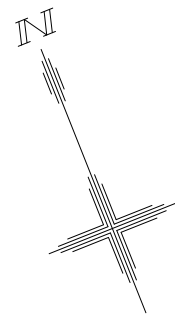


2階 平面図 2階床面積：90.00㎡

工事対象外

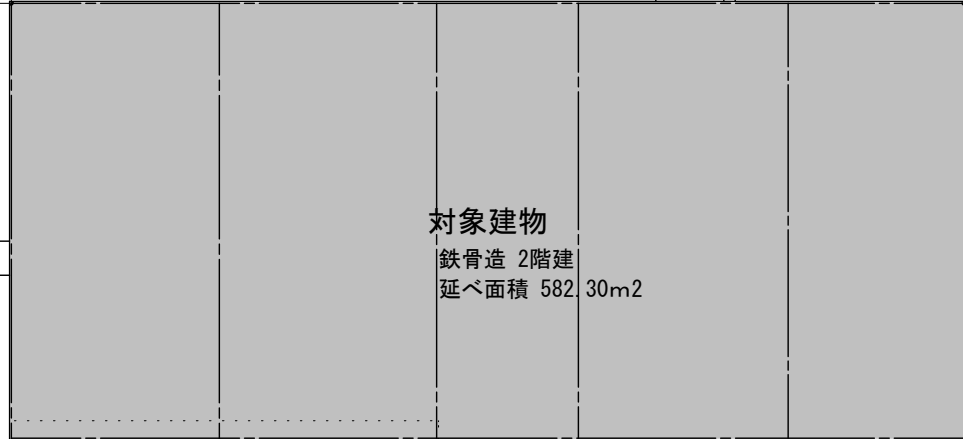
記号・数量	AN1 1F 事務室	1ヶ所	AN2 1F 集会室、図書室	4ヶ所	AN2 1F 調理実習室	1ヶ所	AN3 1F 図書室、調理実習室	4ヶ所		
形状										
種類	[既存] 台形出窓 引違い窓 袖Fix	引違い窓	[既存] 4枚 引違い窓	4枚 引違い窓	[既存] 4枚 引違い窓	引違い窓 連窓	[既存] 引違い窓	引違い窓		
材料・見込	アルミ 見込: 70	樹脂製 見込: 58	アルミ 見込: 70	アルミ 見込: 70	アルミ 見込: 70	アルミ 見込: 70	アルミ 見込: 70	アルミ 見込: 70		
硝子・仕上	透明ガラス t=5	透明ガラス t=3+A12+LOW-e t=3	透明ガラス t=5	透明ガラス t=5+A6+LOW-e t=5	網入透明ガラス t=6.8	網入透明ガラス t=6.8+A6+LOW-e t=5	透明ガラス t=5	透明ガラス t=5+A6+LOW-e t=5		
金物		クレセント、既存網戸取替え	網戸	クレセント、網戸	網戸	クレセント、水切、額縁、網戸	網戸	クレセント、網戸		
備考		附属金物一式		附属金物一式		附属金物一式		附属金物一式		
記号・数量	AN3 1F 遊戯室、2F 集会室	5ヶ所	AN4 1F 相談室	1ヶ所	AN5 1F 男・女子便所、多目的トイレ	3ヶ所	AN6 1F 女子便所	1ヶ所	AN6 2F 倉庫	1ヶ所
形状										
種類	[既存] 引違い窓	引違い窓	[既存] 引違い窓	引違い窓	[既存] 引違い窓	引違い窓	[既存] 引違い窓	引違い窓	[既存] 引違い窓	引違い窓
材料・見込	アルミ 見込: 70	アルミ 見込: 70	アルミ 見込: 70	アルミ 見込: 70	アルミ 見込: 70	アルミ 見込: 70	アルミ 見込: 70	アルミ 見込: 70	アルミ 見込: 70	アルミ 見込: 70
硝子・仕上	網入透明ガラス t=6.8	網入透明ガラス t=6.8+A6+LOW-e t=5	透明ガラス t=5	透明ガラス t=5+A6+LOW-e t=5	型板ガラス t=4	型板ガラス t=4+A6+LOW-e t=4	型板ガラス t=4	型板ガラス t=4+A6+LOW-e t=4	網入型板ガラス t=6.8	網入型板ガラス t=6.8+A6+LOW-e t=5
金物	網戸	クレセント、網戸	網戸	クレセント、網戸	網戸	クレセント、網戸	網戸	クレセント、網戸	網戸	クレセント、網戸
備考	目隠しルーバー (1ヶ所)	附属金物一式 既存目隠しルーバー再取付		附属金物一式		附属金物一式		附属金物一式		防火設備 (EB-3096-1)
記号・数量	AN7 1F 遊戯室	1ヶ所	AN9 1F 遊戯室	2ヶ所	AN9 1F 遊戯室	3ヶ所	AN10 1F 遊戯室	2ヶ所		
形状										
種類	[既存] Fix窓	Fix窓	[既存] 内倒し窓 2連 (角度60°)	内倒し窓 2連 (角度60°)	[既存] 内倒し窓 2連 (角度60°)	内倒し窓 2連 (角度60°)	[既存] Fix窓	Fix窓		
材料・見込	アルミ 見込: 70	アルミ 見込: 70	アルミ 見込: 70	アルミ 見込: 70	アルミ 見込: 70	アルミ 見込: 70	アルミ 見込: 70	スチール 見込: 70		
硝子・仕上	網入型板ガラス t=6.8	網入透明ガラス t=6.8+A6+LOW-e t=5	網入透明ガラス t=6.8	網入透明ガラス t=6.8+A6+LOW-e t=5	網入透明ガラス t=6.8	網入透明ガラス t=6.8+A6+LOW-e t=5	網入透明ガラス t=6.8	網入透明ガラス t=6.8+A6+LOW-e t=5		
金物		附属金物一式	網戸、オペレーター	網戸、オペレーター	網戸、オペレーター	水切、額縁、網戸、オペレーター	網戸	水切、額縁		
備考		防火設備 (EB-1856-1)		附属金物一式		防火設備 (EB-1817-4)		防火設備		
記号・数量	AN11 1F 遊戯室	2ヶ所	AN12 2F 集会室	1ヶ所	AN13 2F 集会室	1ヶ所				
形状										
種類	[既存] Fix窓	Fix窓	[既存] 引違い窓 3連	引違い窓 3連	[既存] 4枚 引違い窓 ランマ付	4枚 引違い窓				
材料・見込	アルミ 見込: 70	スチール 見込: 70	アルミ 見込: 70	アルミ 見込: 70	アルミ 見込: 70	アルミ 見込: 70				
硝子・仕上	網入透明ガラス t=6.8	網入透明ガラス t=6.8+A6+LOW-e t=5	透明ガラス t=5	透明ガラス t=5+A6+LOW-e t=5	透明ガラス t=5、ランマ: 透明ガラス t=3	透明ガラス t=5+A6+LOW-e t=5				
金物		水切、額縁	網戸	クレセント、網戸	網戸	クレセント、水切、網戸				
備考		防火設備		附属金物一式		附属金物一式				

記号・数量	AW13 2F 集会室	1ヶ所	AW14 2F 階段室	1ヶ所		LHD1 1F 多目的トイレ	1ヶ所	LHD2 2F ホール	1ヶ所							
形状																
種類	[既存] 4枚引違い窓 ランマ付		引違い窓 連窓 【防火設備 新設】		[既存] 内倒し窓 2連 (角度60°)		軽量片引きハンガードア 2連動		軽量片引きハンガードア 2連動							
材料・見込	アルミ 見込: 70		アルミ 見込: 70		アルミ 見込: 70		スチール 枠: 100、扉: 40		スチール 枠: 100、扉: 40							
硝子・仕上	網入透明ガラス t=6.8		網入透明ガラス t=6.8+A6+LOW-e t=5		透明ガラス t=5		型板 t=4、枠: SOP、扉: 化粧鋼板		透明 t=3、枠: SOP、扉: 化粧鋼板							
金物	網戸		クレセント、水切、網戸		開閉チェーン		引棒、小窓、ガラリ、表示錠		引棒、小窓、引き戸錠							
備考	※既存建具 一式 撤去		防火設備 (EB-2943-2)		網戸		附属金物一式		附属金物一式							
記号・数量	WD17 1F 集会室18帖	1ヶ所	WD18 1F 集会室18帖 踏込	1ヶ所	WD20 1F 集会室18帖 踏込	1ヶ所	F1 1F 集会室18帖 押入	1ヶ所	F3 2F 集会室15帖	1ヶ所	F4 2F 集会室21帖	1ヶ所	F5 2F 集会室21帖 押入	1ヶ所		
形状																
種類	親子両開きフラッシュ戸		引違いフラッシュ戸		片引きフラッシュ戸		4枚引違いフスマ戸		引違いフスマ戸 天袋付		4枚引違いフスマ戸		引違いフスマ戸			
材料・見込	見込: 36		見込: 30		見込: 30		見込: 30		見込: 30		見込: 30		見込: 30			
硝子・仕上	ビニル貼付/新鳥の子紙貼り		ビニル貼付/新鳥の子紙貼り		ビニル貼付 (両面)		新鳥の子紙貼り (両面)		新鳥の子紙貼り (片面)		新鳥の子紙貼り (両面)		新鳥の子紙貼り (両面)			
備考	※既存建具 仕上材の貼替え		※既存建具 仕上材の貼替え		※既存建具 仕上材の貼替え		※既存建具 仕上材の貼替え		※既存建具 仕上材の貼替え		※既存建具 仕上材の貼替え		※既存建具 仕上材の貼替え			
記号・数量	S1 1F 集会室	3ヶ所	S2 2F 集会室	4ヶ所		S3 2F 集会室	2ヶ所	FP1 1F 調理実習室	1ヶ所							
形状																
種類	4枚引違い障子戸		引違い障子戸			4枚引違い障子戸 【建具 新設】		エンドパネルフラッシュ【建具 新設】								
材料・見込	見込: 30		見込: 30			見込: 30		メラミン化粧板 見込: 40								
硝子・仕上	強化障子紙貼り		強化障子紙貼り			強化障子紙貼り										
備考	※既存建具 障子紙の貼替え		※既存建具 障子紙の貼替え													
記号・数量	S3 2F 集会室	2ヶ所	F6 2F 集会室	1ヶ所	AC1 多目的トイレ	1ヶ所	AC2 調理実習室	1ヶ所	SD3 2Fホール	1ヶ所	SW1 遊戯室	1ヶ所	SW2 玄関	1ヶ所	AW15 玄関	1ヶ所
形状																
種類	4枚引違い障子戸 ランマ付		4枚引違いフスマ戸		片引きアコーディオンドア		両引き分けアコーディオンドア		ホールディングゲート		Fix ガラスブロック		Fix トップライト		Fix	
材料・見込									スチール製 見込: 50		スチールサッシ 見込: 100		スチールサッシ 見込: 100		アルミ 見込: 70	
硝子・仕上											ガラスブロック 145×145×95		網入透明ガラス t=6.8		アクリル樹脂板 t=3.0	
備考	※既存建具 撤去処分		※既存建具 撤去処分		※既存建具 撤去処分		※既存建具 撤去処分		※既存建具 撤去処分		S=1/100		S=1/100		※既存建具 撤去処分	



私道

3.600
1.500



対象建物

鉄骨造 2階建
延べ面積 582.30m²

既存建物
倉庫

私道

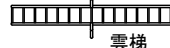
1.800

道路

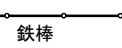
2.000



防油堤：2,000×2000×300H
オイルタンク 200L



雲梯



鉄棒

庭園灯 K
灯具のみ更新

道路

配置図

■建物概要

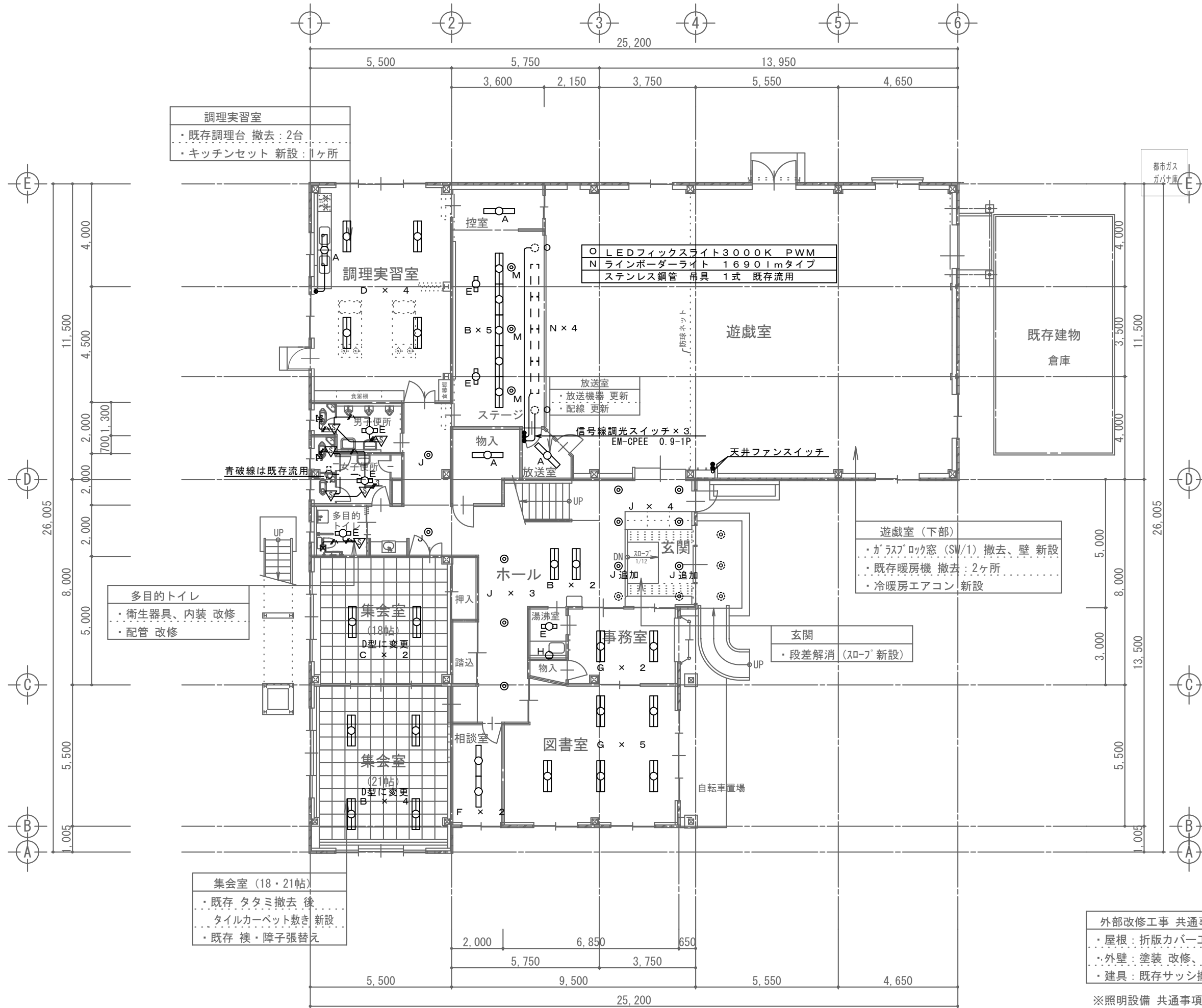
施設名称： 秋和児童センター
所在地： 上田市秋和 914
建設年： 昭和62年（築38年）
構造階数： 鉄骨造 2階建て
延べ面積：
用途地域： 第一種住居専用地域

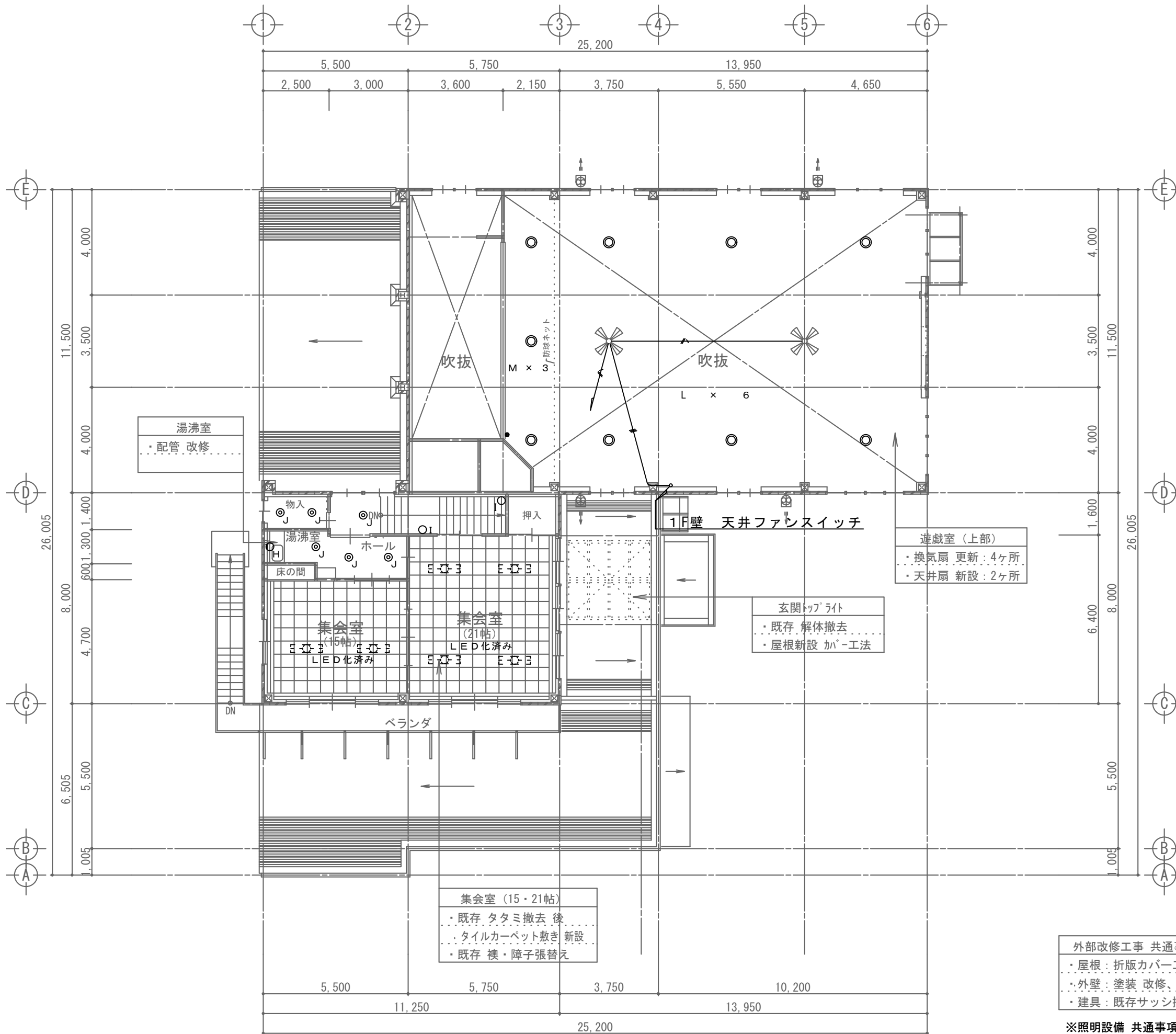
■工事概要

- 01、屋根：玄関トップライト撤去・全面折板カバー工法・パラペット板金改修
- 02、外壁：全面塗装改修・ALC版目地シール打替え・遊戯室ガラスブロック窓改修
- 03、建具：全既存サッシ撤去、複層ガラスサッシ新設
- 04、照明設備：全照明LED化
- 05、空調設備：各居室空調方式変更
遊戯室 エアコン新設・換気扇更新・天井扇新設
- 06、集会室：既存タタミ撤去、タイルカーペット新設、襖紙・障子紙貼替え
- 07、多目的トイレ：衛生器具、内装、配管改修
- 08、調理実習室：既存調理台撤去、キッチン新設、床改修
- 09、放送室：放送機器更新、配線改修
- 10、2F湯沸室：配管改修



附近見取図





湯沸室
・配管改修

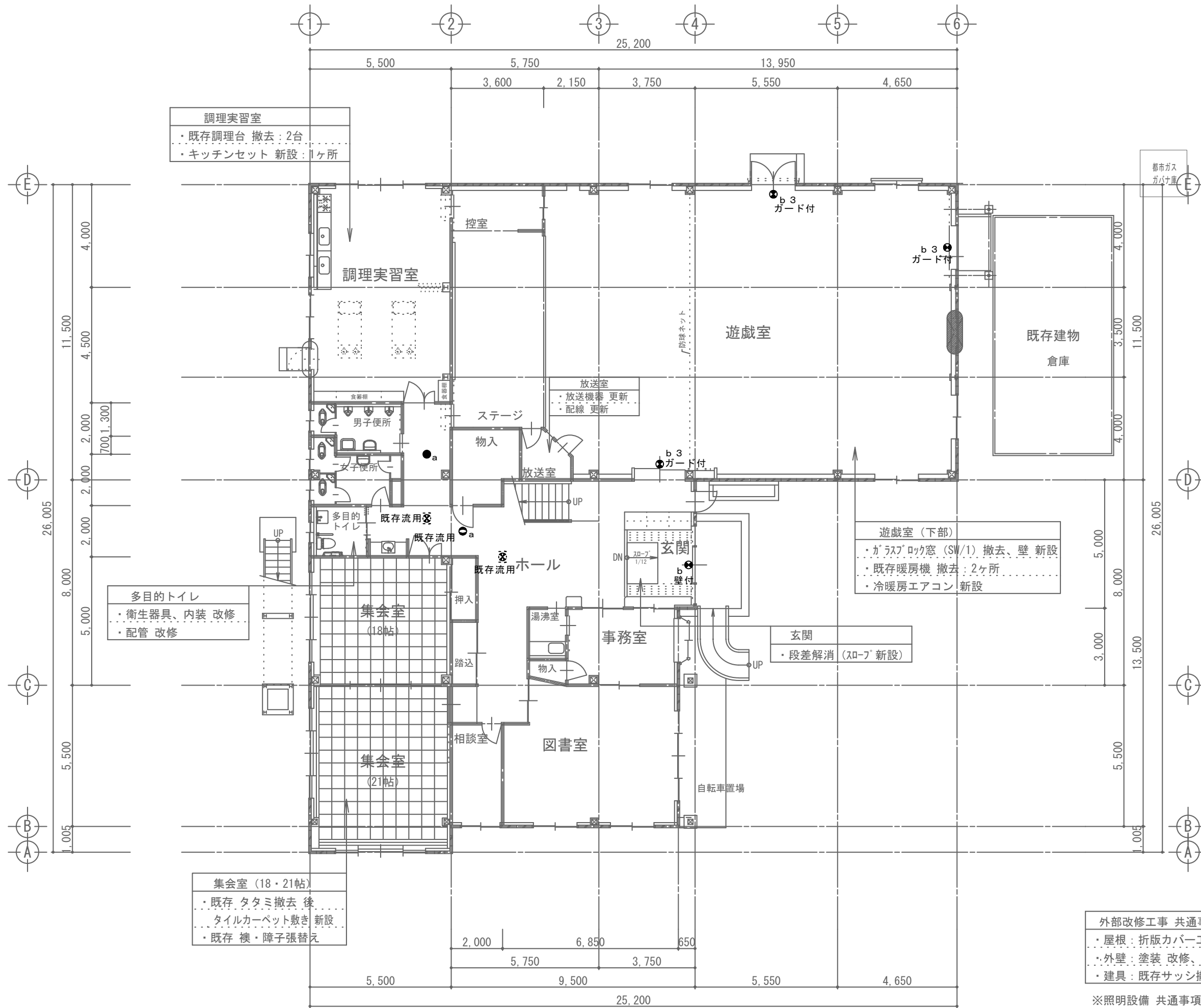
遊戯室(上部)
・換気扇更新: 4ヶ所
・天井扇新設: 2ヶ所

玄関トップライト
・既存解体撤去
・屋根新設 ガー工法

集会室 (15・21帖)
・既存タタミ撤去 後
・タイルカーペット敷き 新設
・既存襖・障子張替え

外部改修工事 共通事項
・屋根: 折版カバー工法、パラペット板金 改修
・外壁: 塗装 改修、ALC版目地シーリング打替え
・建具: 既存サッシ撤去、複層ガラス建具 新設

※照明設備 共通事項
・既存照明器具 撤去、LED照明器具 新設



調理実習室
 ・既存調理台 撤去：2台
 ・キッチンセット 新設：1ヶ所

多目的トイレ
 ・衛生器具、内装 改修
 ・配管 改修

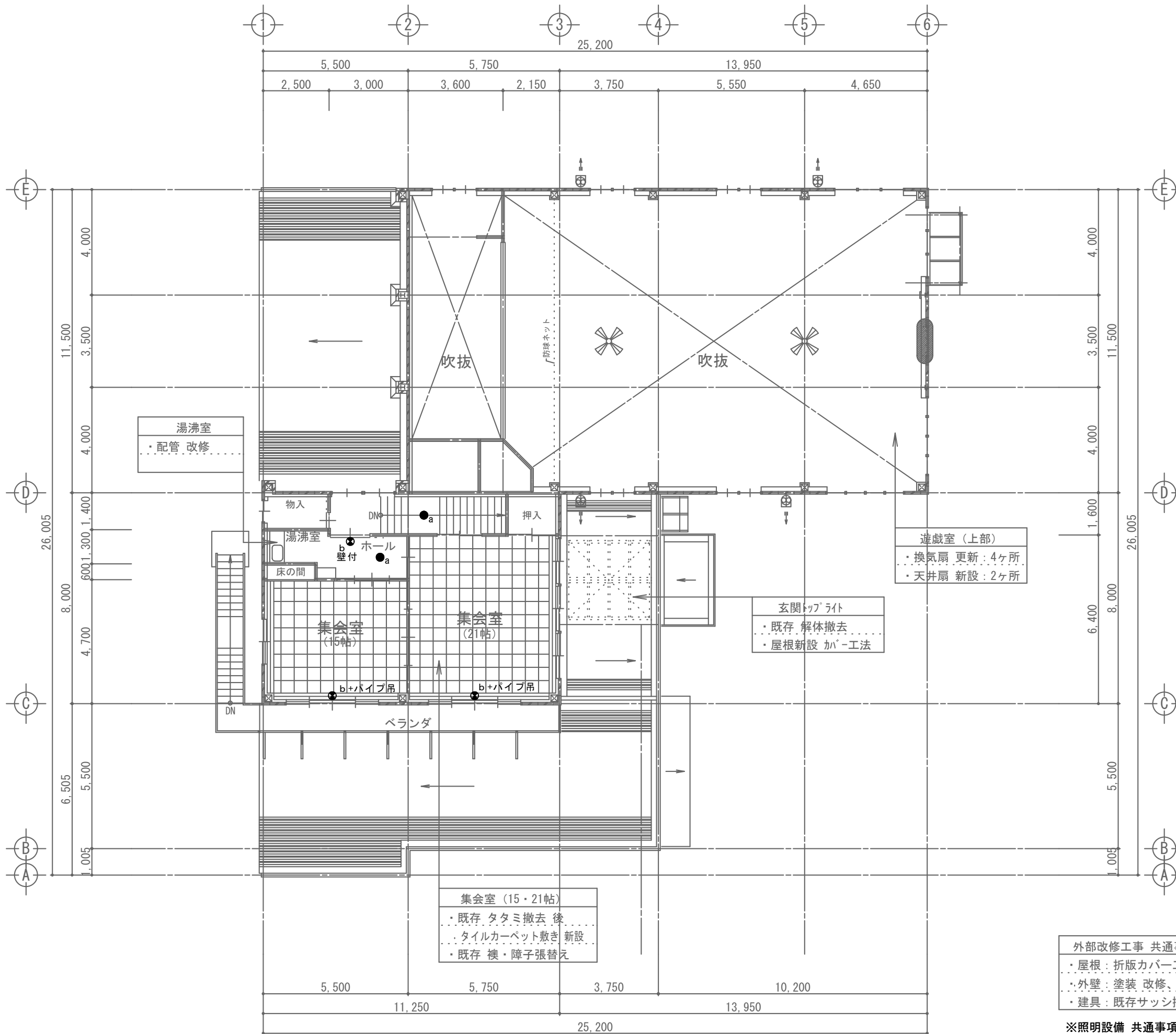
集会室 (18・21帖)
 ・既存 タタミ撤去 後
 タイルカーペット敷き 新設
 ・既存 襖・障子張替え

遊戯室 (下部)
 ・ガラスブロック窓 (SW/1) 撤去、壁 新設
 ・既存暖房機 撤去：2ヶ所
 ・冷暖房エアコン 新設

玄関
 ・段差解消 (スロープ 新設)

外部改修工事 共通事項
 ・屋根：折版カバー工法、パラペット板金 改修
 ・外壁：塗装 改修、ALC版目地シーリング打替え
 ・建具：既存サッシ撤去、複層ガラス建具 新設

※照明設備 共通事項
 ・既存照明器具 撤去、LED照明器具 新設



湯沸室
・配管改修

遊戯室 (上部)
・換気扇更新: 4ヶ所
・天井扇新設: 2ヶ所

玄関トプライト
・既存解体撤去
・屋根新設カバー工法

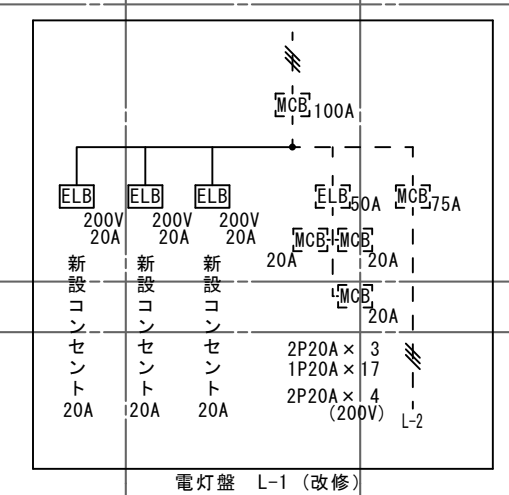
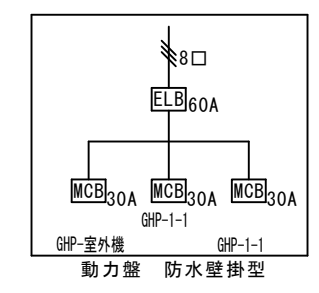
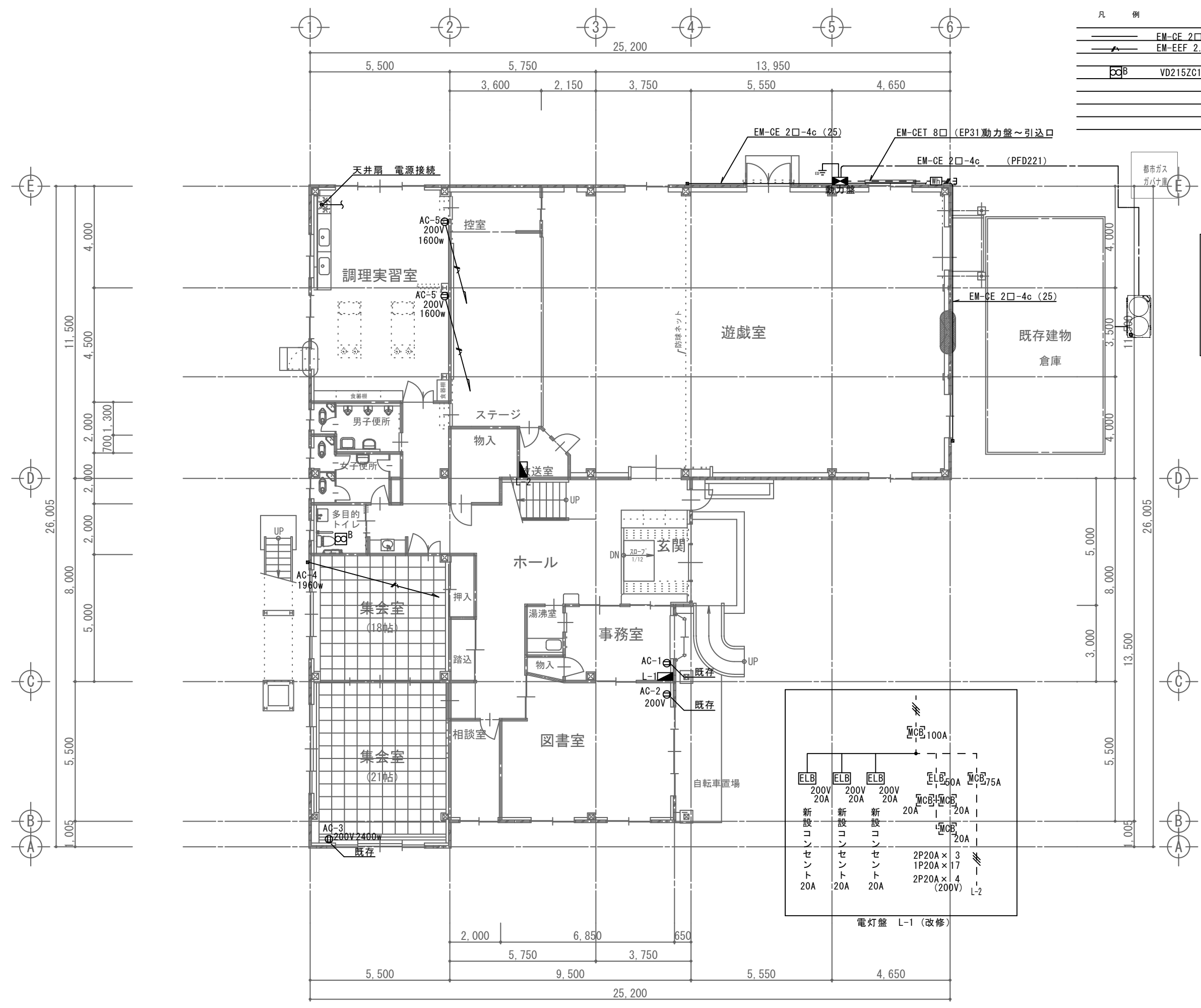
集会室 (15・21帖)
・既存タタミ撤去後
・タイルカーペット敷き新設
・既存襖・障子張替え

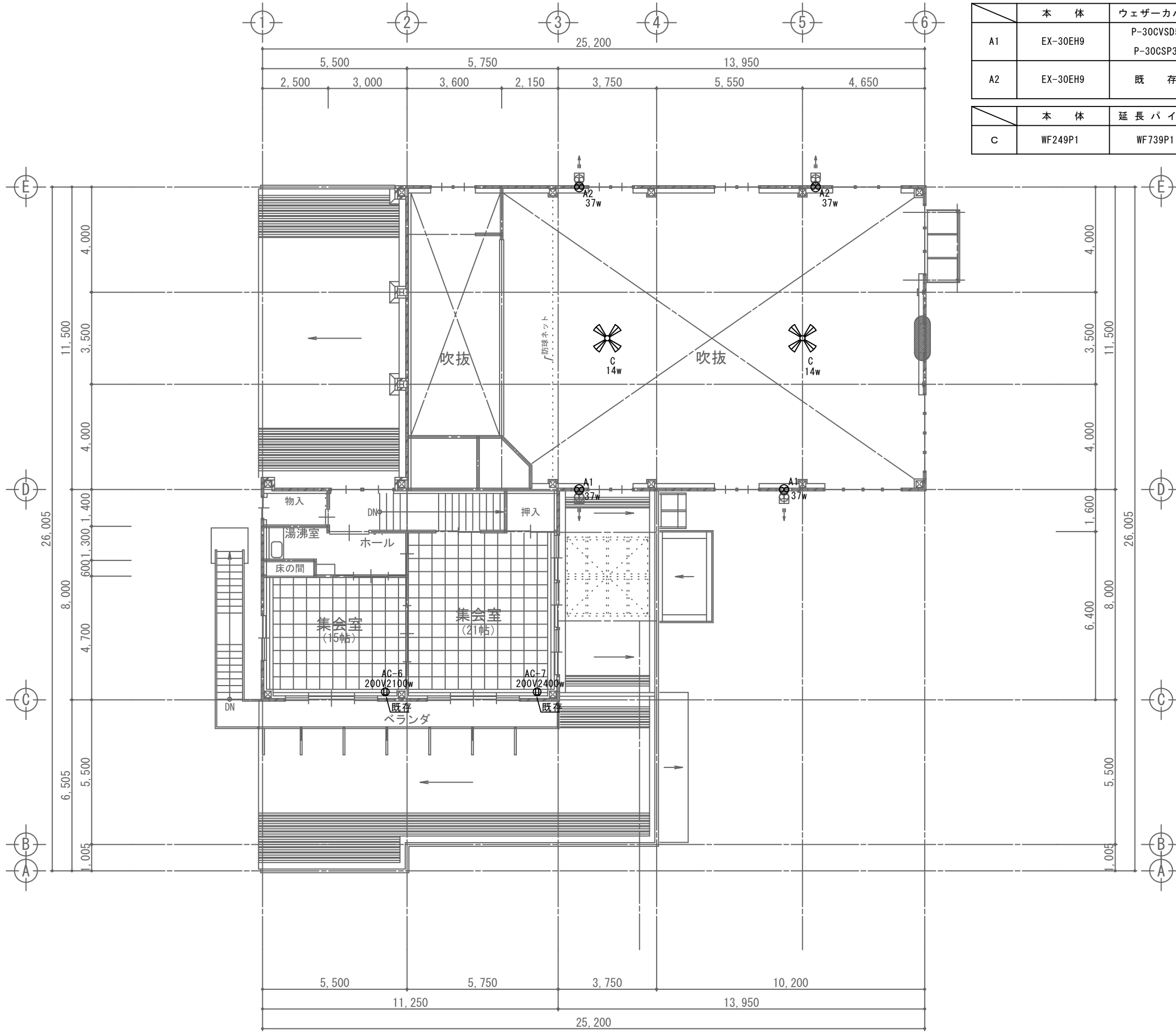
外部改修工事 共通事項
・屋根: 折版カバー工法、パラペット板金改修
・外壁: 塗装改修、ALC版目地シーリング打替え
・建具: 既存サッシ撤去、複層ガラス建具新設

※照明設備 共通事項
・既存照明器具撤去、LED照明器具新設

凡 例

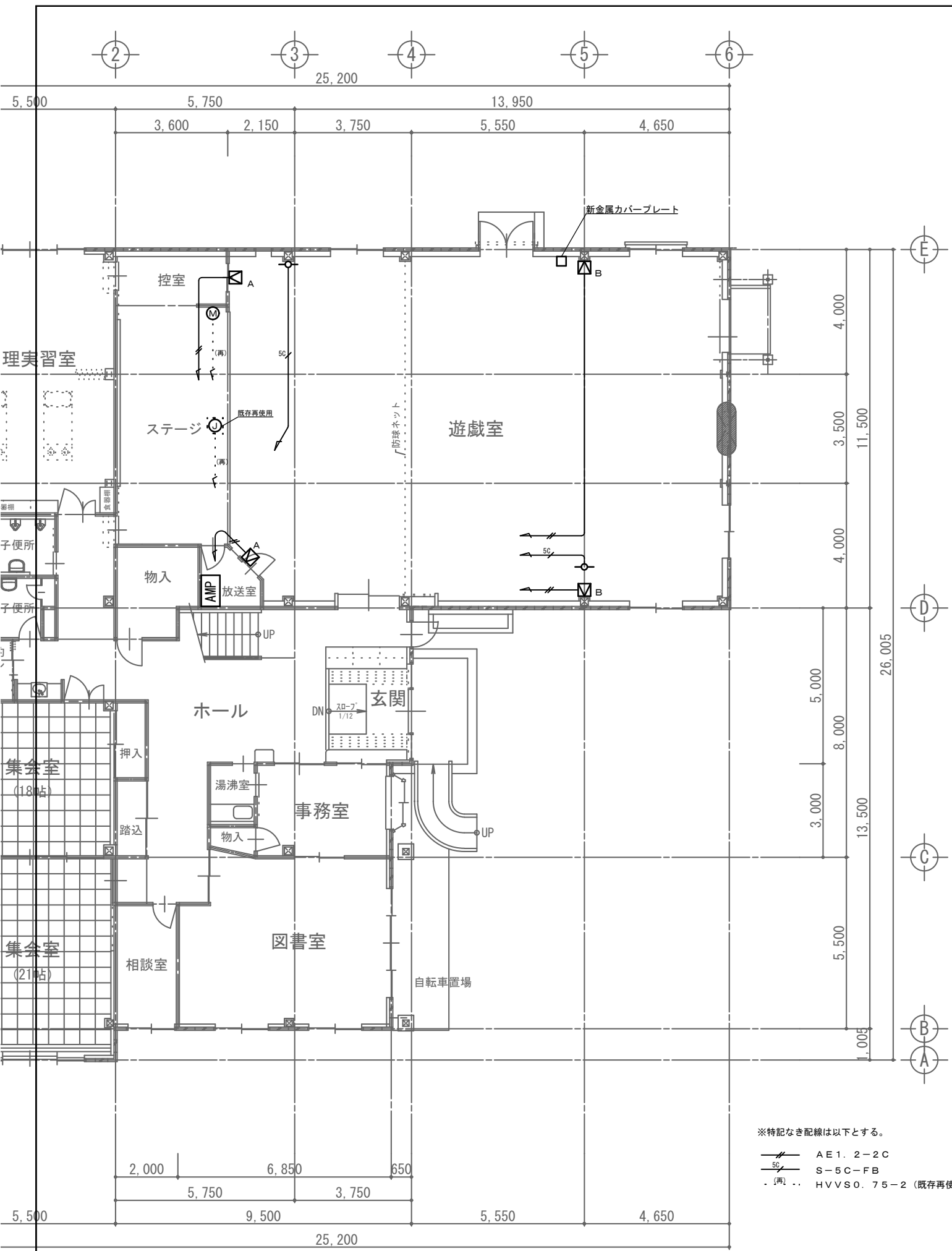
	EM-CE 2口-4c (25)
	EM-EEF 2.0-3c
	VD215ZC14 フード 既存





	本体	ウェザーカバー	取付枠
A1	EX-30EH9	P-30CVSD5 P-30CSP3	P-30HW6
A2	EX-30EH9	既存	既存

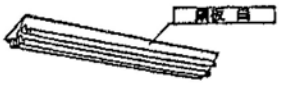
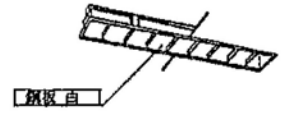
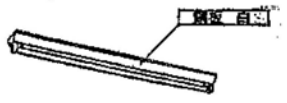
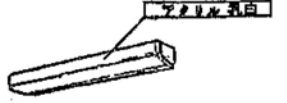
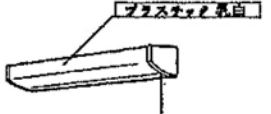
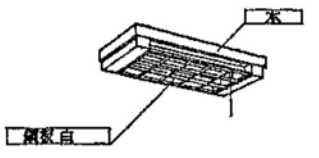
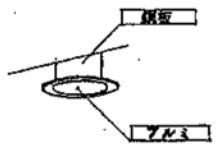
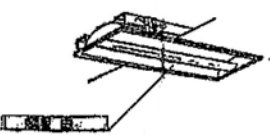
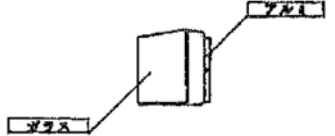
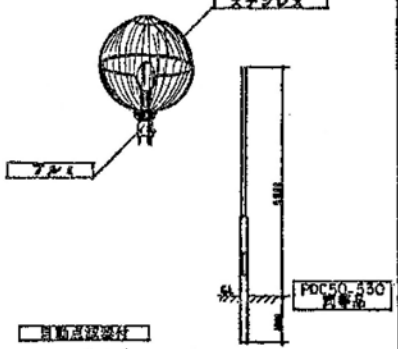
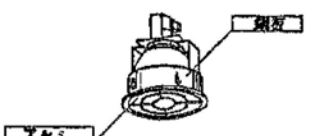
	本体	延長パイプ	備考
C	WF249P1	WF739P1	制御はリモコンとなります

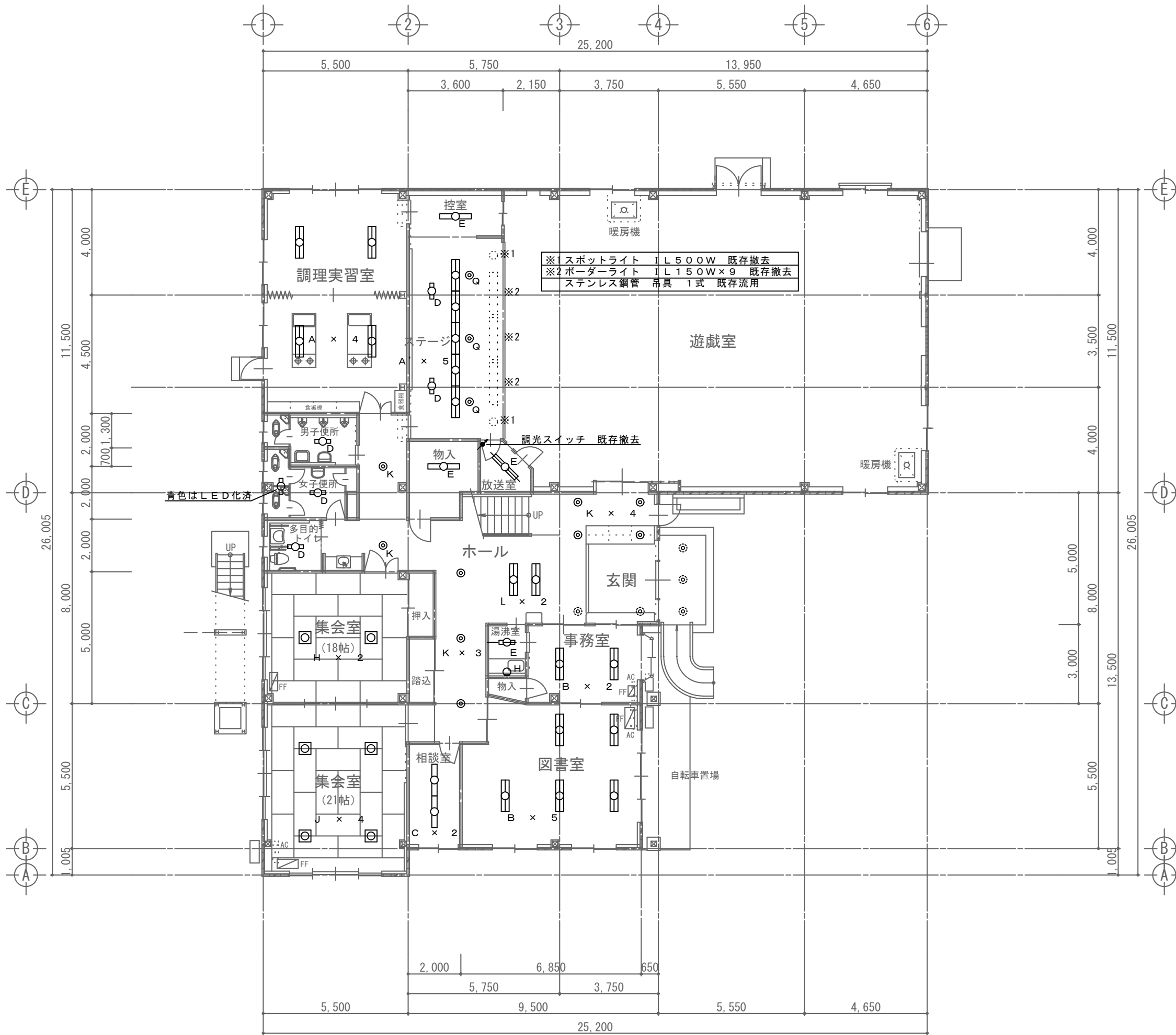


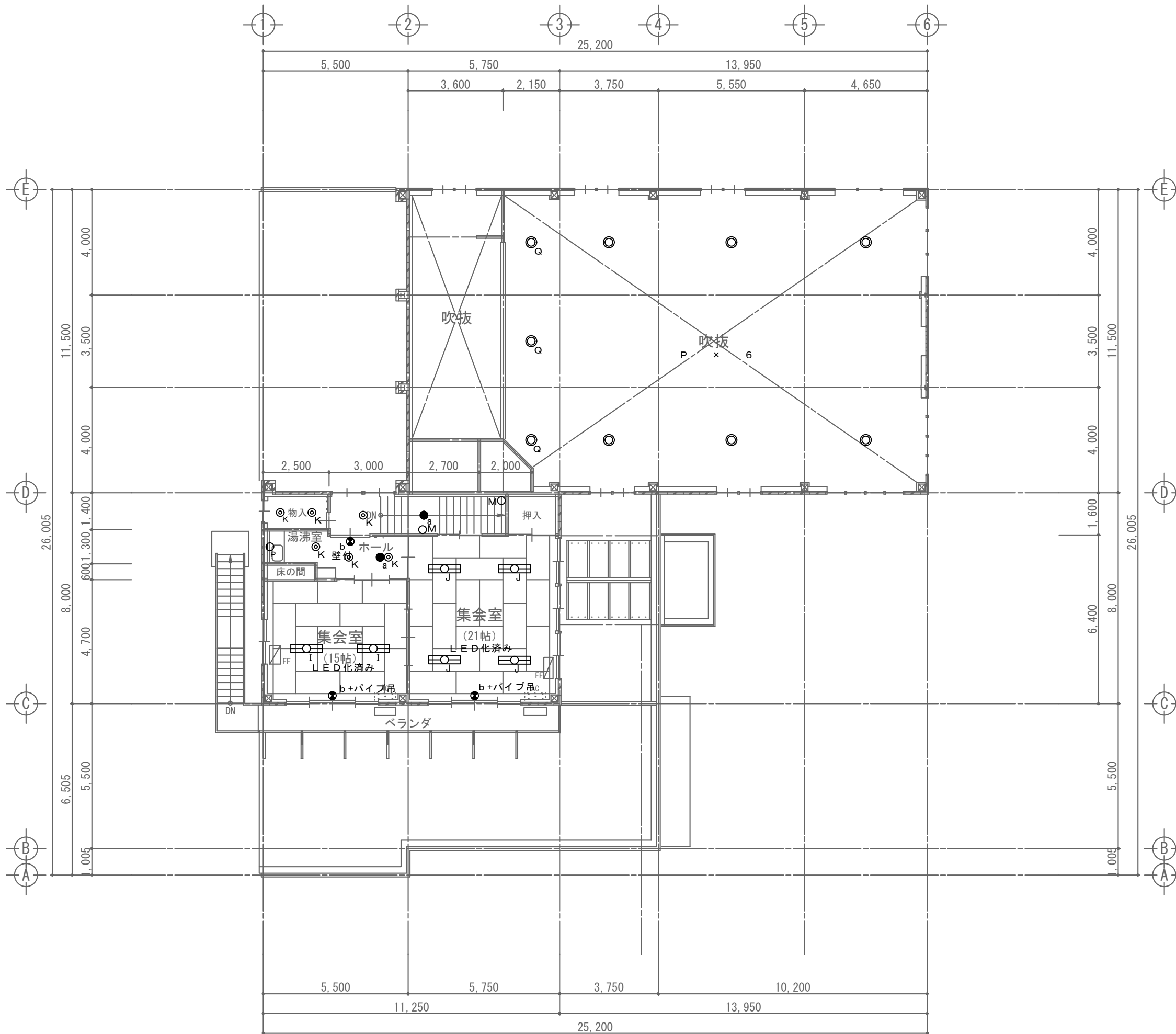
※特記なき配線は以下とする。

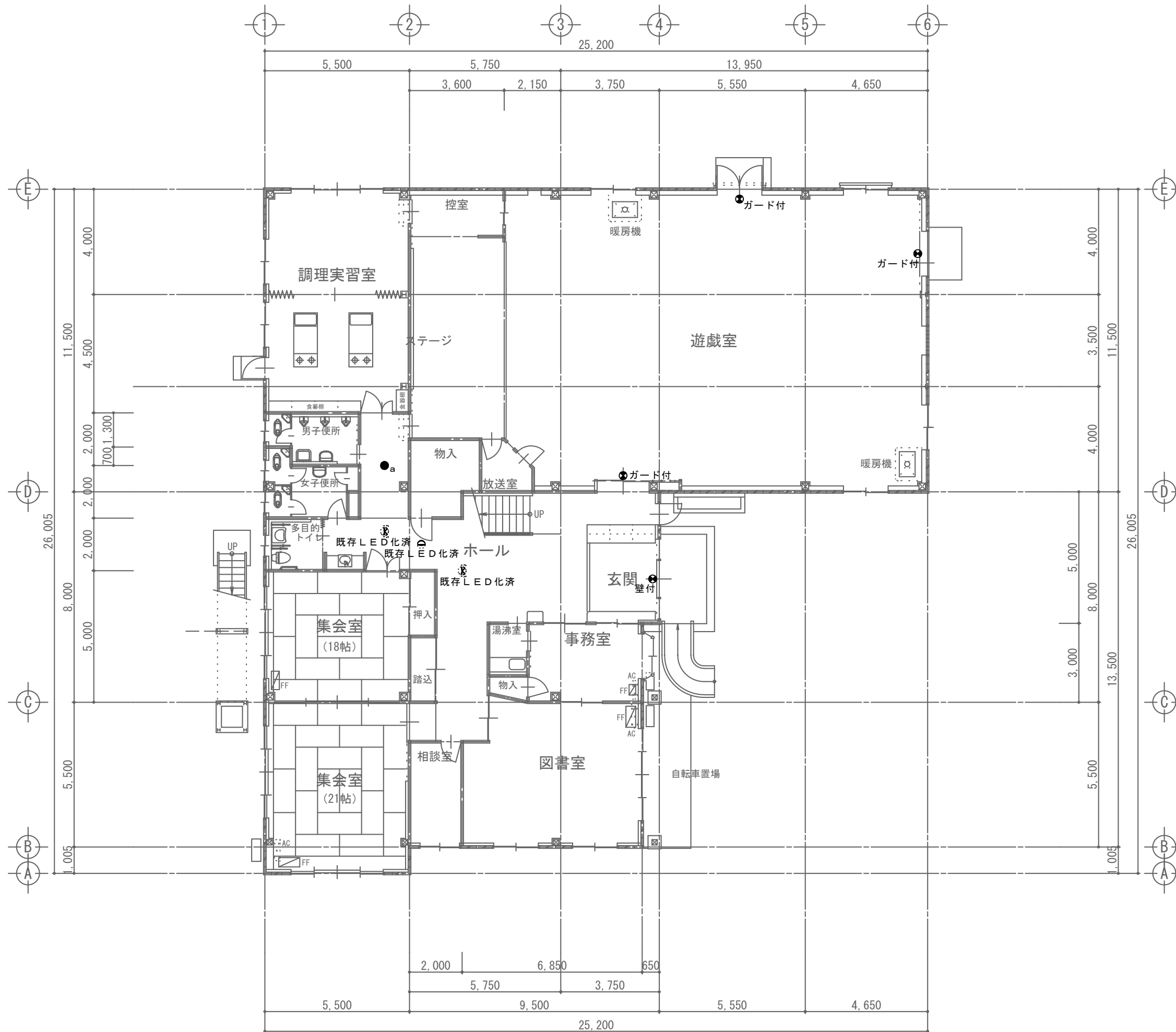
— AE1.2-2C
 - 50 S-5C-FB
 - [再] .. HVV50.75-2 (既存再使用)

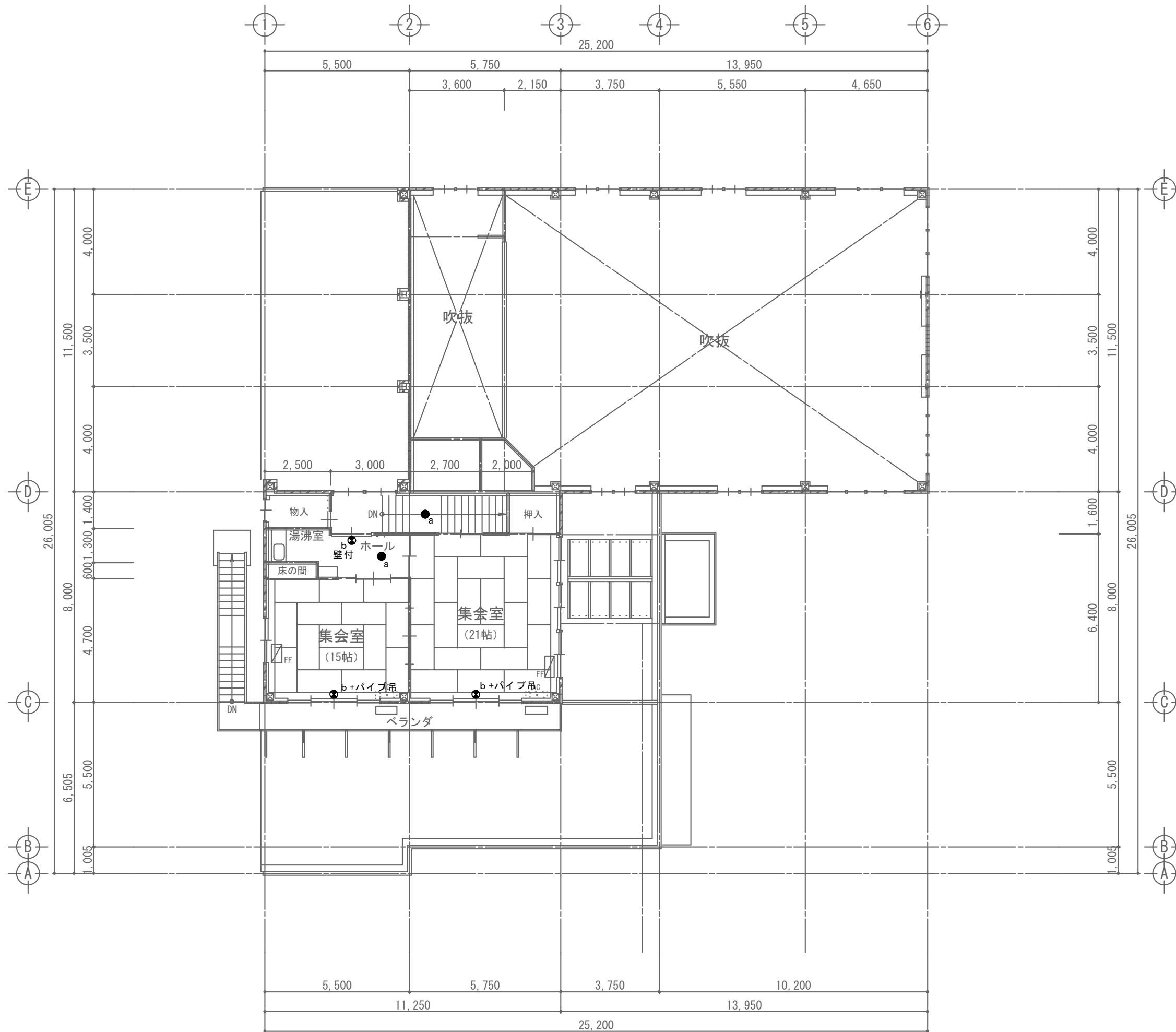
<p>AMP 卓上アンプ</p> <table border="1"> <tr><td>電源</td><td>AC100V 50/60Hz, DC24V</td></tr> <tr><td>定格出力</td><td>120W</td></tr> <tr><td>入力</td><td>入カ×3 (マイク、ライン切替)、BGM×2、緊急ページング他</td></tr> <tr><td>出力</td><td>録音、ライン、プリ、スピーカー</td></tr> <tr><td>回線選択キー</td><td>5局一斉 (個別放送が可能)</td></tr> <tr><td>制御入力</td><td>制御入力×3、電源制御、チャイム制御</td></tr> <tr><td>機能</td><td>回線音重調節、内蔵チャイム×4、2台目増設、優先制御</td></tr> </table>	電源	AC100V 50/60Hz, DC24V	定格出力	120W	入力	入カ×3 (マイク、ライン切替)、BGM×2、緊急ページング他	出力	録音、ライン、プリ、スピーカー	回線選択キー	5局一斉 (個別放送が可能)	制御入力	制御入力×3、電源制御、チャイム制御	機能	回線音重調節、内蔵チャイム×4、2台目増設、優先制御	<p>☑A コンパクトスピーカー</p> <table border="1"> <tr><td>定格入力</td><td>60W (170Ω), 30W (330Ω)</td></tr> <tr><td>出力音圧レベル</td><td>91dB (1W, 1m)</td></tr> <tr><td>周波数特性</td><td>50Hz~20kHz (-10dB)</td></tr> <tr><td>指向角</td><td>水平: 100°, 垂直: 100°</td></tr> <tr><td>スピーカー</td><td>2.0cmPPコーン型、2.5mmドームツイーター</td></tr> <tr><td>その他</td><td>エンクロージャー: 黒、取付金具付属</td></tr> </table>	定格入力	60W (170Ω), 30W (330Ω)	出力音圧レベル	91dB (1W, 1m)	周波数特性	50Hz~20kHz (-10dB)	指向角	水平: 100°, 垂直: 100°	スピーカー	2.0cmPPコーン型、2.5mmドームツイーター	その他	エンクロージャー: 黒、取付金具付属	<p>ワイヤレスマイク ハンド型</p> <table border="1"> <tr><td>送信周波数</td><td>800MHz帯 (30波のうち1波スイッチ切替)</td></tr> <tr><td>発振方式</td><td>PLLシンセサイザー方式</td></tr> <tr><td>使用マイク</td><td>単一指向性エレクトレットコンデンサー型</td></tr> </table> <p>2本</p>	送信周波数	800MHz帯 (30波のうち1波スイッチ切替)	発振方式	PLLシンセサイザー方式	使用マイク	単一指向性エレクトレットコンデンサー型				
電源	AC100V 50/60Hz, DC24V																																					
定格出力	120W																																					
入力	入カ×3 (マイク、ライン切替)、BGM×2、緊急ページング他																																					
出力	録音、ライン、プリ、スピーカー																																					
回線選択キー	5局一斉 (個別放送が可能)																																					
制御入力	制御入力×3、電源制御、チャイム制御																																					
機能	回線音重調節、内蔵チャイム×4、2台目増設、優先制御																																					
定格入力	60W (170Ω), 30W (330Ω)																																					
出力音圧レベル	91dB (1W, 1m)																																					
周波数特性	50Hz~20kHz (-10dB)																																					
指向角	水平: 100°, 垂直: 100°																																					
スピーカー	2.0cmPPコーン型、2.5mmドームツイーター																																					
その他	エンクロージャー: 黒、取付金具付属																																					
送信周波数	800MHz帯 (30波のうち1波スイッチ切替)																																					
発振方式	PLLシンセサイザー方式																																					
使用マイク	単一指向性エレクトレットコンデンサー型																																					
<p>AMP ワイヤレスチューナー</p> <table border="1"> <tr><td>電源</td><td>AC100V 50/60Hz</td></tr> <tr><td>入力</td><td>アンテナ×4、ミキシング×1</td></tr> <tr><td>出力</td><td>単独×4、ミキシング×1</td></tr> <tr><td>受信方式</td><td>ダイバシティ受信方式</td></tr> <tr><td>受信周波数</td><td>800MHz帯</td></tr> <tr><td>チューナーユニット</td><td>2波実装済 (最大4波)</td></tr> </table>	電源	AC100V 50/60Hz	入力	アンテナ×4、ミキシング×1	出力	単独×4、ミキシング×1	受信方式	ダイバシティ受信方式	受信周波数	800MHz帯	チューナーユニット	2波実装済 (最大4波)	<p>☑B コンパクトスピーカー</p> <table border="1"> <tr><td>定格入力</td><td>30W (330Ω), 10W (1kΩ)</td></tr> <tr><td>出力音圧レベル</td><td>90dB (1W, 1m)</td></tr> <tr><td>周波数特性</td><td>60Hz~20kHz (-10dB)</td></tr> <tr><td>指向角</td><td>水平: 100°, 垂直: 100°</td></tr> <tr><td>スピーカー</td><td>1.3cmPPコーン型、2.5mmドームツイーター</td></tr> <tr><td>その他</td><td>エンクロージャー: 黒、取付金具付属</td></tr> </table>	定格入力	30W (330Ω), 10W (1kΩ)	出力音圧レベル	90dB (1W, 1m)	周波数特性	60Hz~20kHz (-10dB)	指向角	水平: 100°, 垂直: 100°	スピーカー	1.3cmPPコーン型、2.5mmドームツイーター	その他	エンクロージャー: 黒、取付金具付属	<p>ハンド型ダイナミックマイク</p> <table border="1"> <tr><td>定格インピーダンス</td><td>600Ω (平衡型)</td></tr> <tr><td>指向性</td><td>単一指向性</td></tr> <tr><td>周波数特性</td><td>70Hz~15kHz</td></tr> <tr><td>定格感度レベル</td><td>-54dB</td></tr> <tr><td>コード</td><td>1芯シールド線 不平衡 10m</td></tr> <tr><td>その他</td><td>ホーンプラグ付 トークスイッチ付、色: メタリックグレー</td></tr> </table> <p>2本</p>	定格インピーダンス	600Ω (平衡型)	指向性	単一指向性	周波数特性	70Hz~15kHz	定格感度レベル	-54dB	コード	1芯シールド線 不平衡 10m	その他	ホーンプラグ付 トークスイッチ付、色: メタリックグレー
電源	AC100V 50/60Hz																																					
入力	アンテナ×4、ミキシング×1																																					
出力	単独×4、ミキシング×1																																					
受信方式	ダイバシティ受信方式																																					
受信周波数	800MHz帯																																					
チューナーユニット	2波実装済 (最大4波)																																					
定格入力	30W (330Ω), 10W (1kΩ)																																					
出力音圧レベル	90dB (1W, 1m)																																					
周波数特性	60Hz~20kHz (-10dB)																																					
指向角	水平: 100°, 垂直: 100°																																					
スピーカー	1.3cmPPコーン型、2.5mmドームツイーター																																					
その他	エンクロージャー: 黒、取付金具付属																																					
定格インピーダンス	600Ω (平衡型)																																					
指向性	単一指向性																																					
周波数特性	70Hz~15kHz																																					
定格感度レベル	-54dB																																					
コード	1芯シールド線 不平衡 10m																																					
その他	ホーンプラグ付 トークスイッチ付、色: メタリックグレー																																					
<p>AMP 業務用CDプレーヤー</p> <table border="1"> <tr><td>電源</td><td>AC100V 50/60Hz</td></tr> <tr><td>消費電力</td><td>11W</td></tr> <tr><td>動作温度</td><td>5~35°C</td></tr> <tr><td>対応メディア</td><td>CD, CD-R, CD-RW, USB, SD, SDHC</td></tr> <tr><td>オーディオ出力端子</td><td>アナログ: XLR-3-32, PHONES, RCA デジタル: RCA (COAXIAL), OPTICAL</td></tr> </table>	電源	AC100V 50/60Hz	消費電力	11W	動作温度	5~35°C	対応メディア	CD, CD-R, CD-RW, USB, SD, SDHC	オーディオ出力端子	アナログ: XLR-3-32, PHONES, RCA デジタル: RCA (COAXIAL), OPTICAL	<p>☉ 壁取付用ワイヤレスアンテナ</p> <table border="1"> <tr><td>電源</td><td>DC7~12V (本体より供給)</td></tr> <tr><td>消費電流</td><td>15mA (9V時)</td></tr> <tr><td>受信周波数</td><td>800MHz帯</td></tr> <tr><td>ダイポール比相対利得</td><td>約+8dB</td></tr> <tr><td>アッテネーター</td><td>0, -10, -20dB</td></tr> <tr><td>その他</td><td>防水性能: IPX2 壁取付用</td></tr> </table>	電源	DC7~12V (本体より供給)	消費電流	15mA (9V時)	受信周波数	800MHz帯	ダイポール比相対利得	約+8dB	アッテネーター	0, -10, -20dB	その他	防水性能: IPX2 壁取付用	<p>卓上型マイクスタンド</p> <table border="1"> <tr><td>型式</td><td>卓上型2段式</td></tr> <tr><td>使用可能マイク</td><td>マイク径: φ18~φ35mm 最大マイク質量: 500g</td></tr> </table> <p>1台</p>	型式	卓上型2段式	使用可能マイク	マイク径: φ18~φ35mm 最大マイク質量: 500g										
電源	AC100V 50/60Hz																																					
消費電力	11W																																					
動作温度	5~35°C																																					
対応メディア	CD, CD-R, CD-RW, USB, SD, SDHC																																					
オーディオ出力端子	アナログ: XLR-3-32, PHONES, RCA デジタル: RCA (COAXIAL), OPTICAL																																					
電源	DC7~12V (本体より供給)																																					
消費電流	15mA (9V時)																																					
受信周波数	800MHz帯																																					
ダイポール比相対利得	約+8dB																																					
アッテネーター	0, -10, -20dB																																					
その他	防水性能: IPX2 壁取付用																																					
型式	卓上型2段式																																					
使用可能マイク	マイク径: φ18~φ35mm 最大マイク質量: 500g																																					
<p>(M) 壁付型マイクコンセント</p> <table border="1"> <tr><td>コネクター</td><td>標準ホーンジャック</td></tr> <tr><td>適合プラグ</td><td>単式ホーンプラグまたは複式プラグ</td></tr> <tr><td>仕上</td><td>ユニット: 樹脂 プレート: アルミ合金</td></tr> </table>	コネクター	標準ホーンジャック	適合プラグ	単式ホーンプラグまたは複式プラグ	仕上	ユニット: 樹脂 プレート: アルミ合金	<p>床型マイクスタンド</p> <table border="1"> <tr><td>型式</td><td>床型2段式</td></tr> <tr><td>取付ねじ</td><td>NS5/8, U5/16</td></tr> </table> <p>2台</p>	型式	床型2段式	取付ねじ	NS5/8, U5/16																											
コネクター	標準ホーンジャック																																					
適合プラグ	単式ホーンプラグまたは複式プラグ																																					
仕上	ユニット: 樹脂 プレート: アルミ合金																																					
型式	床型2段式																																					
取付ねじ	NS5/8, U5/16																																					

A	FL40w13	RH		B	FL40w12	RH	埋込型	D	FL20w1	GL		E	FL20w1		
A'	FL40w12	RH		C	FL40w11	RH	埋込型	E	FL40w1	RH					
															
G	FL20w1	GPL		H	FL20w5	GPL		K	FL18w1	GL	埋込型	L	FL40w2	RH	埋込型
				I	FL20w4	GPL									
				J	FL20w3	GPL									
															
M	LL40w			N	NF220w	高力		P	HF400w	高力	埋込型				
								Q	HF250w	高力	埋込型				
															











凡例

シンボル	名 称	処 置
⊙	メインスピーカー 壁付	撤去
⊙	マッチングトランス	撤去
⊙	サブスピーカー 壁付	撤去
○	ワイヤレスアンテナ	撤去
⊙	マイクコンセント 壁付	撤去
⊙	マイクコンセント 床付	再使用
AMP	レコードプレーヤー	撤去
---	ワイヤレスチューナー(2波用)	---
---	卓上型アンプ(60W)	---
---	ダブルカセットデッキ	---
---	CDプレーヤー	---
備品	マイク、ワイヤレスマイク、コード類	撤去

※特記なき配線は以下とする。

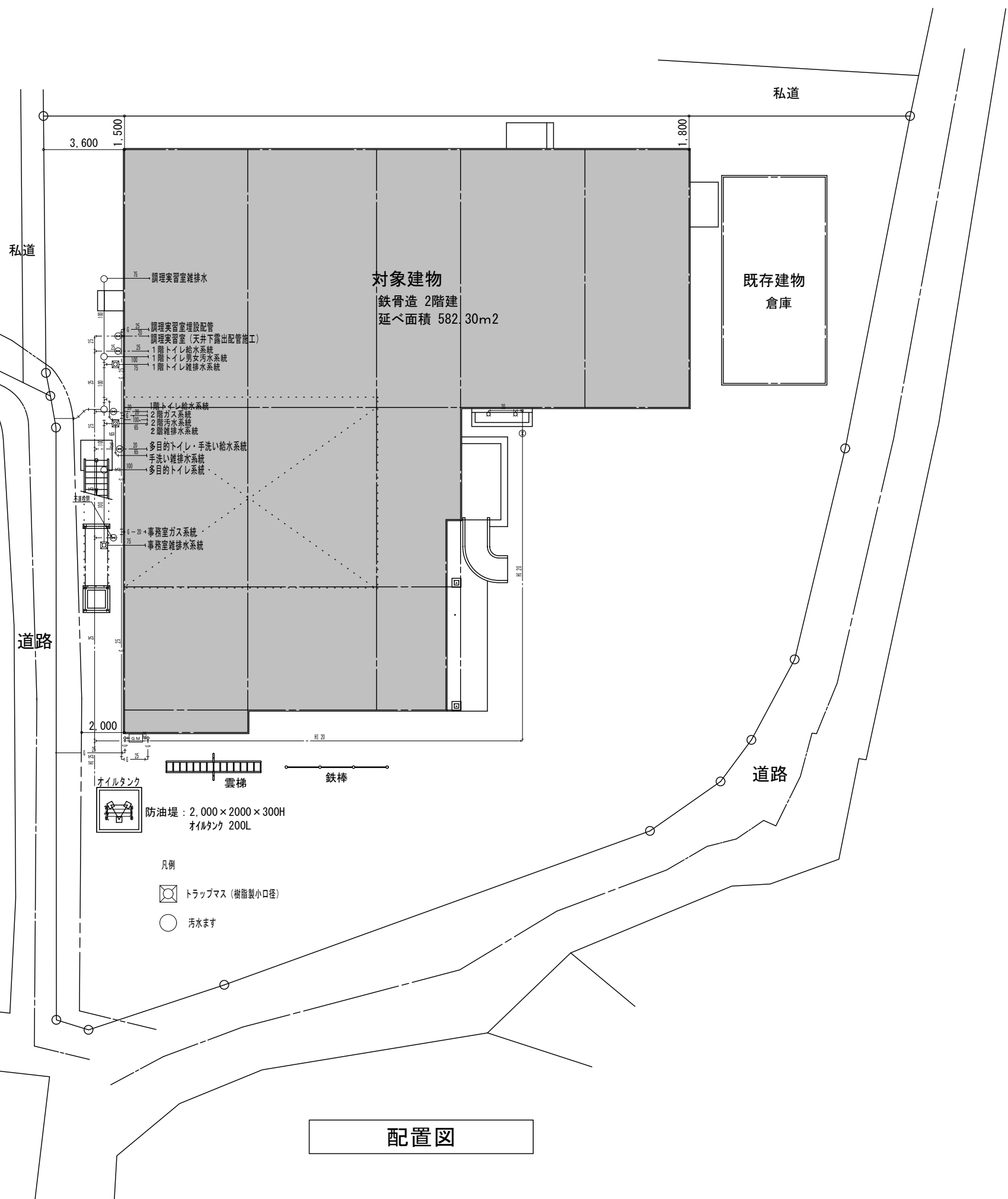
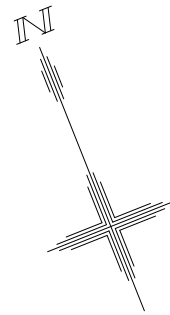
- AE1. 2-2C …撤去
- AE1. 2-4C …撤去
- SC-2B …撤去
- (再) … HVVS0. 75-2 …再使用とする

秋和児童センター改修工事 機械設備工事 特記仕様書						
1 工事概要						
1. 工事場所 上田市秋和914						
2. 建物概要						
建物名称	構造	階数(階)	延面積(m ²)	消防法施行令別表第一の区分	耐震分類	備考
秋和児童センター	S造	2	582.30			
3. 設備概要 (O印を付けたものを適用する)						
方法及び種別	設備概要					
空調方式	・ガス炎吸収式 ○空調ヒートポンプ					
冷暖房方式	・					
暖房方式	・温風暖房 ・温水暖房 ・FF暖房					
換気方式	○局所換気 ・セントラル方式					
給水方式	○水道直結式 ・加圧式 ・高圧タンク式(・上水 ・井水)					
排水方式	○建物内汚水、雑排水(○分流 ・合流) ○建物外汚水、雑排水(・分流 ○合流) 浄化槽(・合併 ・単独) 放流先(○公共下水 ・)					
4. 図面目録 ・別紙参照 ○下記の通り						
番号	図面名称	7	多目的トイレ 給排水改修配管図			
1	機械設備工事 特記仕様書	8	調理実習室 給排水ガス改修配管図			
2	給排水配管配置図(改修前)	9	1階 ガス改修配管図			
3	給排水配管配置図(改修後)	10	2階 給排水ガス改修配管図			
4	空調機器配置図	11	1階 空調設備改修平面図			
5	既存機器表	12	2階 空調設備改修平面図			
6	新設機器表	13	既存冷暖房設備平面図			
II 工事仕様						
1. 共通仕様						
(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁管轄部の「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(最新年度版)」(以下、「標準仕様書」という。)、公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(最新年度版)」(以下、「改修標準仕様書」という。))及び「公共建築設備工事標準仕様書(機械設備工事編)(最新年度版)」(以下、「標準図」という)による。						
(2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記の工事仕様は適用しない。						
2. 特記仕様						
(1) 専及び項目は番号に○印の付いたものを適用する。						
(2) 特記事項のうち選択する事項は○印の付いたものを適用し、○印のままのものは適用しない。						
章	項目	特記事項				
○ 一般共通事項	○ 機材等	(1) 本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能と同等以上のものを使用する。但し、製造業者等が記載されている場合は同等以上のものとする場合は、あらかじめ監督職員の承諾を受ける。 (2) 下表に示す材料・機材等の製造業者等は次の1)から6)すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出し監督職員の承諾を受ける。 1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 3) 安定的な供給が可能であること。 4) 法令等で定めがある場合は、その許可、認可、認定又は免許を取得していること。 5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること。なお、システムとして機能するものにあつては、システムの構築能力があり、現場での施工体制が整えられていること。 ● 品質及び性能を有することの証明となる資料を提出する機材等 ○ (社)公共建築協会による「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」における評価対象となる機械設備機材等 ○ ○ その他監督職員の指示によるもの				
	○ 使用材料発注先調査	使用材料名、製造者名、発注先、品質性能証明資料提出の省割について記載した調査を作成し、監督職員の承諾を受ける。				
○ 施工条件明示項目	※ 現場説明書による					
○ 化学物質を発生する建築材料等	本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1)から5)を満たすものとする。 1) 台板、木質系フローリング、構造用ハネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上り塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。 2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びステレンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。 3) 接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑性剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。 4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。 5) 上記1)、3)、4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他什器等は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。 なお、ホルムアルデヒドを発生しないものは、発散量が規制対象外のものを、ホルムアルデヒドの発散量が極めて少ないものとは、発散量が第3種のものを用い、原則として規制対象外のものを使用するものとするが、該当する材料等が無い場合は第3種のものを使用するものとする。					
	ホルムアルデヒドの発散量	該当する建築材料				
	規制対象外	① JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ② 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③ 下記表示のあるJAS規格品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発生しない材料使用 d. ホルムアルデヒドを発生しない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発生しない塗料使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発生しない塗料等使用				
	第3種	① JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ② 建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品 ③ JISのEo規格品 ④ JISのFco規格品				
○ ベーストール剤	飲料水管系に使用されているベーストール剤は、室内汚染に係る揮発性化合物に指定されている下記の物質を材料及び製造工程に使用されていないこと。 ホルムアルデヒド・アセトアルデヒド・トルエン・キシレン・エチルベンゼン・ステレン・パラジクロロベンゼン・テトラヒドロカン・クロルピリオス・フェノフルフル・ダイアジノン・フタル酸ジ-n-ブチル・フタル酸ジ-2-エチルヘキシル					

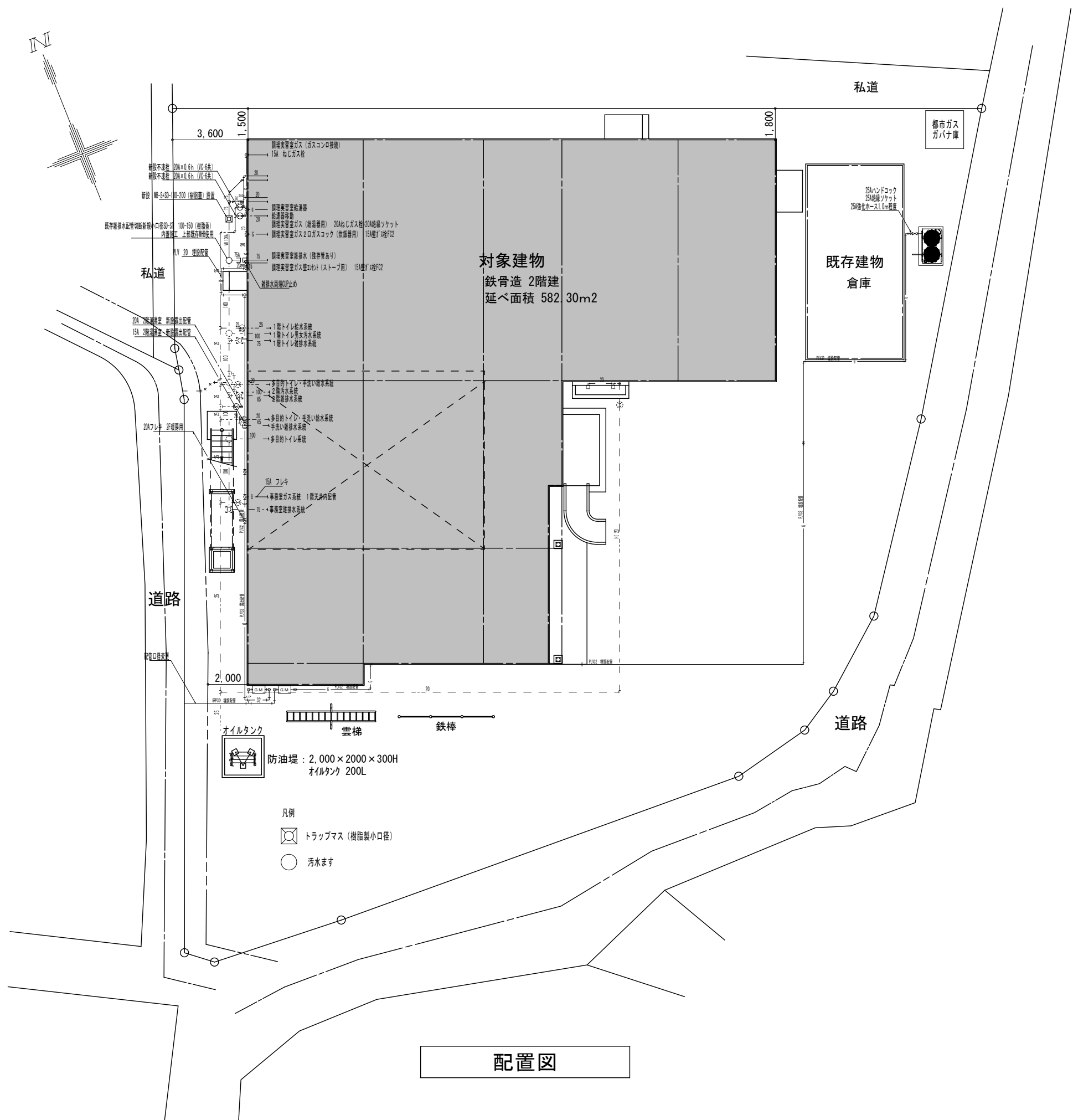
○ 電気保安技術者	電気保安技術者を設置する。	
○ 技能士の適用	○ 配管(1.2) ○ 冷凍空調機器(1.2) ○ 熱絶縁(1.2) ○ 建築板金(1.2) ○ 監督員の指示による	
8. 監督員事務所	※ 設けない ・ 設ける	
9. 工事用電力・用水等	この工事に必要な工事用電力、用水、繕手焼きなどの費用は請負者の負担とする。	
10. 完成図等	※ 完成図(※ 設計図書で示したものを全て) ・ 構注表1.7.11による ・ 監督員の指示による 作成方法 ※ 製本(※ 見開きA3縮小版 2~3部(黒表紙水文字製本) ※ 見開きA1版 1部(ビニール製本) ※ CADデータ(※ CD-R 1部)	
11. しゅん工時提出物	※ 安全に関する資料(1部)	
12. 足場・さん橋類	※ 監督員の指示による ・ 別契約の関係請負者が定置したものは無償で使用できる。 ・ 本工事で負担する。 ・ 改修機械設備標準仕様書第1編2.2.11によるほか下記による。 ・ 内部仮設足場等(・ 種 ・ 種) ・ 外部仮設足場等(・ 種 ・ 種) 資材の保管は必ず屋根をかけた地上30cm以上の架台に乗せる。 ○ 監督員が指示する構内の場所に敷ならし ・ 構内指定場所にたい積 ・ 構外搬出適切処理 ・ 構内の良質土(ただし管の周囲は山砂、川砂又は再生砂) ・ 山砂の種類 ・ 構内の山留め ・ 有(・) ・ 無 工事に先立ち手引書第2編による廃棄物等処理計画書を監督職員に提出し、しゅん工時は廃棄物等処理報告書を作成し提出する。 (1) 引渡しを要するもの ○ 無 ・ 有(・) (2) 引渡しを要するもの以外は構外搬出関係法令により適切に処理すること。 (3) 特別管理産業廃棄物 ○ 無 ・ 有(・) (4) 再利又は再生資源化を図るもの(コンクリート塊、アスファルト塊、木くず、金属くず、塩ビ管、)	
13. 資材の保管	標準仕様書第1編1.7.4によるほか、バルブ類等が必要に応じて合成樹脂製名札をステンレス線等で取り付ける。機器等の取り回し方法及び重要な定期点検項目等を書いた取扱説明板(アクリル樹脂製、文字形込み程度)を設ける。大きさは、約(・)×(・)とする。	
14. 建設発生土	○ 風量調整 ・ 水量調整 ・ 室内外空気の温度測定 ・ 室内気流及びじんあい測定 ・ 騒音測定 ○ 飲料水の水質の測定(・ 水質基準検査10項目(一般細菌、大腸菌、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、塩化物イオン、有機物等(TOCl、pH、味、臭気、色度、濁度) ・ トルエン)	
15. 埋の戻し・盛土	飲料水の水質の測定は厚生労働大臣登録水質検査機関とする。 (1) 機器類の配力、容量等は、表示された数値以上とする。 (2) 電動機出力、燃料消費量、圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。 機器、配管、風道等は耐震を考慮し堅固にすけ付け、取付又は支持を行う。 耐震措置の計算及び施工方法は、次に掲げる事項以外、すべて「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修)による。 (1) 設計用水平地震力は、機器の重量(自由表面を有する水槽その他の貯槽にあつては有効重量)に、次に示す地域係数及び設計用標準水平震度値を乗じたものとする。地域係数は1.0とする。	
16. 山留養生		
16. 発生材処理		
19. 取扱説明板		
19. 取扱説明板		
20. 総合調整		
21. 容量等の表示		
22. 耐震措置		
23. あと施工アンカー	(注) 1. (・)内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。 2. (・)内の数値は水槽類に適用する。 3. 「上層階」は、2~6階建以下の場合は最上層、7~9階建の場合は上層2階とする。 4. 「重要機器」とは下記に示すものとする。 ・ 給水装置 ・ 排水装置 ・ 換気機器 ○ 空調機器 ・ 防災設備 ・ 監視制御設備 ・ 危険物貯蔵装置 ・ 火を使用する設備 ・ 避難経路上に設置する機器 (2) 設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。	
24. 吊金物	機械改修工事標準仕様書第2編5章による。 確認試験 ・ 引き抜き試験 ・ 性能確認試験(・ 本) ・ 施工後確認試験(・ 本)を確認強度(・)kNにて行う ・ 施工士の適用(第1種、第2種) ・ あと施工アンカー施工士による	
24. 吊金物	吊金物は重鉛メッキ又はステンレス鋼製とする	
25. 配管敷配	給水、給湯、消火、冷温水、冷却水管は、図示による水抜きが確実にできるよう水抜き位置に向かって下り勾配とする。	
26. 管の保護	コンクリート内の鋼管、鉛管及び塩ビ管については、プラスチックテープを1/2重ね回巻きとする。また、コンクリート間下配管は、鋼管等により落下防止措置をする。 土中埋設管(排水含む)は、管の上下をサンドクッション厚100mmで保護する。 給水、給湯、消火の埋設深さは(・)mmとする。又、ガス管の埋設深さは(・)mmとする。 図示された屋外埋設管の分岐及び曲がりの箇所には、コンクリート製護柱を埋め込む。継ぎ部分は埋設標示ピンとする。また、施工上生じた分岐、曲がりの箇所についても同様とする。 排水管を除く管には、埋設表示用テープを設置する。	
26. 管の埋設	検査対象 ・ 配管 ・ 煙道 採取率 ・ 標準仕様書による	
26. 管の埋設表示	検査の種類 ・ RT ・ PT又はMT 下記の金属電気管は塗装を行う。 ・ 屋外露出 ・ (・)の屋内露出 下記の保護を行わない鉛鉛メッキを施したダクト及び配管は塗装を行わない。 ・ 倉庫	
29. 溶接部の非破壊検査		
30. 塗装		
31. 機器の基礎及び振動絶縁効率		
機 器	基 礎	振 動 絶 縁 効 率
遠心送風機	・ 標準基礎 ・ 防振基礎	・ (・)%以上
空調用ポンプ及びボイラー給水用ポンプ	・ 標準基礎 ・ 防振基礎	・ 80%以上
揚水用ポンプ及び小形給水ポンプユニット	・ 標準基礎 ・ 防振基礎	・ 80%以上
○ 別図による		
○ 電線類	電線及びケーブルの規格は標準仕様書第4編1.5.1、表4.1.11による。	
○ はつり	既存のコンクリート床及び壁の配管貫通部の穴明けは原則としてダイヤモンドカンターによる。	
○ 保温及び消音内貼り	標準仕様書第2編によるほか下記による。 給水管、給湯管、冷温水管等の管、バルブ(グランド部を含む)、フランジ、可とう継手及び空調ダクトのフランジは、建物内外共保温する。なお、保温端部はシーリング処理を行う。 ・ 換気ダクトの保温要(保温厚25mm) ・ 範囲は図示による。 ・ 外気取入れダクトの保温要(保温厚25mm) ・ 範囲は図示による。 ・ 排気ダクトの保温要(保温厚25mm) ・ 範囲は図示による。 ・ 送りダクトの保温要(保温厚25mm) ・ 範囲は図示による。 ・ 膨張タンクよりボイラーへの給排水管の保温は膨張管の項による。 ・ 建物内の空気抜き管の保温は膨張管の項による。 ・ 空調調和機、ファンコイルユニット、冷水及び冷温水のドレーン管の保温は排水管の項による。 ・ 全熱交換器用ダクトの保温要(保温厚25mm) ・ 範囲は図示による。 保温種別は下記による ダクト ・ イ(・ 1号 ・ 2号) ・ ロ 冷温水、冷水、温水、蒸気管 ・ イ ・ ロ 機器 ・ イ ・ ロ 給水管 ・ ハ ・ ロ(凍結防止巻部部分) 排水管 ・ ロ 給湯管 ・ イ ・ ロ	

保温及び消音内貼り(続き)	・ 排水管でビット内、共同溝内及び最下階の床の下記の部分は保温する。なお仕様はd(ハ)とする。 (・ 排水トラップ ・ 鉛管 ・ 鋼管類 ・ ビニール管 ・ ドレーン管 ・) ・ 消火管で下記部分は保温する。なお仕様は給水管の項による。 (・ 屋内消火管 ・ 水抜きできない管 ・ スプリンクラー配管 ・) ・ 圧力タンク、膨張水槽、各種浮球阀等鋼板製水槽は保温する。なお仕様は各機器の項に準ずる。 ・ 大機器は保温する。 ・ 共同溝の保温種別(・ ビット内に準ずる ・) ・ ダクトの保温外装は下表による。
2 空気調和設備	
2. 居室騒音限界	○ 防凍保温 ・ 屋外露出部(給水管、冷温水管、膨脹管、冷水管、温水管、ドレーン管、消火管、排水管、弁類)は防凍保温を行い、厚さは管径25mm以下のものは50mm、管径32mm以上のものは40mmとする。 ○ 屋外露出部(給水管、冷温水管、膨脹管、冷水管、温水管、ドレーン管、消火管、排水管、弁類)は電気ヒーター等の防凍対策を行う。なお、保温厚は34 ㎜に準ずる。 ○ 各種機器について防凍電気ヒーター等の防凍対策を行う。(・) (1) 各種機器の試験は、新設配管に適用する。 (2) 新設配管は、既設配管の接続部に試験を行う。 配管、ダクト、器具振え付けにともなうスリーブ、挿入は本工事とし、他は工事区分表による。
3 冷暖房設備	
3. 煤煙濃度計	○ 設ける ・
4. ばいじん量測定口	○ 設ける(測定口はφ30とする) ・
5. 煙道	伸縮継手、排出口及びばいじん量測定口の位置は図示による。
6. ダクト	・ 低圧ダクト ・ 高圧1ダクト ・ 高圧2ダクト ・ アンクルフランジ工法 ・ スパイラルダクト ・ コーナポルト工法(・ 共板フランジ工法 ・ スライドオンフランジ工法) 取付部は図示による。 (1) 内貼りを施すチャンパーの表示方法は外法を示す。 (2) 空気調和、温風暖房機に取り付けるサプライチャンパー、レタンチャンパー及び風道系で、消音内貼りしたチャンパーには点検口を設ける。尚、点検口の大きさは図示による。 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けられるチャンパー及びホッパーは、雨水の滞留のないように施工する。
7. 風量測定口	取付部は図示による。
8. チャンパー	・ 低圧ダクト ・ 高圧1ダクト ・ 高圧2ダクト ・ アンクルフランジ工法 ・ スパイラルダクト ・ コーナポルト工法(・ 共板フランジ工法 ・ スライドオンフランジ工法) ・ 厨房・浴室系統の排気用ダクトの水抜き(・ 要 ・ 不要) ・ 厨房系統の長方形排気用ダクトの厚板は、標準仕様書より1ランク厚いものを使用する。 取付位置は図示による。 空気調和設備の該当項目による。 3. ダンパー ・ 浴室(シャワー室、脱衣室を含む)系統 空気調和設備の該当項目による。 自家発生換気ダクトが自家発生外を通過する場合の耐火構造は図示による。
9. 防煙ダンパー	復帰方式(・ 遠隔) ・ 遠隔 定格入力は、0.024V _{0.7A} 以下とする。 復帰方式(・ 遠隔) ・ 遠隔 JIS又はJV(・ 5K ・ 10K(図示部分)) 取付部は図示による。
10. ビストンダンパー	
11. 弁類	
12. 温度計	取付部は図示による。
13. 圧力計	取付部は図示による。
14. 瞬間流量計	コック付とし、形式及び取付部は図示による。
15. 油面制御装置	制御盤には(・ 給油ポンプ制御 ・ 満油警報 ・ 過満警報 ・ 電磁弁制御 ・ 返油ポンプ制御 ・ 減油警報 ・)の端子を設ける。なお、フロートスイッチ部と制御盤間の配管配線は製造者の標準仕様とする。
5 換気設備	
1. ダクト	・ 低圧ダクト ・ 高圧1ダクト ・ 高圧2ダクト ・ アンクルフランジ工法 ・ スパイラルダクト ・ コーナポルト工法(・ 共板フランジ工法 ・ スライドオンフランジ工法) ・ 厨房・浴室系統の排気用ダクトの水抜き(・ 要 ・ 不要) ・ 厨房系統の長方形排気用ダクトの厚板は、標準仕様書より1ランク厚いものを使用する。 取付位置は図示による。 空気調和設備の該当項目による。 3. ダンパー ・ 浴室(シャワー室、脱衣室を含む)系統 空気調和設備の該当項目による。 自家発生換気ダクトが自家発生外を通過する場合の耐火構造は図示による。
2. 風量測定口	
3. ダンパー	
4. 排気ダクトのシールド	
5. チャンパー	
6. 耐火措置	
6 排煙設備	
1. ダクト	・ 亜鉛鉄板
2. 排煙口の形式	図示による
3. 排煙口手動開放装置	開放及び復帰方式 ・ ワイヤード ・ 電気式(・ 遠隔操作 ・ 不要 ・ 要)
4. 排煙風量測定	「建築設備定期検査業務基準平成20年度版」(財)日本建築設備検定センター)の排煙風量の検査方法に準ずる。
7 自動制御設備	・ 有 ・ 無 図示による
3. 電気計装工事の機能	使用する電線類はE線電線とし、規格は標準仕様書第4編1.5.1、表4.1.11の使用電線類の規格による。(機器、盤類を除く) 屋外・屋内露出の電線は図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井内隠蔽の配線は図面に特記のない限りケーブル配線とする。
8 衛生器具設備	
1. 大便器洗浄弁	・ バキュームブローカー ・ 不凍結装置付 ・ 低圧フラッシュバルブ(・)
2. 大便器ロータック	・ 水抜き装置付
3. 温水洗浄式便座	加熱方式(・ 貯湯式 ・ 瞬間式) 給水方式(・ 給水管直結給水方式 ・ ポンプ加圧給水方式) 温風乾燥機能(・ 有 ・ 無) 脱臭(・ 有 ・ 無) ・ 不凍結装置付 ・ 一体型フラッシュユニット
4. 小便器洗浄弁	・ 個別感知フラッシュ方式(・ 埋込 ・ 露出)
5. 小便器洗浄管	・ 露出 ・ 隠ぺい ・ 水抜き装置付
6. 水栓	・ 節水コマ ・ 固定コマ(・ 寒冷地対応形 ・)
7. 化粧箱	・ 陶器製(・ 露出形 ・)
8. 石けん受	・ 陶器製(・ 露出 ・ 埋込)
9. 洗面台	・ 止水栓付
10. 機記板	・ 取付箇所(・ 大便器 ・ 小便器 ・) 材質(・ 陶器製 ・)
11. 大便器耐火カバー	・ 設ける(ビット内は除く) ・ 設けない

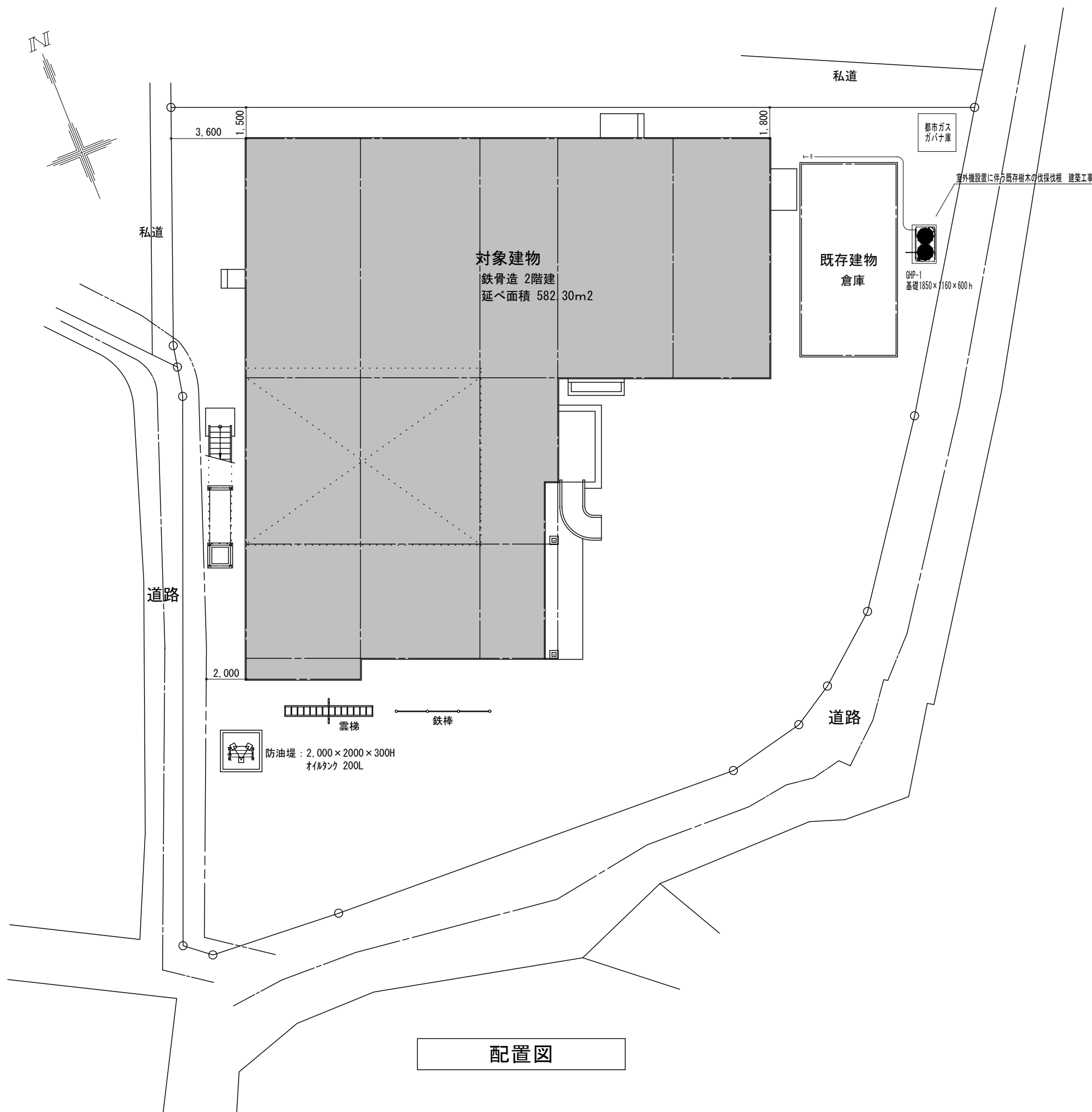
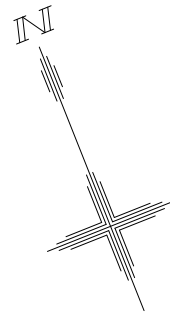
9 給水設備	1. 量水器 2. 量水器 3. 弁類 4. 引込納付金等 ○ 給水勾配 6. 建物導入配管	・ 観メーター(・ 貨物品 ・) ・ 子メーター(・ 買取り ・) ・ 水道事業者指定品(・ 貨物品 ・ 買取り) ・ 標準図形C形 JIS又はJV(・ 水道直結部分(・ 10K ・) ・ その他の部分(・ 5K ・)) ・ 要(・ 本工事 ・ 別途工事) ・ 不要 ・ 不凍結の二次側は水抜きが確実にできること。 ・ 標準図 施工4.5(・ (a) ・ (b) ・ (c))による。
10 排水設備	○ 洗面器等の排水管 ○ 排水勾配 3. 満水試験機手 4. インバート板、ため樹	洗面器及び手洗器に直結する排水管は、器具トラップよりサイズアップとする。 屋内 ・ 65A以下は1/50、75A以上は1/100以上 屋外 ・ 1/100以上 図示の箇所に取り付ける。 樹のコンクリート部は工場製品としてもよい。
11 給排水設備	1. 弁類	JIS又はJV(・ 5K ・ 10K(図示部分))
12 消火設備	1. 屋内消火栓 2. 消火器具 3. 建物導入配管	・ HB-1A ・ HB-1B ・ 消火器(スタンド共)(消防法施行令第10条に拠る) ・ 標準図 施工4.5(・ (a) ・ (b) ・ (c))による。
13 厨房設備	○ 機器の寸法 ○ 燃焼機器	概略寸法とする 使用ガス ○ 都市ガス(・ 発熱量 KJ/Nm ³ 、供給事業者名) ・ 液化石油ガス(・ 発熱量 100.00 KJ/Nm ³)
○ ガス設備	1. 充てん容器 2. 集合装置 3. 転倒防止等 4. メーター 5. ガス漏れ警報器 6. ガス引込担金 7. 電気防食 8. 建物導入配管	・ 別途(・ 50kg ・) ・ 標準図 施工7.2による 本組 ・ 標準図 施工7.3(・ (a) ・ (b))による ・ 観メーター(・ 貨物品 ・) ・ 子メーター(・ 買取り ・) ・ 本工事(図示による) ・ 別途工事 ・ 要(・ 別途工事 ・ 本工事) ・ 不要 ・ 要 ・ 不要 ・ 標準図 施工4.5(・ (a) ・ (b) ・ (c))による。
○ その他	○ 工事現場の環境改善について ○ 不具合の確認 ○ 産業廃棄物の取扱い	工事現場のイメージアップ ・ 仮囲い周辺の美化 地域住民への情報提供 ・ 完成予想図の設置 ・ 情報掲示板の設置 ・ パンフレットの作成 地域住民とのコミュニケーション ・ 現場出入口周辺への誘導員の配備 住民に対する災害防止関係 ・ 現場出入口周辺への誘導員の配備 工事しゅん工後10ヶ月、20ヶ月(新築に限る)に不具合の確認を行い、その結果を書面の上田市長あてに報告する。(施設管理者からの聞き取り調査を含め、調査には必ず監督員の立会いを要する。) (1) 廃棄物の処理に当たっては、請負者が自ら処理(分別、保管、収集、運搬及び処分の一連の行為)するときは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(以下「廃棄物処理法」という)に基づき、適正に行うこと。 (2) 廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、廃棄物処理法に基づく処理を業として許可を取得している者に委託すること。また、施工前に産業廃棄物処理委託契約書の写し、産業廃棄物処理業の許可証の写し、許可運搬車両一覧並びに処分地の案内図等をまとめた「廃棄物処理計画書」を監督員に提出すること。 (3) しゅん工した時は、廃棄物ごとに処理数量を集計し、積込状況の写真、処分状況の写真等の写しを添付した「廃棄物等処理報告書」を監督員に提出すること。 (1) 現場で使用する機械は、低騒音型、低振動型、排出口ガス対策型建設機械とすること。 なお、運搬ルートとの衝突に当たっては影響の少ない機種を選択すること。 (2) 夜間、早朝等の移動を避けること。ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 (3) 汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等、環境の回復に努めること。 (4) 熱帯材合板型枠は、極力使用しないこと。 (1) 工事現場においては、労働災害、公衆災害防止に努めるとともに、全作業員を対象に定期的に安全教育、研修及び訓練を行うこと。 (2) 安全教育、研修及び訓練については、工事期間中に月一回程度実施し、工事日誌へ記録するほか、実施結果、実施状況の写真、安全教育に使用した資料等も整理すること。 (3) 原則として代理人(主任)以外の第三者より、月1回以上本社による安全パトロールを行い、工事日誌へ記載するほか、点検内容を別冊内容に記録し、実施状況の写真を撮影すること。 (4) 下請業者にKY(危険予知)・TBM(作業内容の打合せ)活動等を実施させ、その記録を整備するとともに、随時、実施状況の写真を撮影すること。 (5) 下請業者を含め、作業員に対し現場内容に即した新規入場者教育、安全教育・訓練等を実施し、関連書類及び使用した資料等を整理するとともに、随時、実施状況の写真を撮影すること。 (6) 上記の(2)~(5)の活動については、記録・書類及び写真を整備したものを現場に備え、監督員及び工事検査の際に提示できるようにすること。
○ 工事検査		施工中において工事検査担当職員または、発注機関の長の指定する職員による抜き検査を実施することがあるので、検査に協力すること。 暴力団関係者から工事検査を受ける場合は、被罰者連や他に警察に提出すること。 施工図等の著作権に關する当該権利に關する使用権は、発注者に移譲する。 完成図など種種管理に関する書類は、しゅん工後30日以内に提出し、必要に応じて取扱説明を行うこと。 上記による他、監督員の指示による。
○ 被罰者等		
○ 施工図等の取扱い		
○ 完成図等		
○ 提出物		



配置図



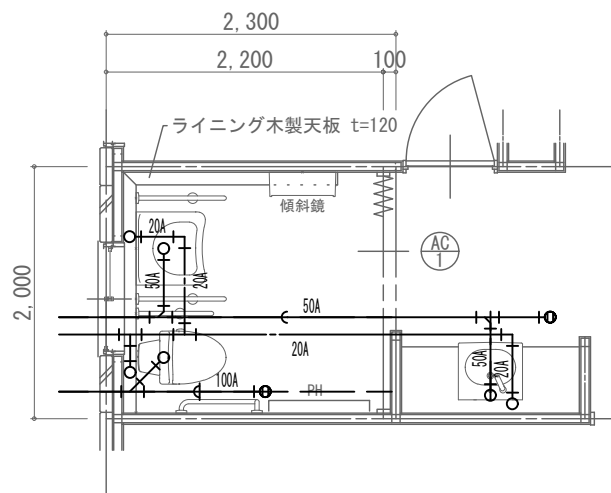
配置図



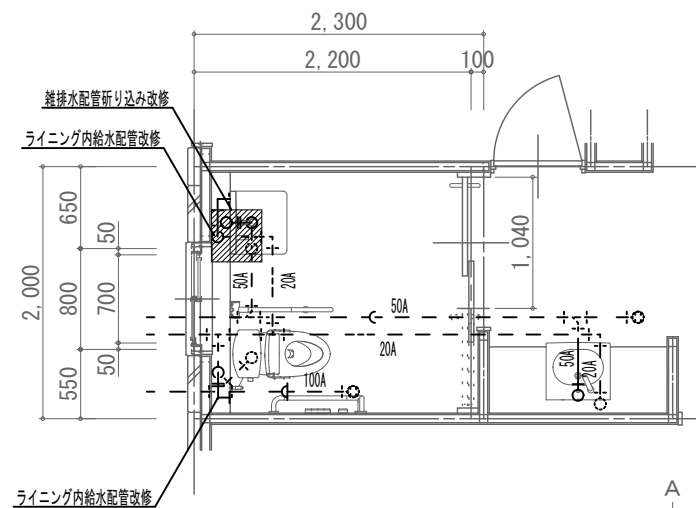
配置図

器 具 表 ・ 機 器 表

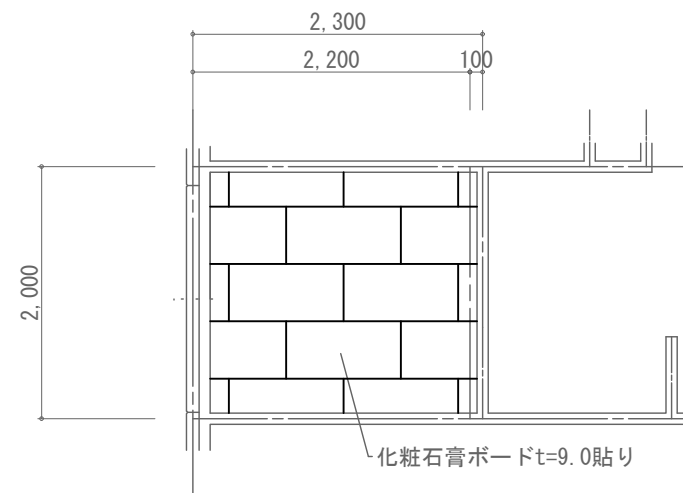
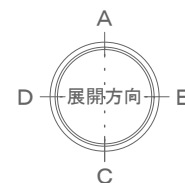
器具名・機器名	附属品・仕様	合計	屋外	1階										2階		施工内容		
				男子 便所	女子 便所	多 目 的 ト イ レ	集 会 室 北	集 会 室 南	図 書 室	事 務 室	遊 戯 室	調 理 実 習 室	屋 外	湯 沸 か し 室	集 会 室 西		集 会 室 東	
洋風大便器	床置き排水大便器 CS597BMSS 密結タケ SH596BAR	1				1												新設
ウォシュレット	TCF5841AUPR	1				1												新設
手洗い器	壁掛け洗面器 LSA125BA 自動水栓 (100V電源)	1				1												新設
L型手すり	T112CL12付属品とも	1				1												新設
可動式手すり跳上げロック付	T112HK7R付属品とも	1				1												新設
紙巻き器	YH702	1				1												新設
横形泡沫自在水栓	T130AUN13 C 分岐水栓とも	1											1					新設
シングルレバー混合栓 (吐水口切り替えタイプ)	TKS05316J	2											2					新設
化粧鏡 (トイレ・洗面所用)	YMK11K3 (200×800)	1				1												新設
GH-1 ガス給湯器	壁掛け型 24号 型番 GQ-2437WS-FFA 都市ガス ガス消費量 52.3W 電源 1φ 100V 消費電力 82W	1											1					移設
GH-2 5号 ガス給湯器	壁掛け型 5号 型番 RUS-V51YTB (SL)	1											1					新設
PH-1 壁掛けパネルヒーター	壁掛け型 DPS-A75E	2		1	1													新設
AC-1 壁掛けルームエアコン	MSZ-NXV2526-W 冷房緒能力2.5kw 消費電力530W 暖房能力3.2kw 低温消費電力1,780W 単相100V	1									1							新設
AC-2 壁掛けルームエアコン	MSZ-NXV6326S-W 冷房緒能力6.3kw 消費電力2,400W 暖房能力7.1kw 低温消費電力3,500W 単相200V	1								1								新設
AC-3 壁掛けルームエアコン	MSZ-NXV6326S-W 冷房緒能力6.3kw 消費電力2,400W 暖房能力7.1kw 低温消費電力3,500W 単相200V	1								1								新設
AC-4 1方向天井カセット形	MLZ-HX5622AS 冷房緒能力5.6kw 消費電力1,800W 暖房能力6.7kw 低温消費電力3,220W 単相200V	1								1								新設
AC-5 壁掛けルームエアコン	MSZ-KXV4026S-W 冷房緒能力4.0kw 消費電力1,220W 暖房能力6.0kw 低温消費電力3,250W 単相200V	2											2					新設
AC-6 壁掛けルームエアコン	MSZ-NXV5626S-W 冷房緒能力5.6kw 消費電力2,100W 暖房能力6.7kw 低温消費電力3,500W 単相200V	1														1		新設
AC-7 壁掛けルームエアコン	MSZ-NXV6326S-W 冷房緒能力6.3kw 消費電力2,400W 暖房能力7.1kw 低温消費電力3,500W 単相200V	1															1	新設
GHP-1 室外機	U-GH710U1D 冷房能力71.0kw 暖房能力80.0kw 三相200V 防振ゴム	1											1					新設
GHP-1-1 床置プレナム室内機	S-G355BES26 (13) 冷房緒能力35.5kw 消費電力610W 暖房能力40.0kw 消費電力610W 三相200V	2											2					新設



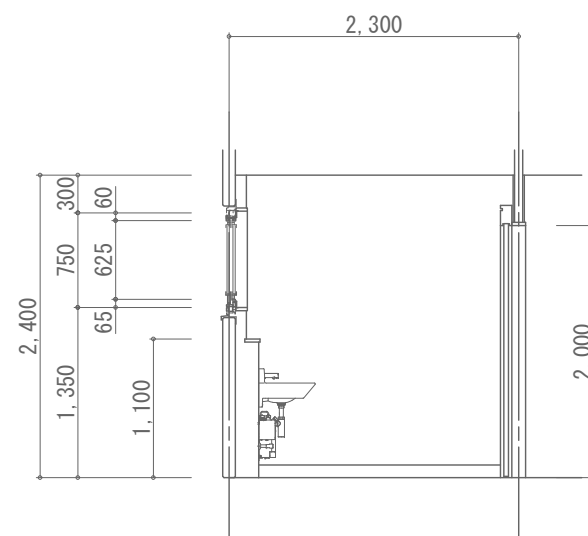
既存 平面図



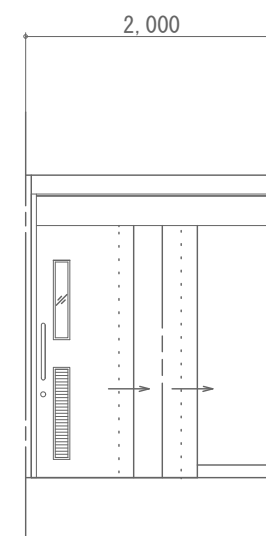
改修 平面図



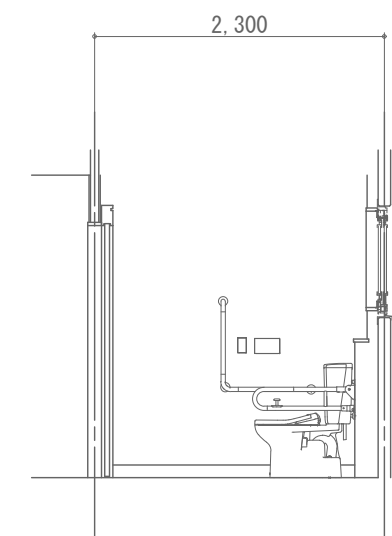
改修 天井伏図



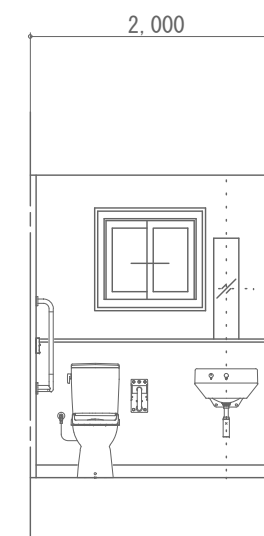
[A面]



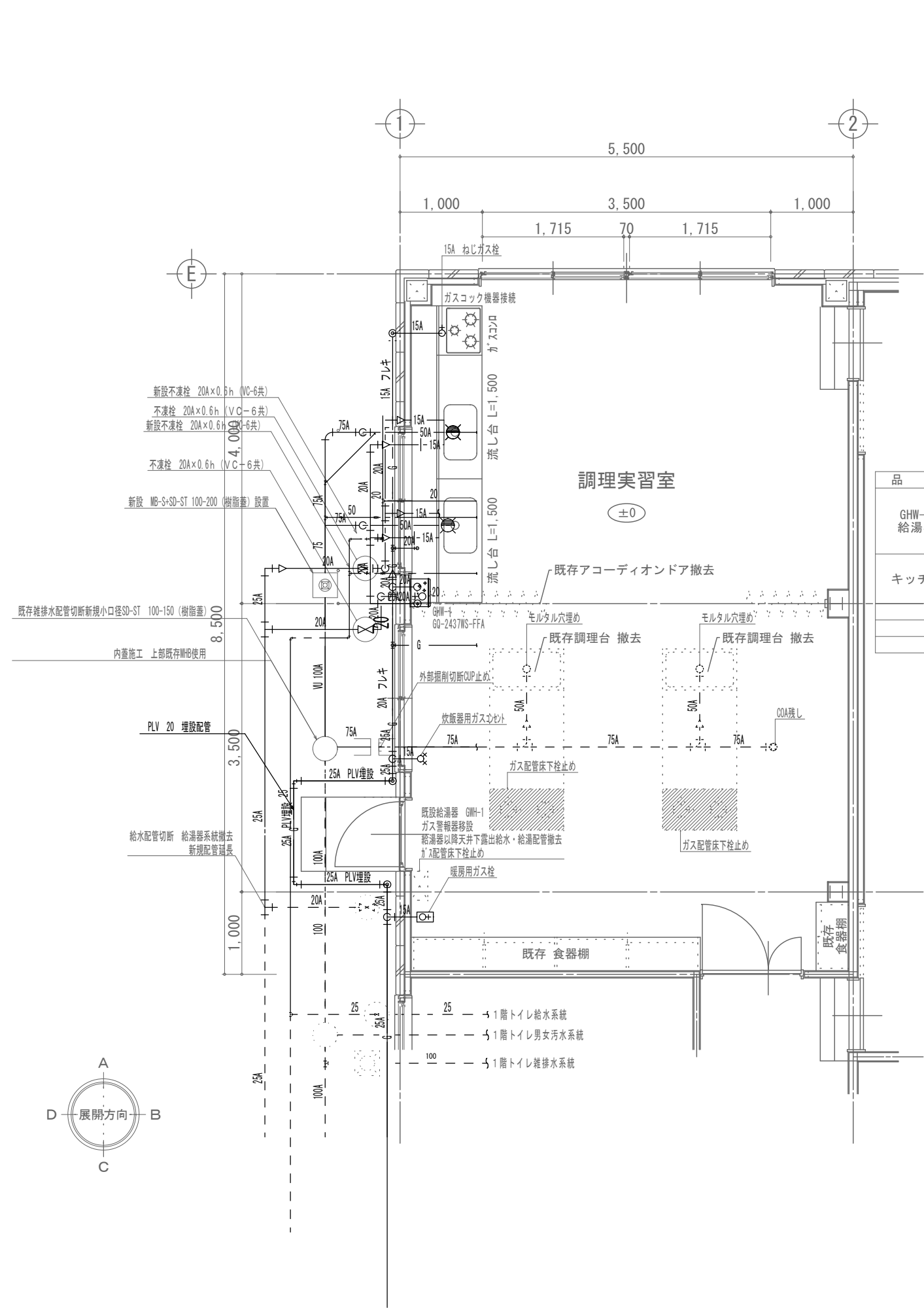
[B面]



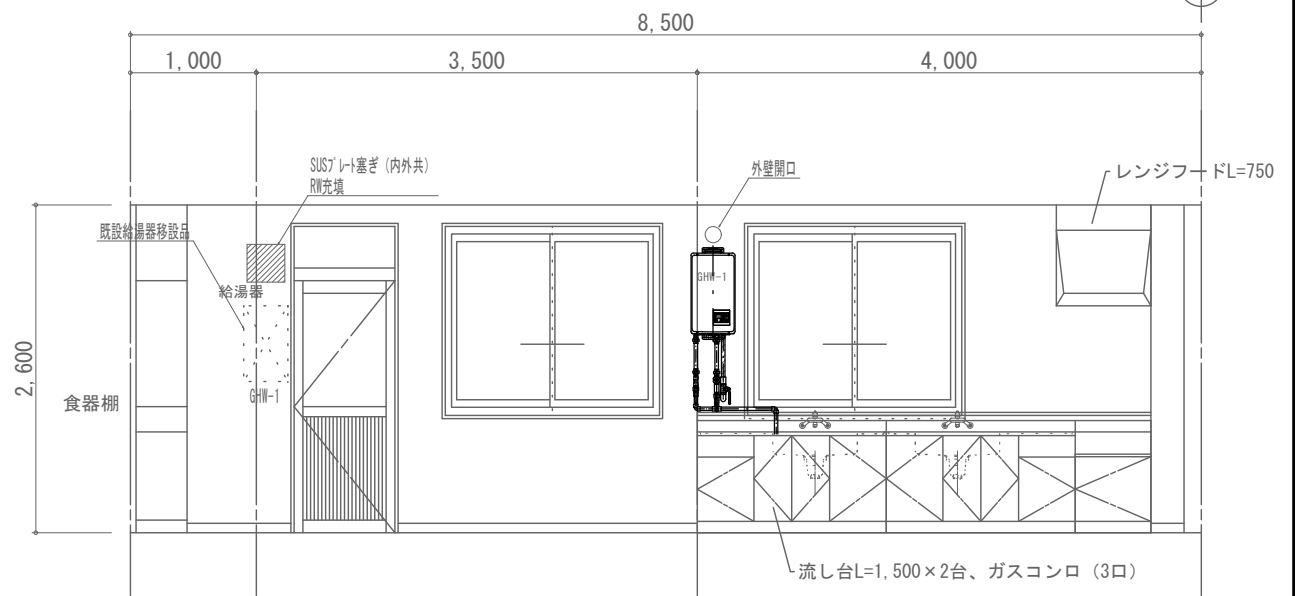
[C面]



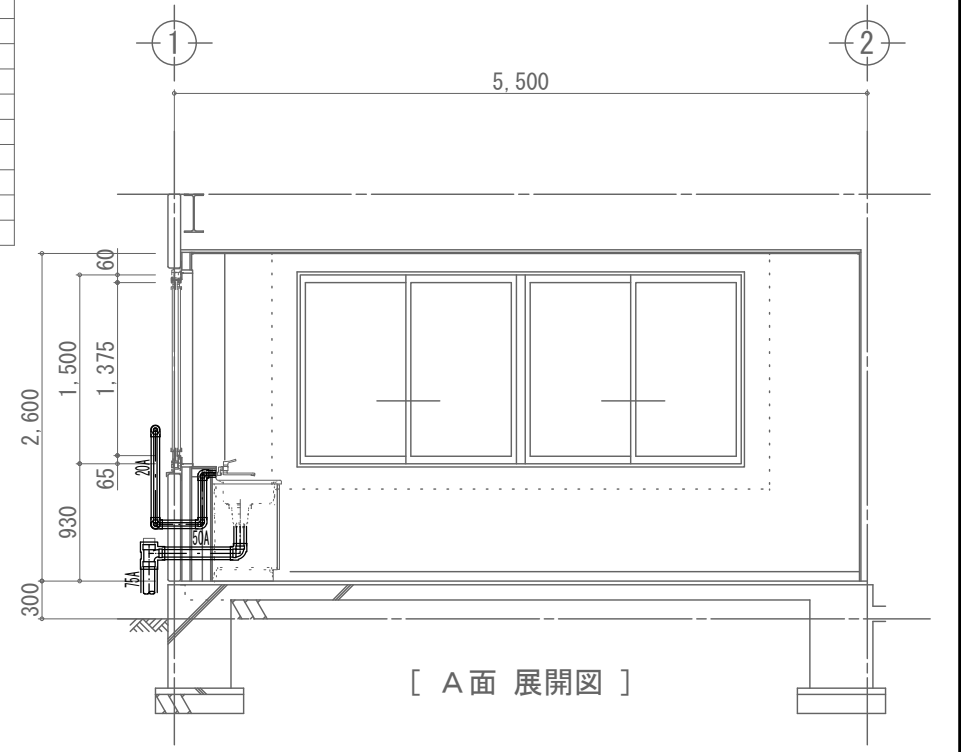
[D面]



品名	配管種	接続材料
GHW-1 給湯器	給水	10kgコア付きGV+300L-FJ+コア付き水抜き用BV
	給湯	300L-FJ+コア付き水抜き用BV
	ガス	20Aねじ込みガス栓+20A絶縁ソケット
	給排気	既設利用
キッチン	ガス	15Aねじ込みガス栓

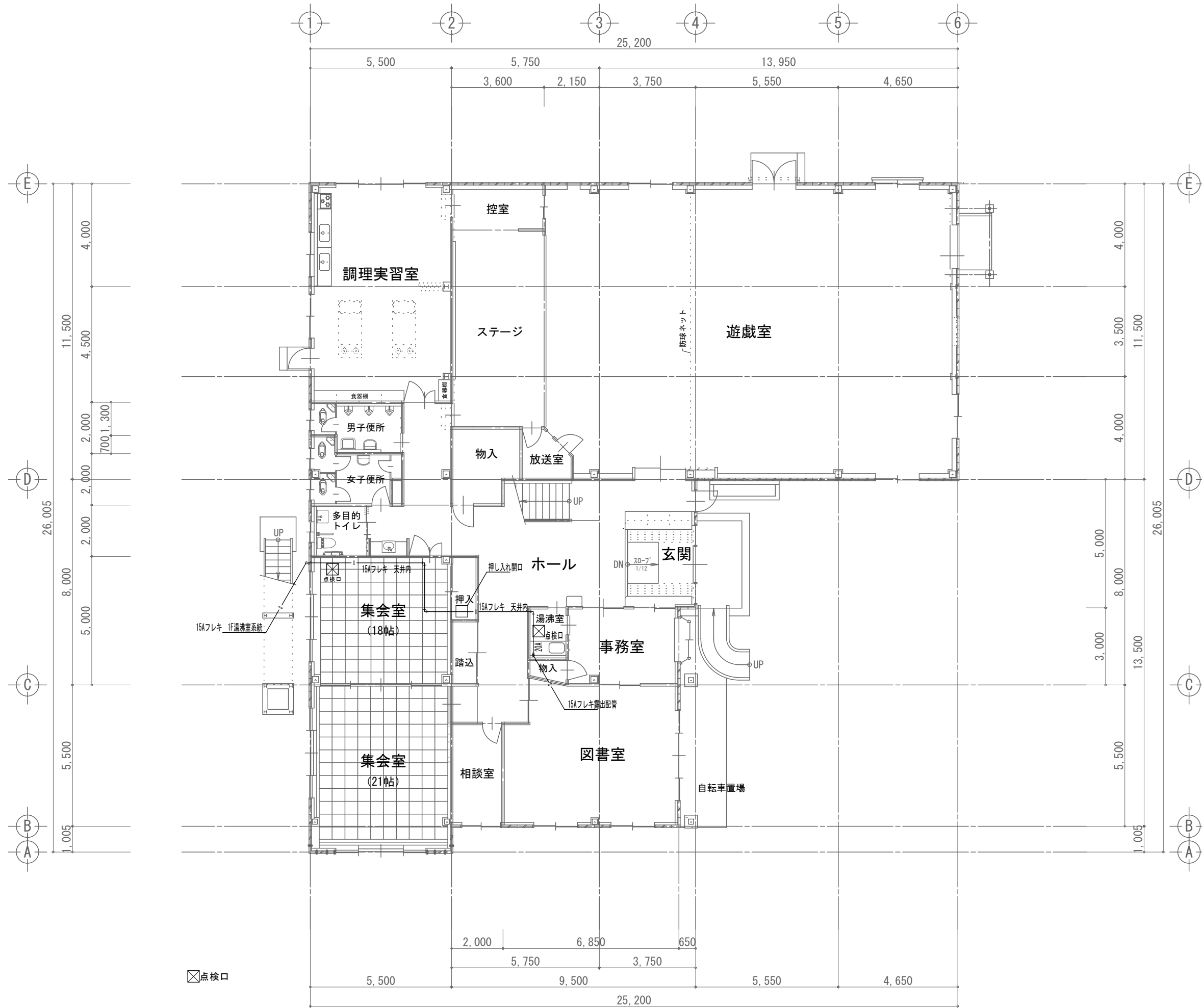


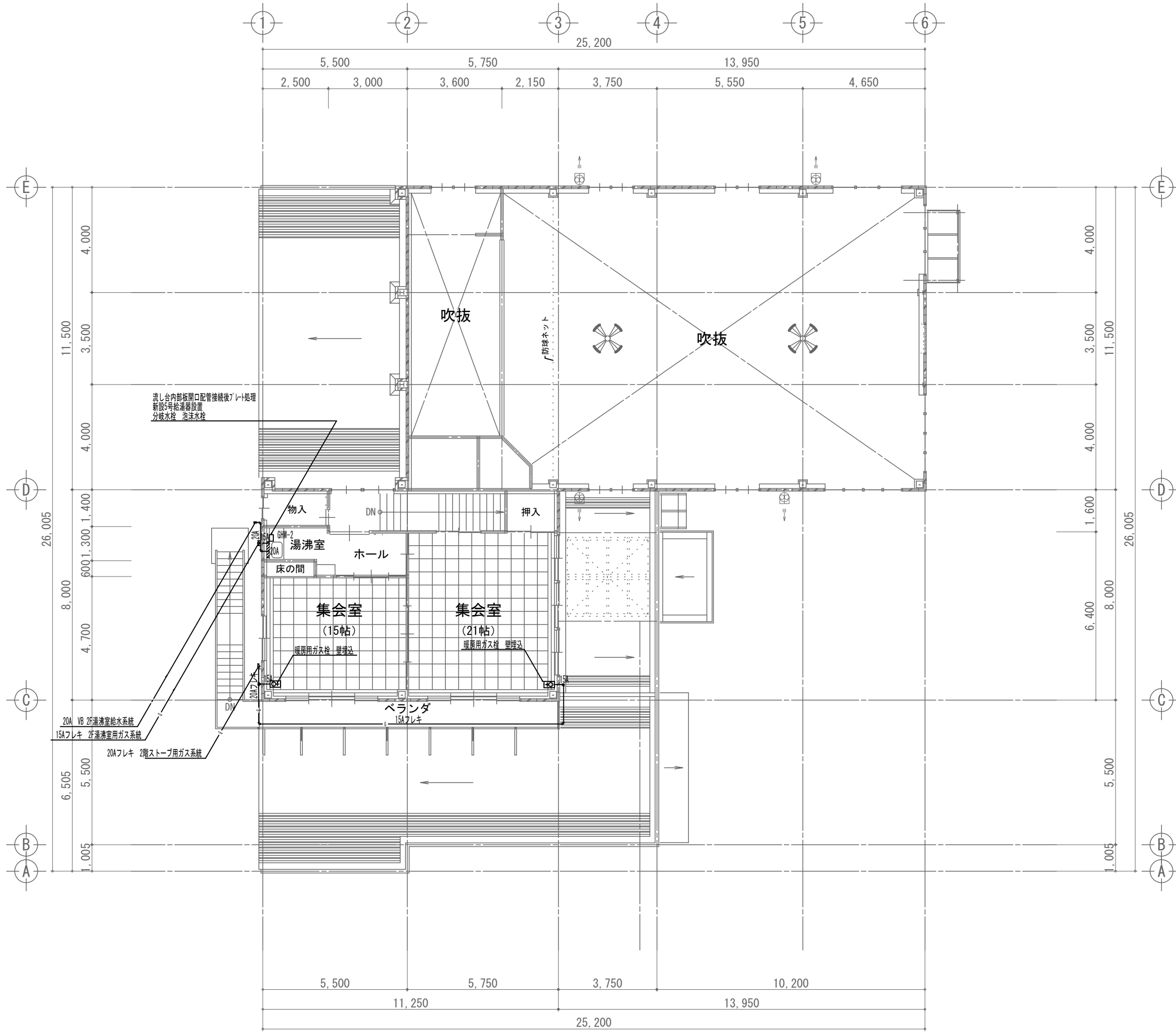
[D面 展開図]



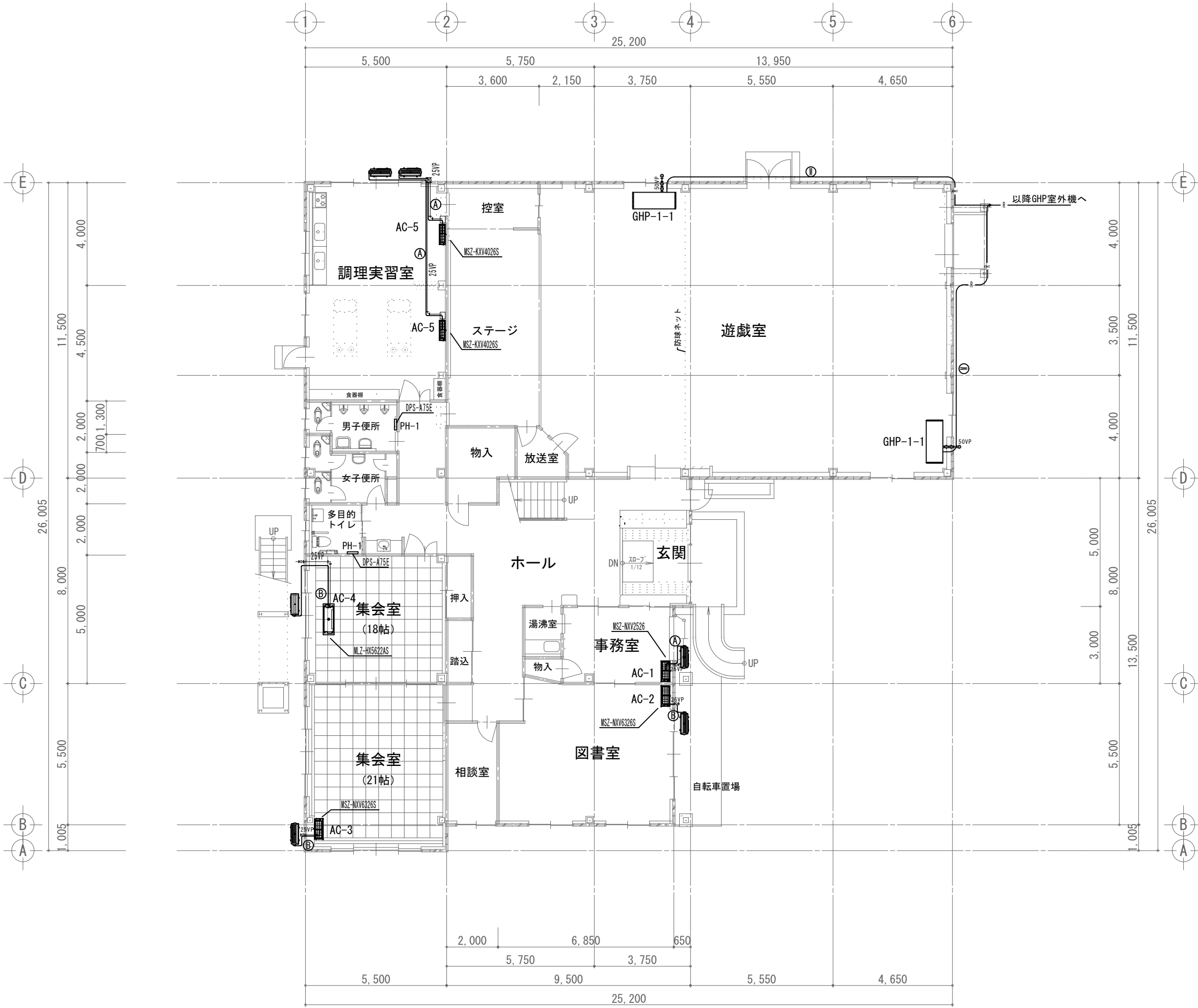
[A面 展開図]

- 改修工事
- 1、既存調理台（2台）の撤去
 - 2、床仕上げ材（長尺塩ビシート）貼り替え
 - 3、アコーディオンドア（5,050×2,580 引分け）の撤去
 - 4、調理台（流し台・ガスコンロ 3口）の新設

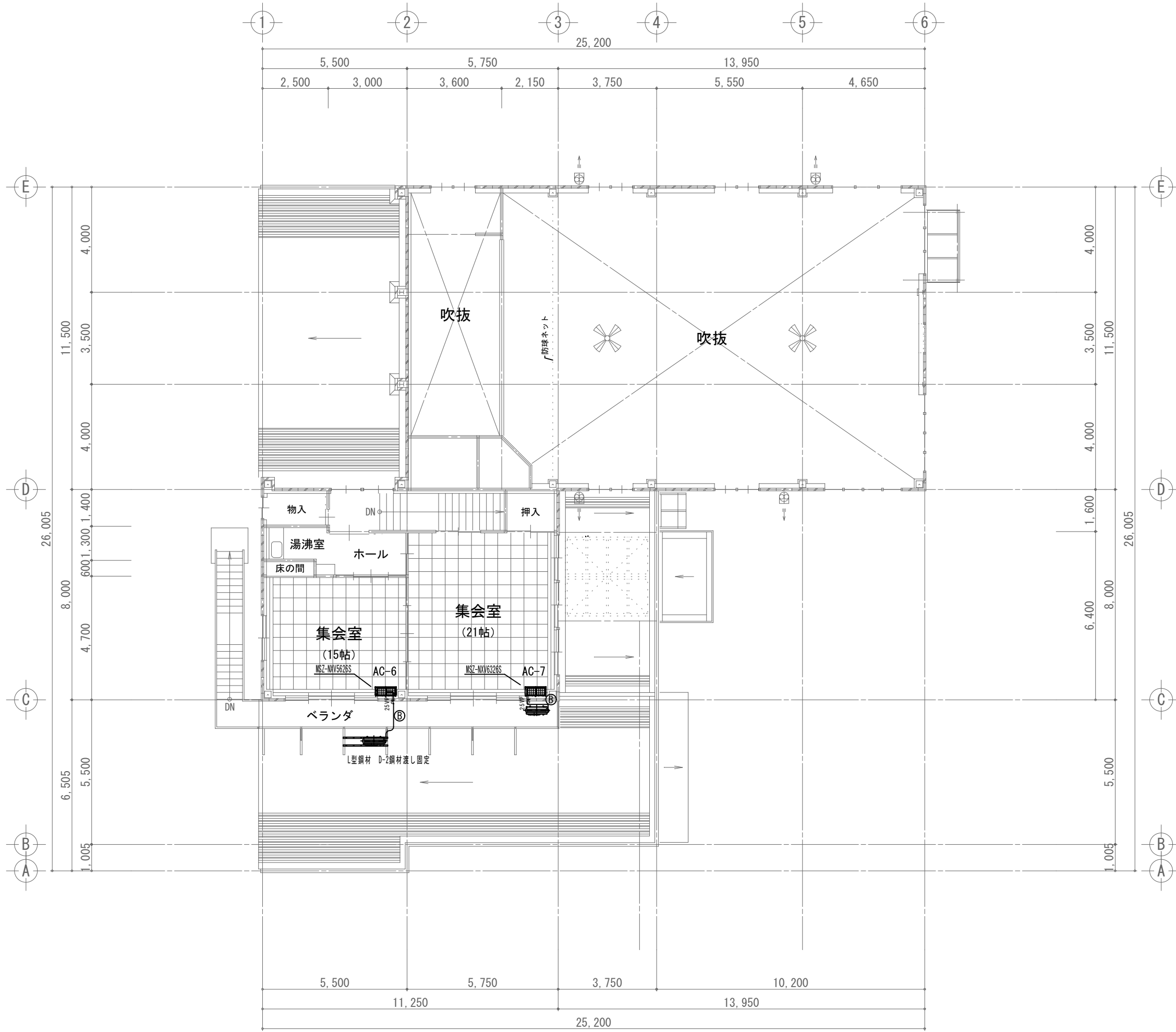


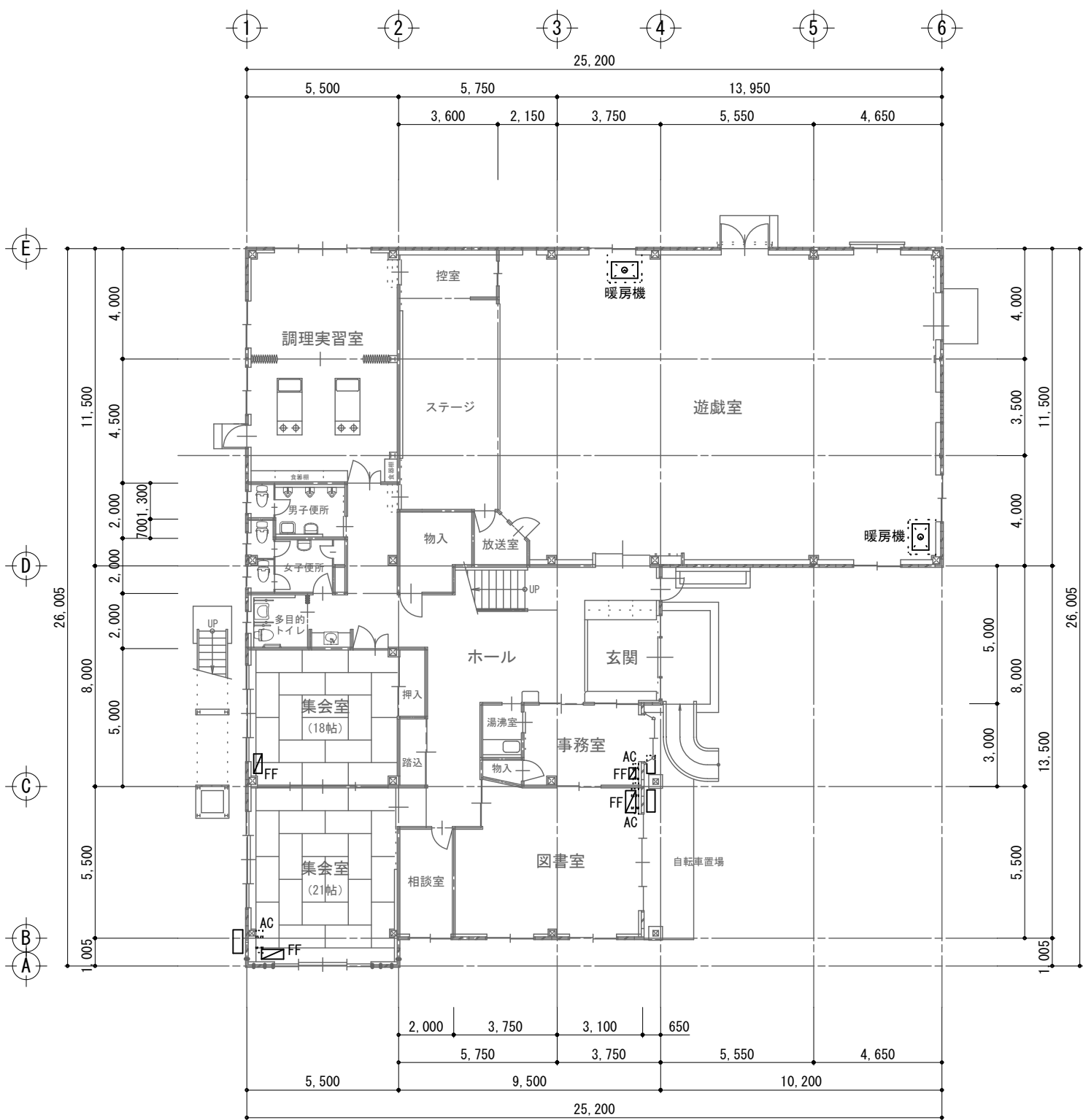


記号	ガス管(Φ)	液管(Φ)
Ⓐ	9.5	6.4
Ⓑ	12.7	6.4
Ⓒ	12.7	9.5
Ⓓ	15.9	6.4
Ⓔ	15.9	9.5
Ⓕ	15.9	12.7
Ⓖ	19.1	9.5
Ⓕ	19.1	12.7
Ⓖ	19.1	15.9
Ⓖ	22.2	9.5
Ⓖ	22.2	12.7
Ⓖ	22.2	15.9
Ⓖ	25.4	12.7
Ⓖ	25.4	15.9
Ⓖ	25.4	19.1
Ⓖ	28.6	12.7
Ⓖ	28.6	15.9
Ⓖ	28.6	19.1
Ⓖ	31.8	19.1
Ⓖ	31.8	22.2
Ⓖ	31.8	25.4



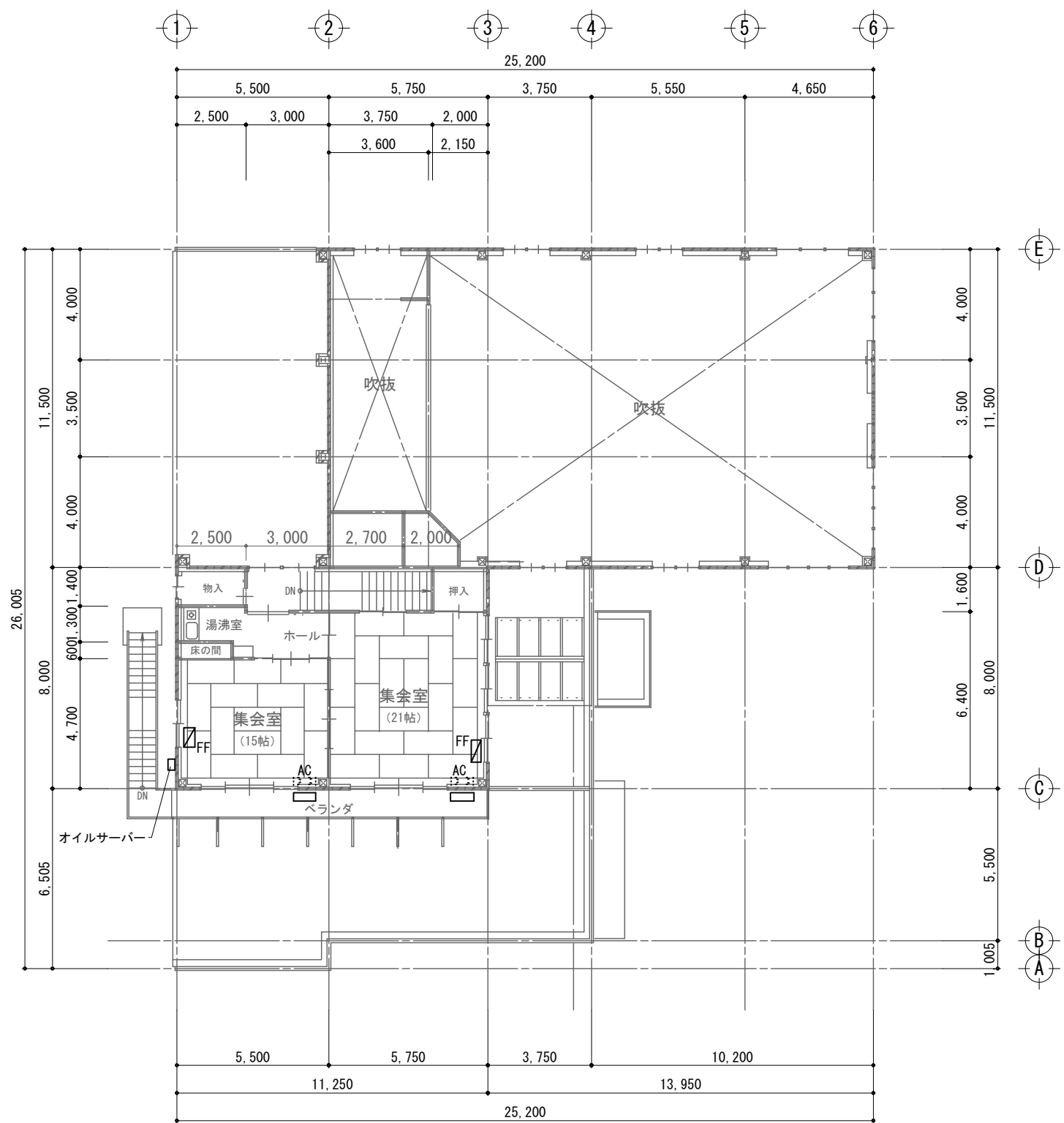
冷媒管サイズ表		
記号	ガス管(Φ)	液管(Φ)
Ⓐ	9.5	6.4
Ⓑ	12.7	6.4
Ⓒ	12.7	9.5
Ⓓ	15.9	6.4
Ⓔ	15.9	9.5
Ⓕ	15.9	12.7
Ⓖ	19.1	9.5
Ⓕ	19.1	12.7
Ⓖ	19.1	15.9
Ⓖ	22.2	9.5
Ⓖ	22.2	12.7
Ⓖ	22.2	15.9
Ⓖ	25.4	12.7
Ⓖ	25.4	15.9
Ⓖ	25.4	19.1
Ⓖ	28.6	12.7
Ⓖ	28.6	15.9
Ⓖ	28.6	19.1
Ⓖ	31.8	19.1
Ⓖ	31.8	22.2
Ⓖ	31.8	25.4





1階 平面図

1階床面積：492.30㎡



2階 平面図

2階床面積：90.00㎡